

部落差別（同和問題）についての
市民意識調査
報 告 書

令和7年12月
名古屋市

はじめに

日本には特定の地域の出身であることなどを理由として差別を受けるという部落差別と呼ばれる日本固有の人権問題があります。部落差別は、日本国憲法に保障された基本的人権にかかわる重要な問題です。

本市では、「同和対策事業特別措置法」等に基づき、部落差別の解決を図るための事業を総合的かつ計画的に推進してまいりました。こうした取り組みにより、物的な基盤整備は、急速に進展し、実態的な差別解消に向けて、大きな成果と実績を挙げることができました。しかしながら、教育、就労、産業などの分野や部落差別に関する心理面、意識面においては、なお、いくつかの課題があり、粘り強くそれらの解決を図っていく必要があります。

現在、法に基づく特別対策としての事業は終了しましたが、平成12年には、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が制定され、地方公共団体は、国との連携を図りつつ、人権教育・啓発に関する施策を策定し、実施する責務を有するとされました。

また、平成28年には、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別の解消に関し、基本理念や相談体制の充実等について定めた「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されました。

本市では、昭和56年以降、概ね5年ごとに部落差別に関する市民意識を調査しており、このたび、令和7年7月に第10回目の市民意識調査を実施しました。

本報告書は、その結果をまとめたものであり、部落差別の速やかな解決と人権意識の高揚に向けて、今後の啓発活動に役立てていきたいと考えております。

この調査の実施にあたりまして、ご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和7年12月

名古屋市スポーツ市民局長
鳥羽 義人

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査項目	1
3 調査方法	1
4 回収状況	1
5 標本構成	2
6 調査結果の見方	3
7 標本誤差	3
II 調査結果	4
〔人権に関する認識状況〕	
1 「基本的人権」に対する意識	4
〔一般的意識の状況〕	
2 差別に対する考え方	7
〔「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況〕	
3 「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況	16
〔部落差別（同和問題）の認知状況〕	
4 部落差別（同和問題）の認知状況	19
5 部落差別（同和問題）の認知経路	23
6 部落差別（同和問題）の認知時期	26
〔部落差別（同和問題）の認識状況〕	
7 部落差別（同和問題）を知ったときの印象	30
8 部落差別（同和問題）に対する認識状況	33
〔交際や結婚における差別意識の状況〕	
9 交際における差別意識	36
10 結婚における差別意識 1（親類や親しい人の結婚）	39
11 結婚における差別意識 2（子どもの結婚）	42
12 結婚における差別意識 3（本人の結婚）	46
〔部落差別（同和問題）の現状認識〕	
13 インターネット上での差別についての認知状況	50
14 起きていると思う人権問題	53
〔部落差別（同和問題）に関する啓発活動等の認識状況〕	
15 啓発活動への参加・関わりの状況	57
〔人権教育・人権啓発の状況〕	
16 部落差別（同和問題）の学習	64
17 人権教育・人権啓発に期待するもの	68
18 今後の教育・啓発のあり方	72
〔部落差別（同和問題）の解決策〕	
19 部落差別（同和問題）の解決策	75
III 単純集計表/性別クロス集計表	78
IV 使用調査票	86

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では部落差別（同和問題）についての市民意識調査として昭和56年7月に第1回を実施して以来、おおむね5年ごとに調査を実施し、今回で10回目となる。この間、その結果を踏まえ市民啓発の推進を図ってきたが、これまで実施してきた啓発の効果及び課題を明らかにするとともに、今後の啓発のあり方等の資料を得ることを目的として実施した。

2 調査項目

この調査は、次の事項全19問について実施した。

- (1) 人権に関する認識状況
 - (2) 一般的意識の状況
 - (3) 「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況
 - (4) 部落差別（同和問題）の認知状況
 - (5) 部落差別（同和問題）の認識状況
 - (6) 交際や結婚における差別意識の状況
 - (7) 部落差別（同和問題）の現状認識
 - (8) 部落差別（同和問題）に関する啓発活動等の認識状況
 - (9) 人権教育・人権啓発の状況
 - (10) 部落差別（同和問題）の解決策
- など

なお、以前実施した調査と比較できるようにした。

3 調査方法

- (1) 調査地域 名古屋市全域
- (2) 調査対象 名古屋市内に居住する満18歳以上の市民3,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 調査票を郵送、回答は郵送又はWEB回答
- (5) 調査期間 令和7年7月7日～7月28日
- (6) 実施主体 名古屋市スポーツ市民局

4 回収状況

	標本数	有効回収標本数	有効回収率(%)
全市	3,000	1,545	51.5%

回答内訳 郵送回答：1,026件 WEB回答：519件

5 標本構成

(1) 年齢階層

	総数	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	無回答
全体	1,545	157	178	227	295	247	253	166	22
	100.0%	10.2%	11.5%	14.7%	19.1%	16.0%	16.4%	10.7%	1.4%
男性	678	65	87	104	134	115	109	63	1
	43.9%	41.4%	48.9%	45.8%	45.4%	46.6%	43.1%	38.0%	4.5%
女性	812	89	88	112	154	128	140	100	1
	52.6%	56.7%	49.4%	49.3%	52.2%	51.8%	55.3%	60.2%	4.5%
その他	5	2	0	1	2	0	0	0	0
	0.3%	1.3%	0.0%	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
答えたくない	32	1	3	10	5	4	4	3	2
	2.1%	0.6%	1.7%	4.4%	1.7%	1.6%	1.6%	1.8%	9.1%
無回答	18	0	0	0	0	0	0	0	18
	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

性別欄の中段は年齢階層別の男女比、下段は男女別の年齢階層比

(2) 職業分布

	総数	企業・団体の正社員や正規職員	企業・団体の経営者・役員	公務員	教員	自営・自由業、フリーランス	アルバイト、パート、派遣社員、契約社員	家事専業	学生
全体	1,545	462	46	34	17	91	310	177	58
	100.0%	29.9%	3.0%	2.2%	1.1%	5.9%	20.1%	11.5%	3.8%
男性	678	280	35	21	6	53	79	0	32
	43.9%	60.6%	76.1%	61.8%	35.3%	58.2%	25.5%	0.0%	55.2%
女性	812	174	10	11	11	36	217	176	25
	52.6%	37.7%	21.7%	32.4%	64.7%	39.6%	70.0%	99.4%	43.1%
その他	5	1	1	0	0	1	2	0	0
	0.3%	0.2%	2.2%	0.0%	0.0%	1.1%	0.6%	0.0%	0.0%
答えたくない	32	7	0	2	0	1	12	1	1
	2.1%	1.5%	0.0%	5.9%	0.0%	1.1%	3.9%	0.6%	1.7%
無回答	18	0	0	0	0	0	0	0	0
	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	無職 (定年退職した方を含む)	その他	無回答
全体	285	36	29
	18.4%	2.3%	1.9%
男性	155	12	5
	54.4%	33.3%	17.2%
女性	124	22	6
	43.5%	61.1%	20.7%
その他	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%
答えたくない	6	2	0
	2.1%	5.6%	0.0%
無回答	18	0	0
	0.0%	0.0%	62.1%
	100.0%	0.0%	100.0%

性別欄の中段は職業分布別の男女比、下段は男女別の職業分布比

6 調査結果の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
このため、合計が100%にならないこともある。
- (2) 本文中の比率はすべて件数を100%として算出した。
- (3) 調査結果では、質問文の最後に(SA)(MA)と表示した。SA(Single Answer)は回答を1つだけ選ぶ質問、MA(Multiple Answer)は複数回答が可能な質問であることを表している。
- (4) 複数回答が可能な質問では、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をするため、各項目の比率の合計は通常100%を超える。
- (5) 本報告書のグラフ・集計表内の回答選択肢は、省略をして掲載している場合がある。

7 標本誤差

調査結果については、統計上多少の誤差（標本誤差）が生じることがあり、調査結果を見る場合には、次のような一定の幅を持たせて見る必要がある。

この調査の標本誤差は次の公式により計算される。

$$\text{【計算式】} \quad \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

※ただし σ = 標本誤差

n = 回収数

P = 回答率

この公式によって計算された標本誤差は次のとおりとなる。

【標本誤差早見表（信頼度：95%）】

n	P	% 10 または90				
		20 または80	30 または70	40 または60	50	
サンプル数	50	±8.5	±11.3	±13.0	±13.9	±14.1
	100	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0
	300	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
	500	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5
	800	±2.1	±2.8	±3.2	±3.5	±3.5
	1,000	±1.9	±2.5	±2.9	±3.1	±3.2
	1,200	±1.7	±2.3	±2.6	±2.8	±2.9
	1,545	±1.5	±2.0	±2.3	±2.5	±2.5
	1,700	±1.5	±1.9	±2.2	±2.4	±2.4
	2,000	±1.3	±1.8	±2.0	±2.2	±2.2

《この表の見方》

例えば、回答者数が1,545である質問における、ある1つの選択肢の回答比率が30%であった場合、その回答の比率の誤差の範囲は±2.3% (27.7%~32.3%) の範囲にあることが95%の信頼度でいえることになる。

II 調査結果

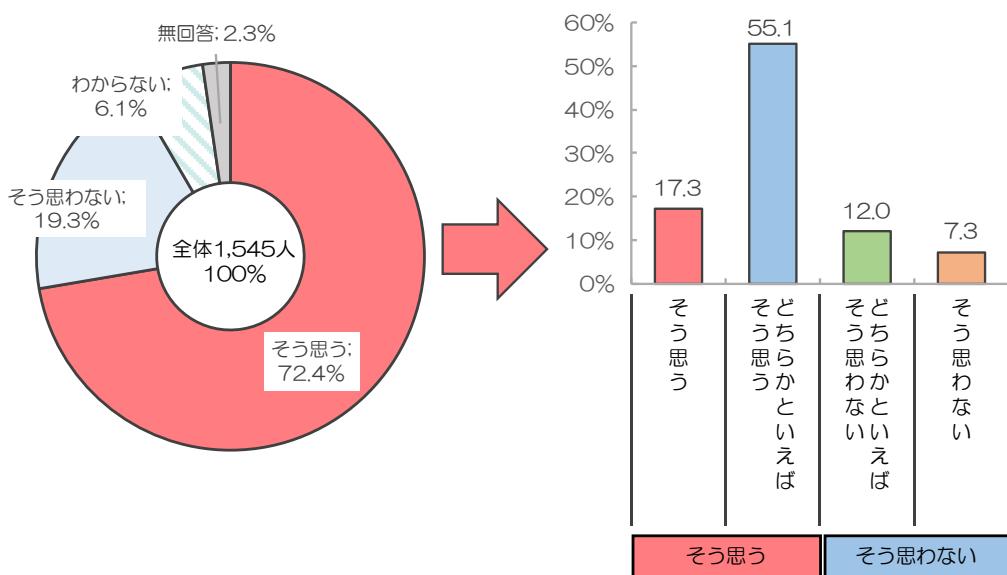
1 「基本的人権」に対する意識

【質問1】

あなたは、今の日本が基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(SA)
(あてはまる番号1つに○)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

【単純集計】

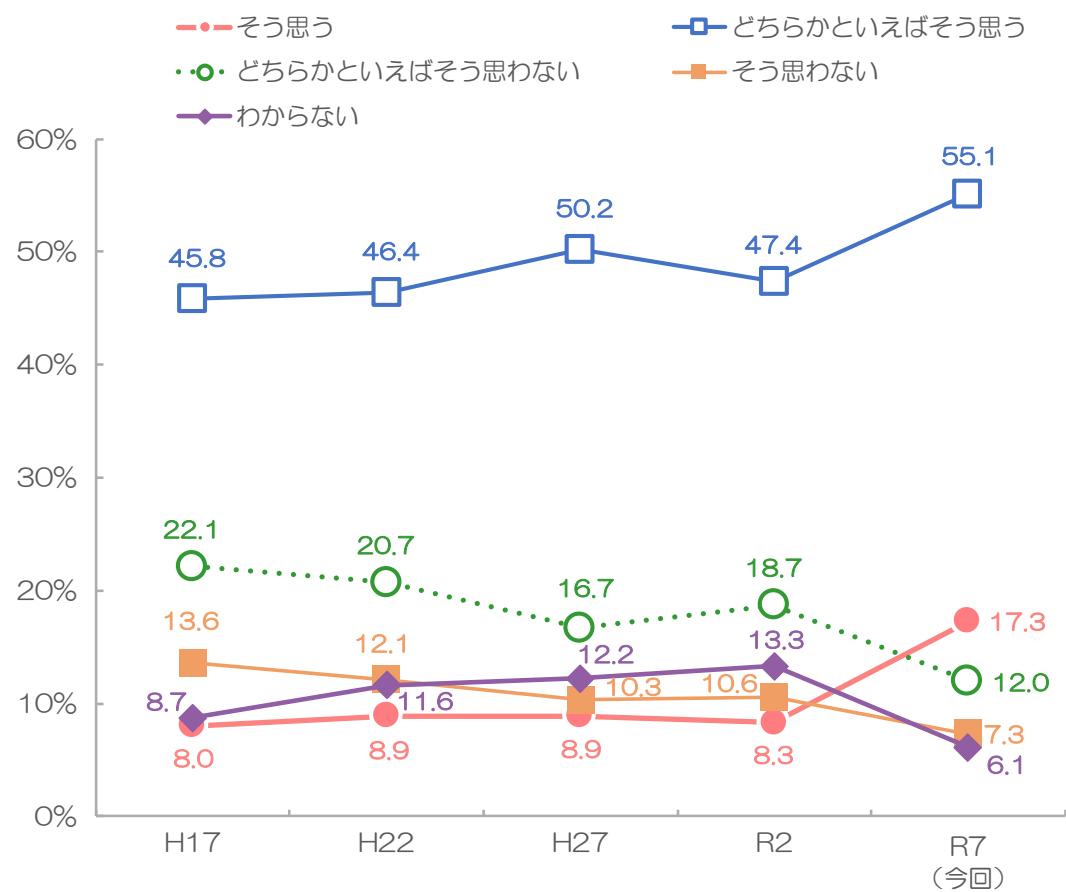


「そう思う」(17.3%)、「どちらかといえばそう思う」(55.1%)と答えた人の割合を合わせた『そう思う』は、72.4%となっている。



今の日本が「基本的人権が尊重されている社会だと思う」と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】

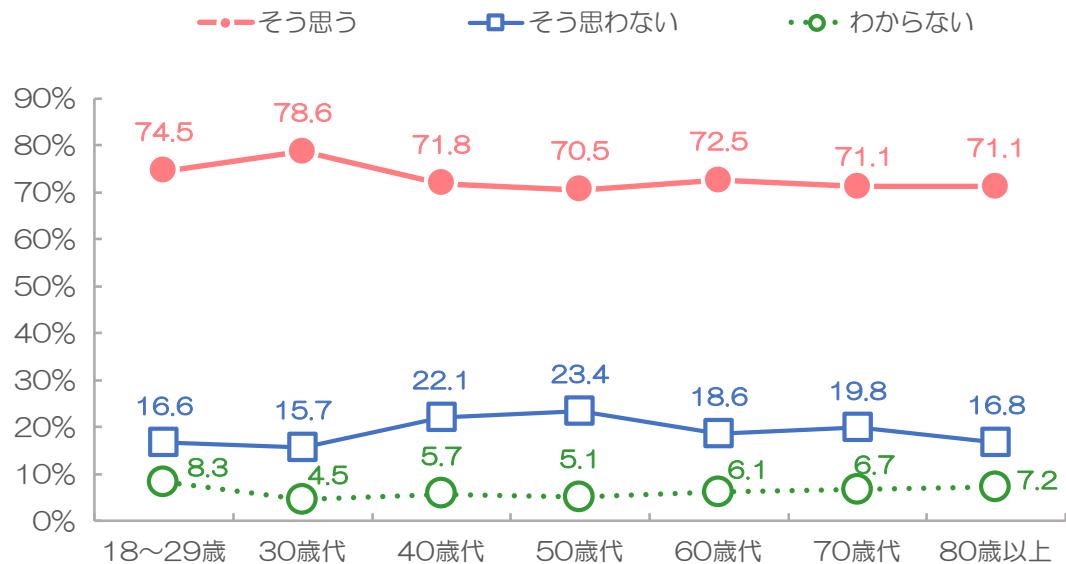


「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人を合わせた『そう思う』の割合は、前回より 16.7% 増えており、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人を合わせた『そう思わない』の割合は、前回より 10.0% 減っている。

【属性別集計】

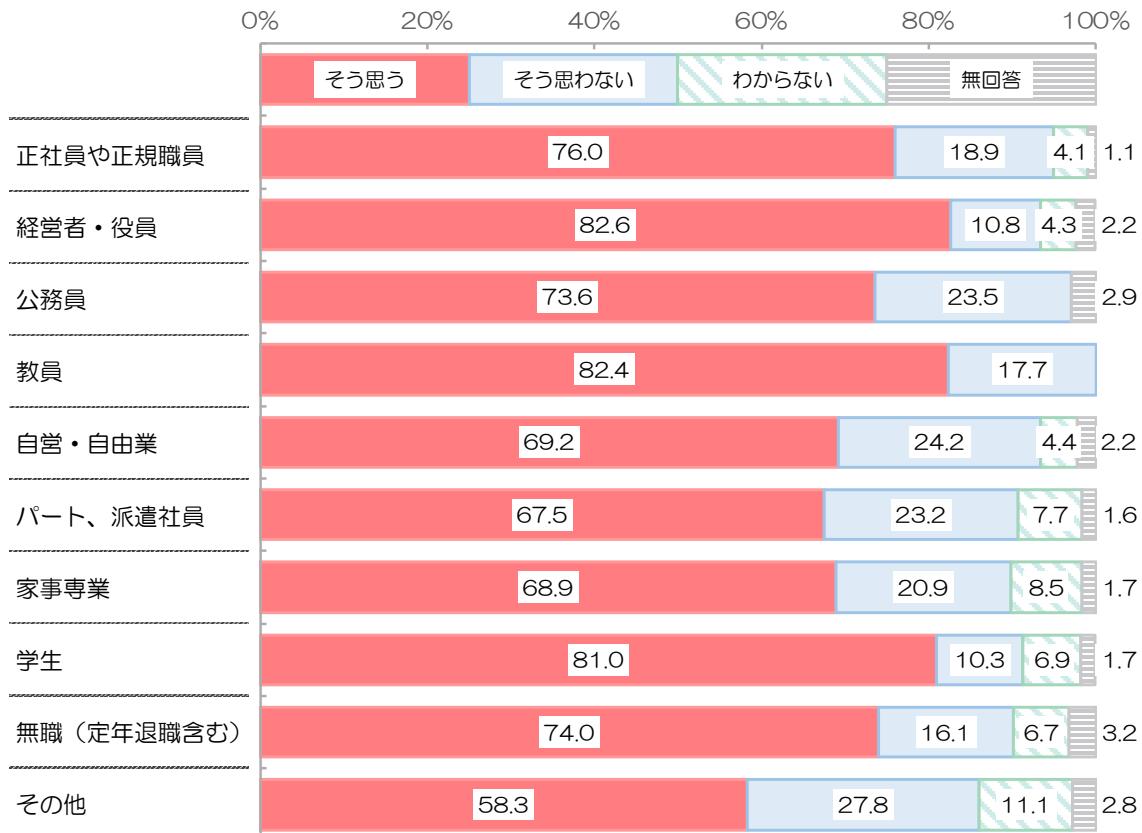
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を『そう思う』、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を『そう思わない』に分け、年代別、職業別比較

●年代別比較



☀ いずれの年代も、『そう思う』と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



☀ いずれの職業も、『そう思う』と答えた人の割合が最も高い

2 差別に対する考え方

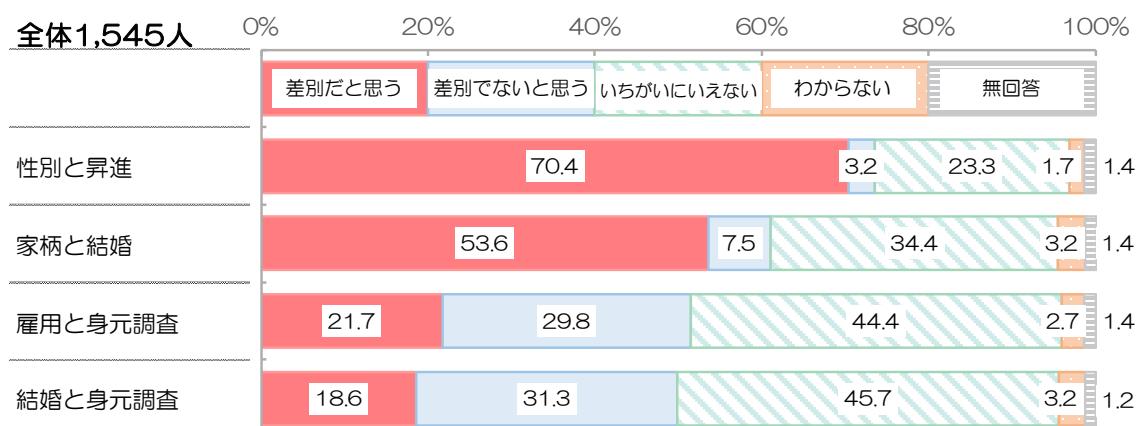
【質問2】

日本国憲法の第14条には、「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と定められています。あなたは「差別」ということについてどうお考えですか。(SA)
(それぞれについてあてはまる番号1つに○)

- I 同じように仕事ができるのに、性別だけで昇進に差をつけることは
- II 家柄が違うということで、結婚に反対することは
- III 人を雇うときに身元調査（聞き合わせ）をすることは
- IV 結婚のときに相手の身元調査（聞き合わせ）をすることは

- 1 差別だと思う
- 2 差別でないと思う
- 3 いちがいにいえない
- 4 わからない

【単純集計】



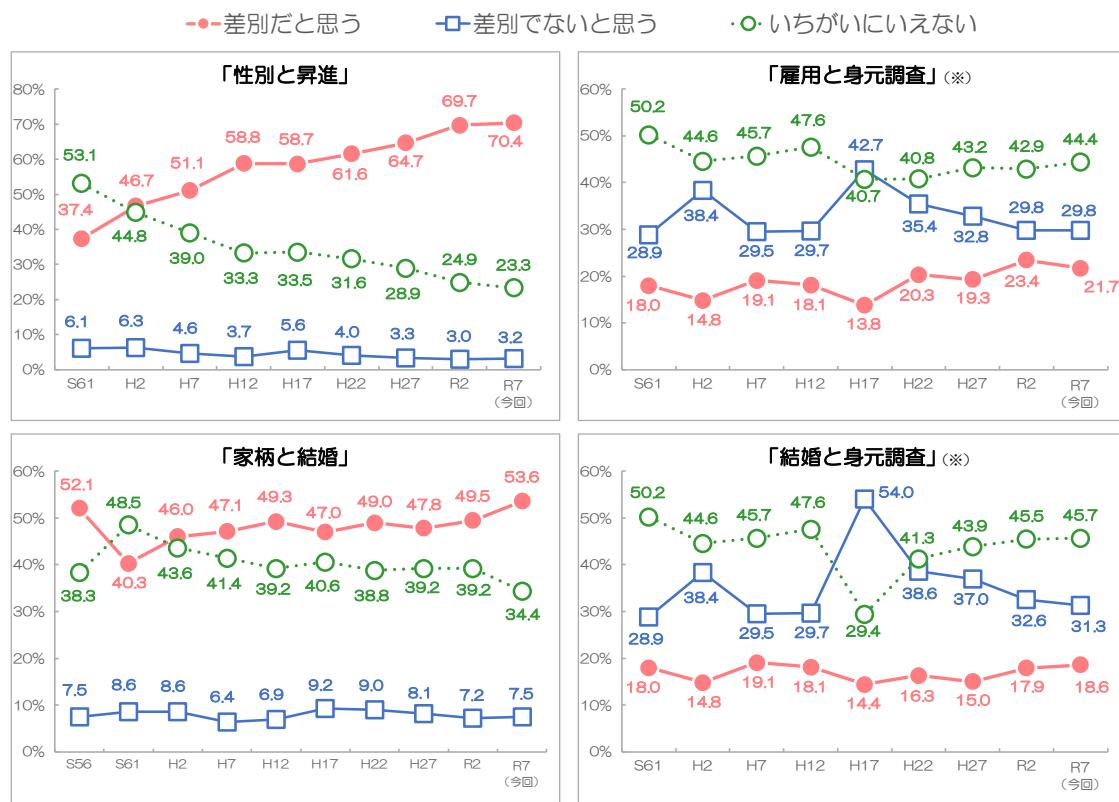
「差別だと思う」と答えた人の割合は、【性別で昇進に差をつける】は70.4%、【家柄で結婚に反対する】は53.6%と高くなっている。

一方、【雇用時に身元調査をする】【結婚時に身元調査をする】では、いずれも「差別でないと思う」と答えた人の割合（各29.8%、31.3%）は、「差別だと思う」と答えた人の割合（各21.7%、18.6%）を上回っている。



【性別で昇進に差をつける】【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人の割合は高く、【雇用時に身元調査をする】【結婚時に身元調査をする】を「差別だと思う」と答えた人の割合は低い

【時系列比較】

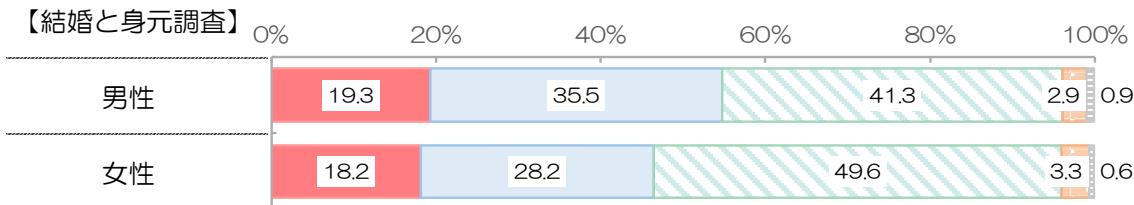
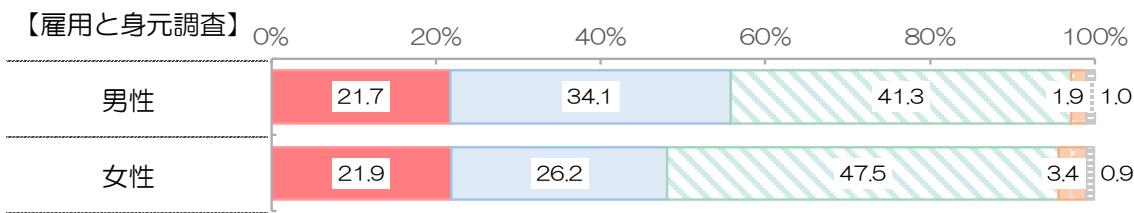
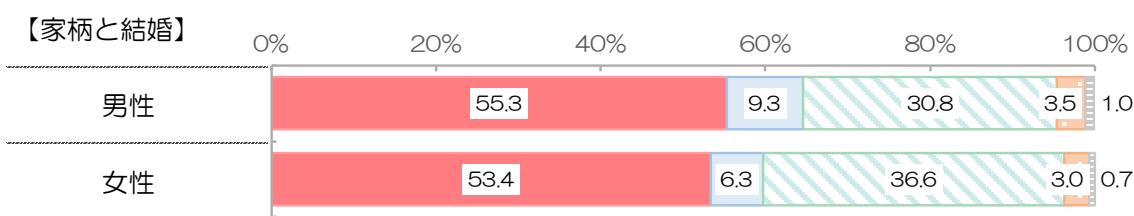
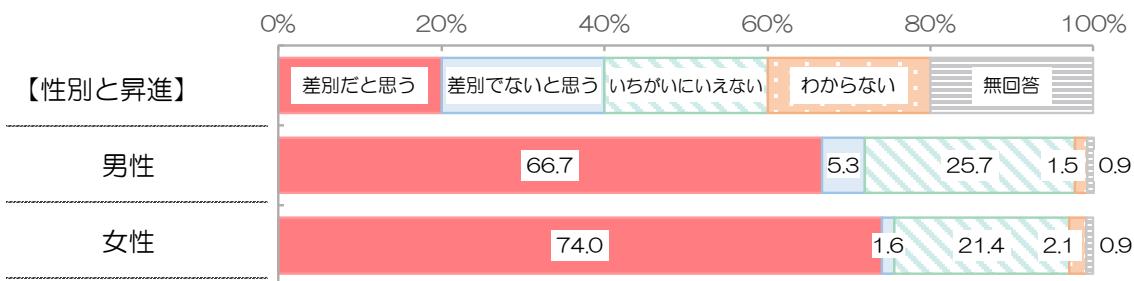


※注：H12までは「雇用・結婚と身元調査」という項目で調査した。

【性別で昇進に差をつける】【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人の割合は増えており、以前の調査と比較して最も高くなっている

【属性別集計】

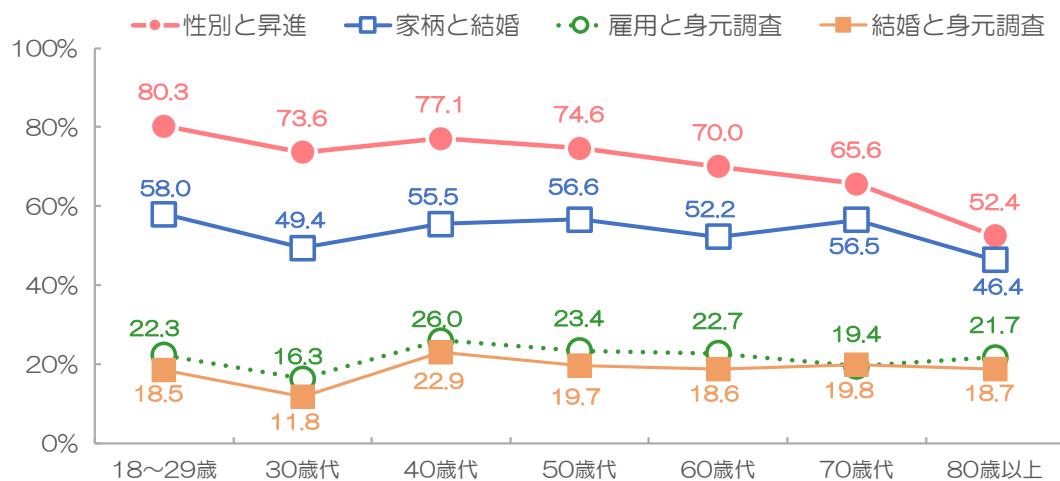
●性別比較



【性別で昇進に差をつける】を「差別だと思う」と答えた人の割合は、男性 66.7%、女性 74.0%、【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人の割合は、男性 55.3%、女性 53.4%となっている。

●年代別比較

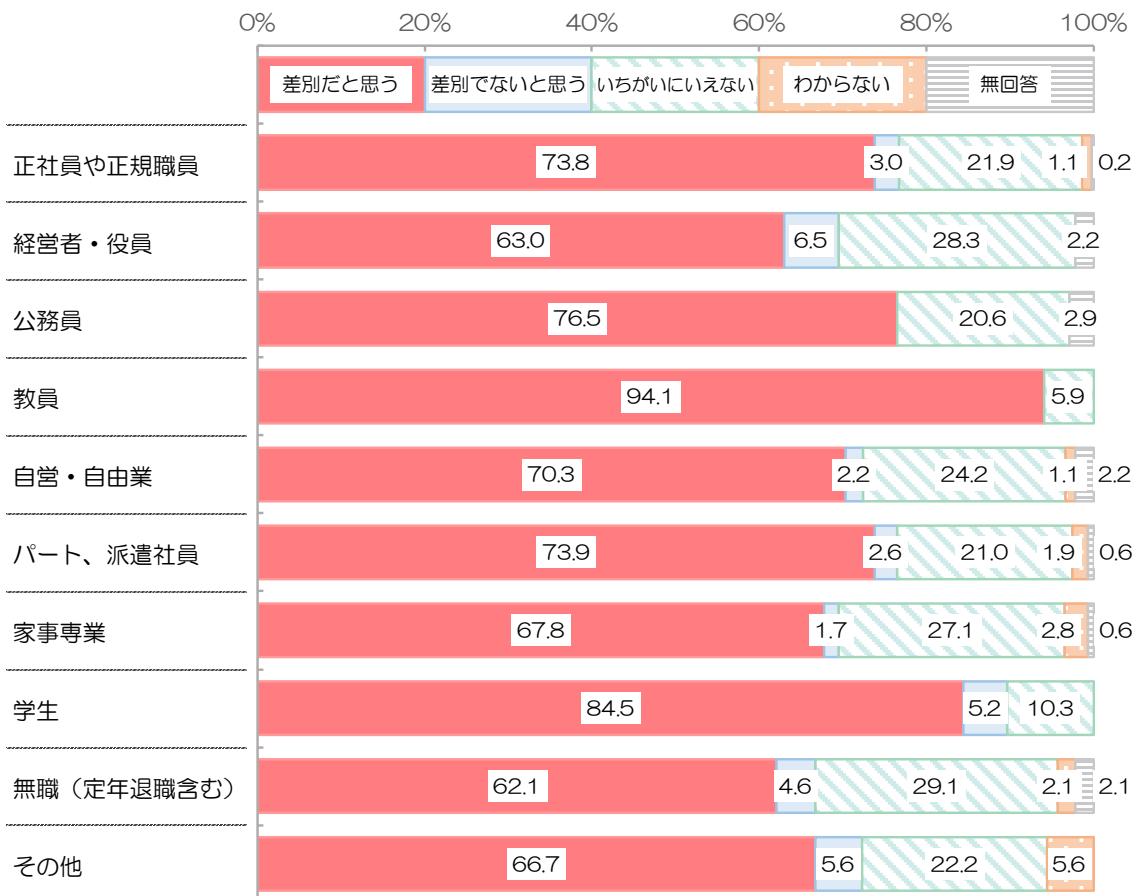
質問2（I～IV）について「差別だと思う」と答えた人の割合を、年代別比較



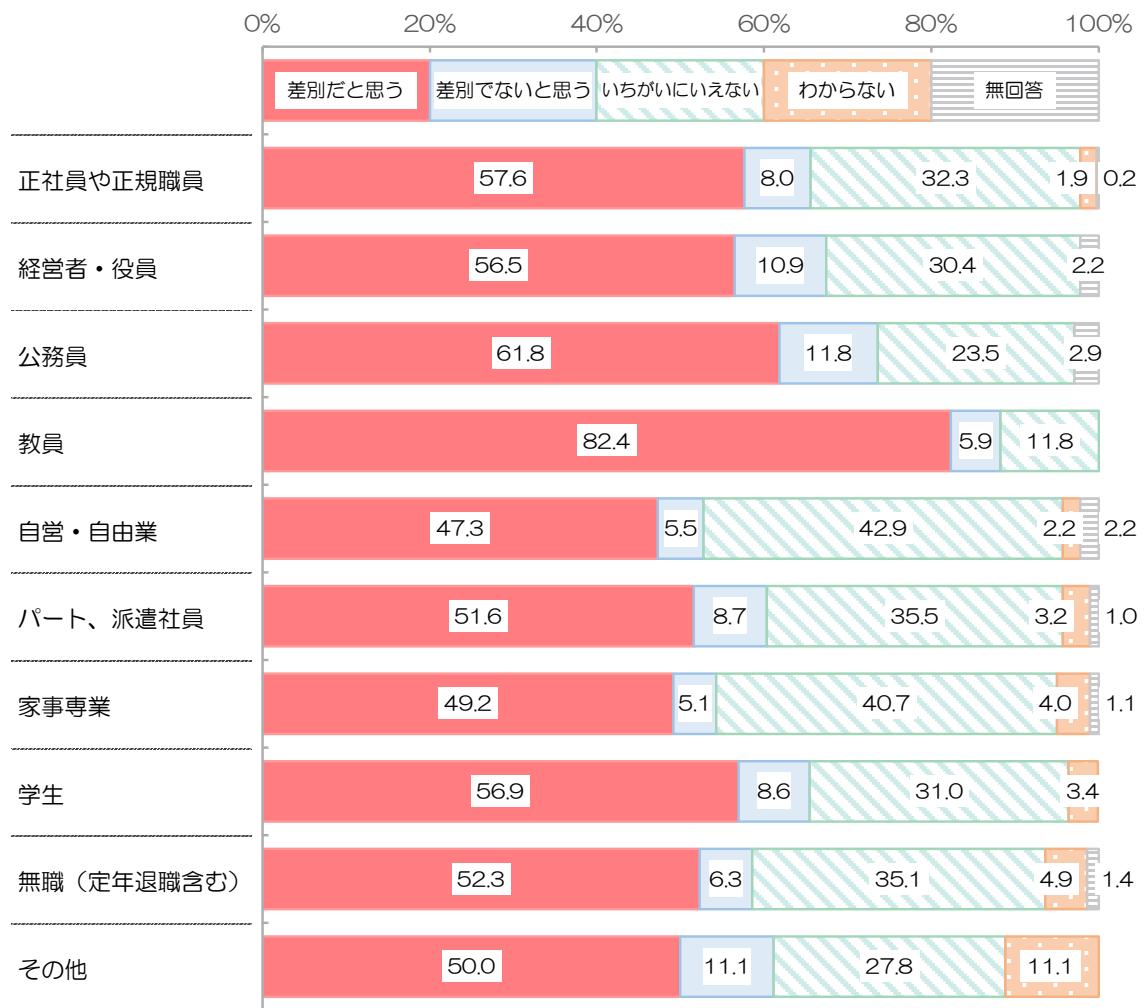
☀ いずれの年代も、【性別で昇進に差をつける】【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人の割合は、【雇用時に身元調査をする】【結婚時に身元調査をする】と比較すると高い

●職業別比較

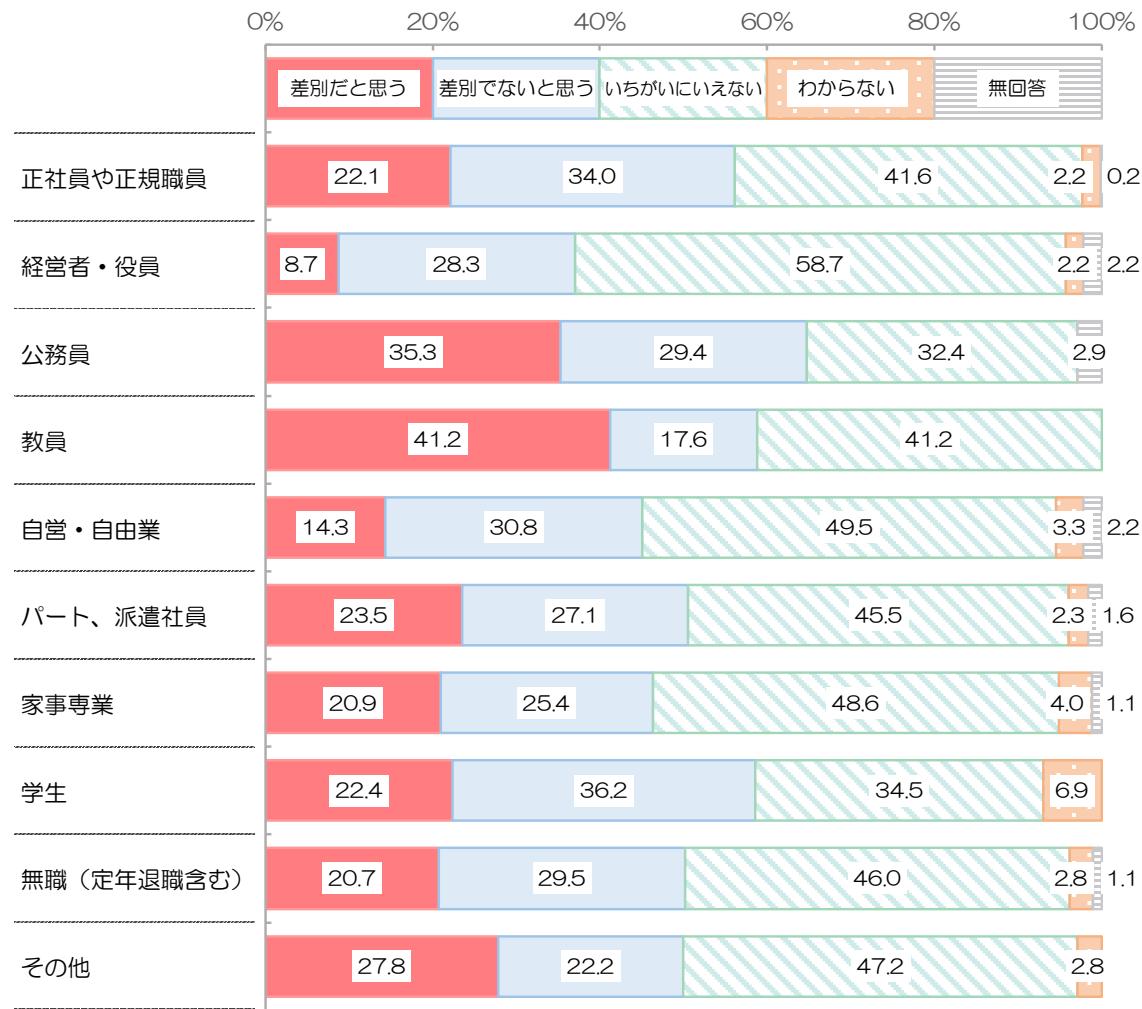
（質問2-I）【性別と昇進】



(質問2-II)【家柄と結婚】

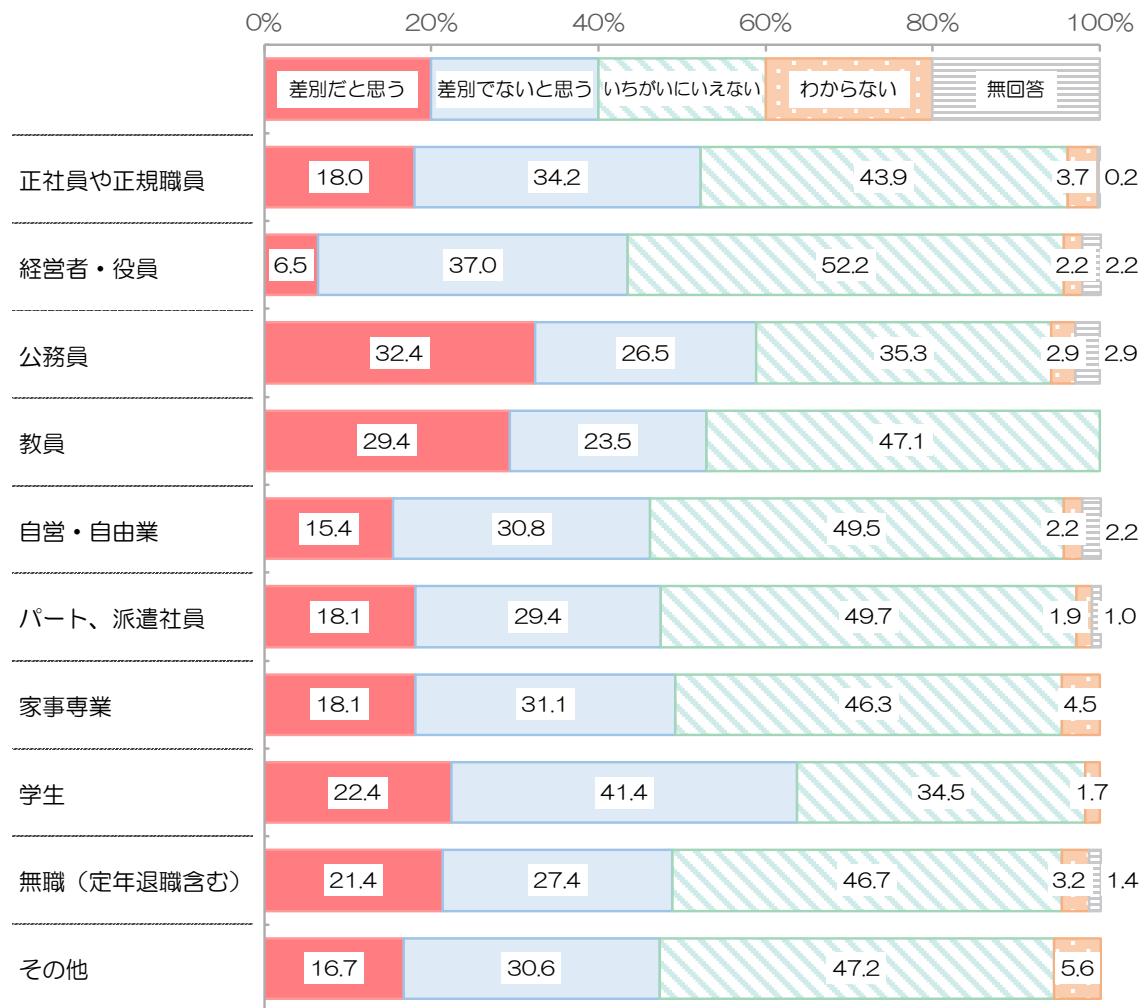


(質問2-III) 【雇用と身元調査】



「差別でないと思う」と答えた人の割合は、「学生」が36.2%と最も高く、次いで「正社員や正規職員」34.0%、「自営・自由業」30.8%の順となっている。

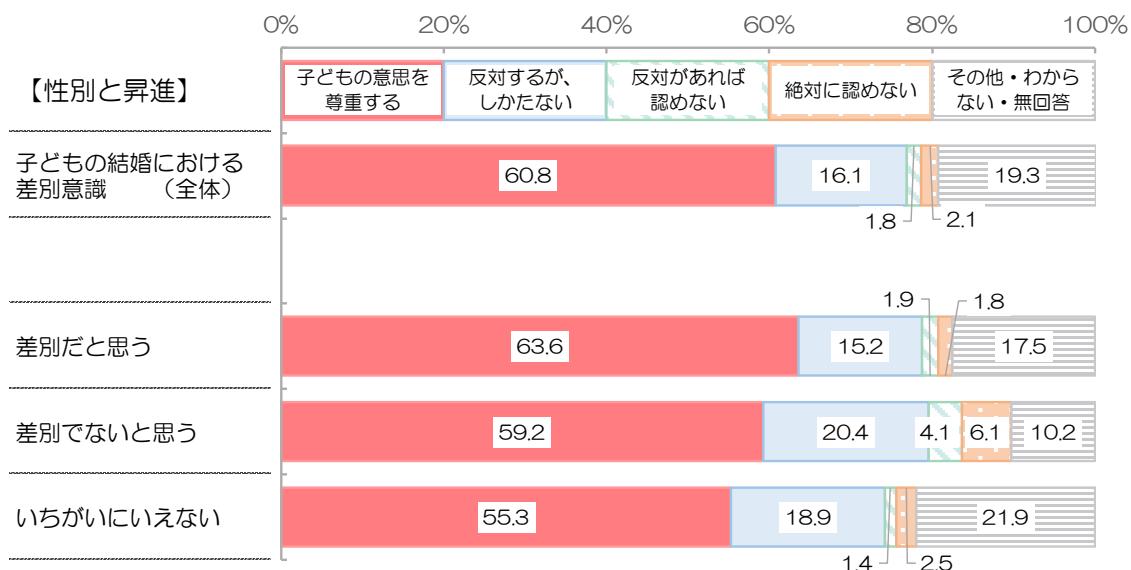
(質問2-IV) 【結婚と身元調査】



「差別でないと思う」と答えた人の割合は、「学生」が41.4%と最も高く、次いで「経営者・役員」37.0%、「正社員や正規職員」34.2%の順となっている。

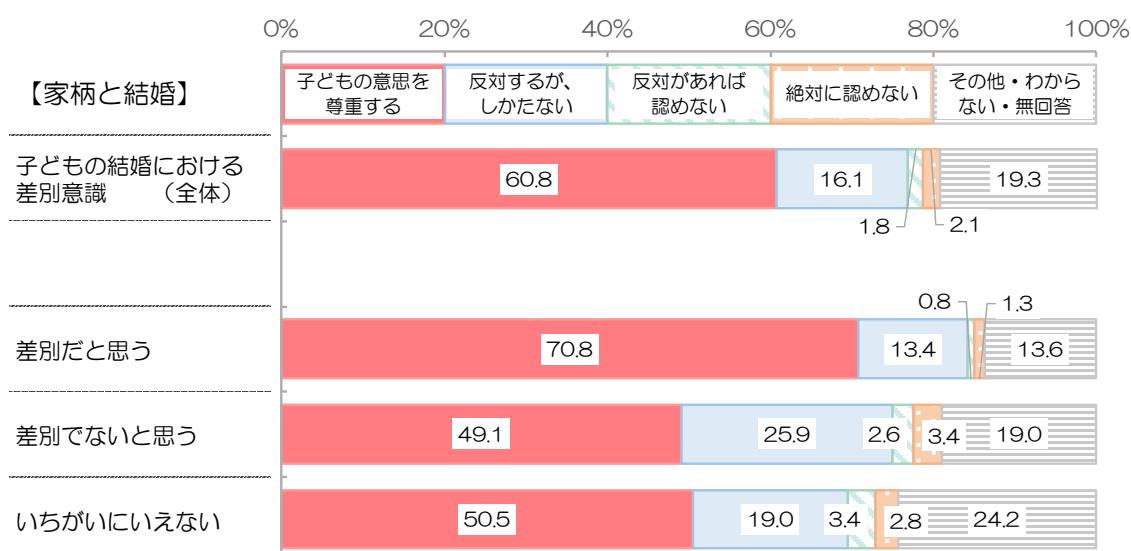
【設問間クロス集計】

質問2-I 「差別に対する考え方（性別と昇進）」と質問11「子どもの結婚相手が被差別部落・同和地区出身者とわかった場合どうするか」との関連分析



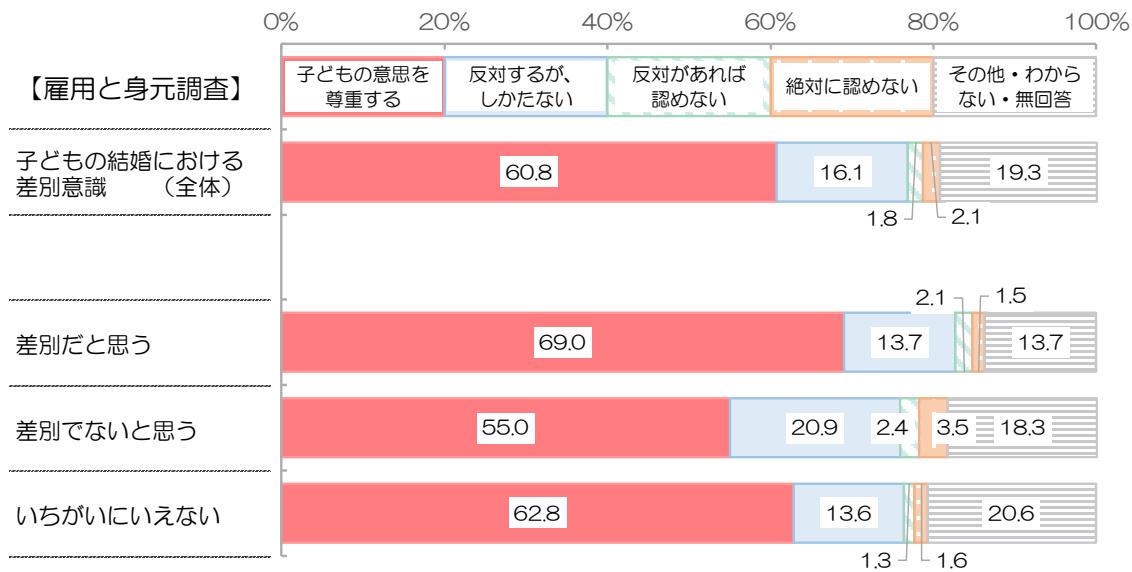
【性別で昇進に差をつける】を「差別だと思う」と答えた人は、「差別でないと思う」、「いちがいにいえない」と答えた人より「子どもの意思を尊重する」と答えた割合が高い

質問2-II 「差別に対する考え方（家柄と結婚）」と質問11「子どもの結婚相手が被差別部落・同和地区出身者とわかった場合どうするか」との関連分析



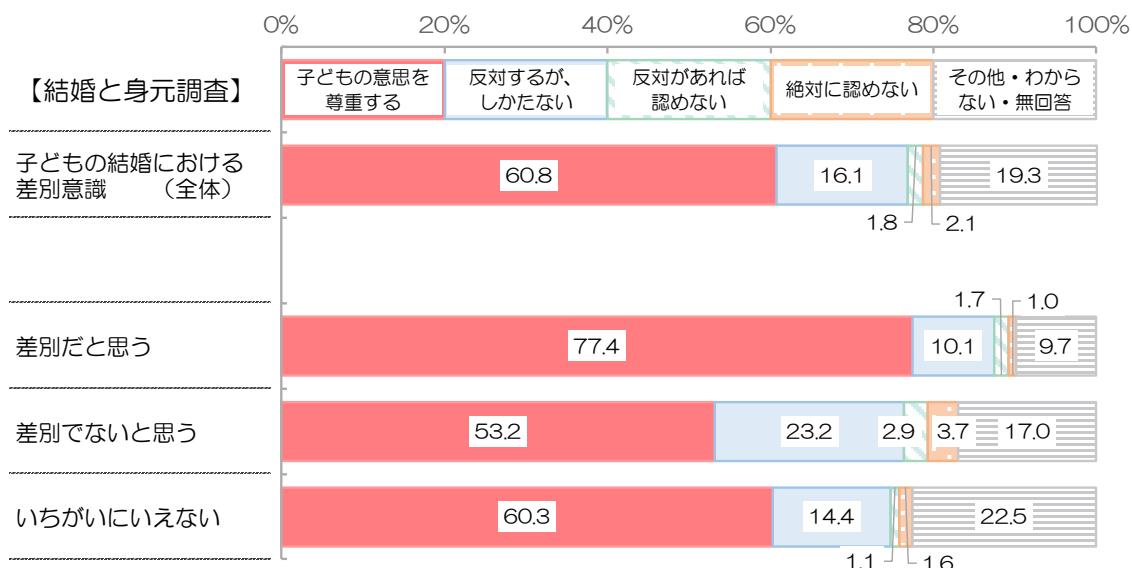
【家柄で結婚に反対する】を「差別だと思う」と答えた人は、「差別でないと思う」、「いちがいにいえない」と答えた人より「子どもの意思を尊重する」と答えた割合が高い

質問2-Ⅲ「差別に対する考え方（雇用と身元調査）」と質問11「子どもの結婚相手が被差別部落・同和地区出身者とわかった場合どうするか」との関連分析



【雇用時の身元調査】を「差別だと思う」と答えた人は、「差別でないと思う」、「いちがいにいえない」と答えた人より「子どもの意思を尊重する」と答えた割合が高い

質問2-Ⅳ「差別に対する考え方（結婚と身元調査）」と質問11「子どもの結婚相手が被差別部落・同和地区出身者とわかった場合どうするか」との関連分析



【結婚時の身元調査】を「差別だと思う」と答えた人は、「差別でないと思う」、「いちがいにいえない」と答えた人より「子どもの意思を尊重する」と答えた割合が高い

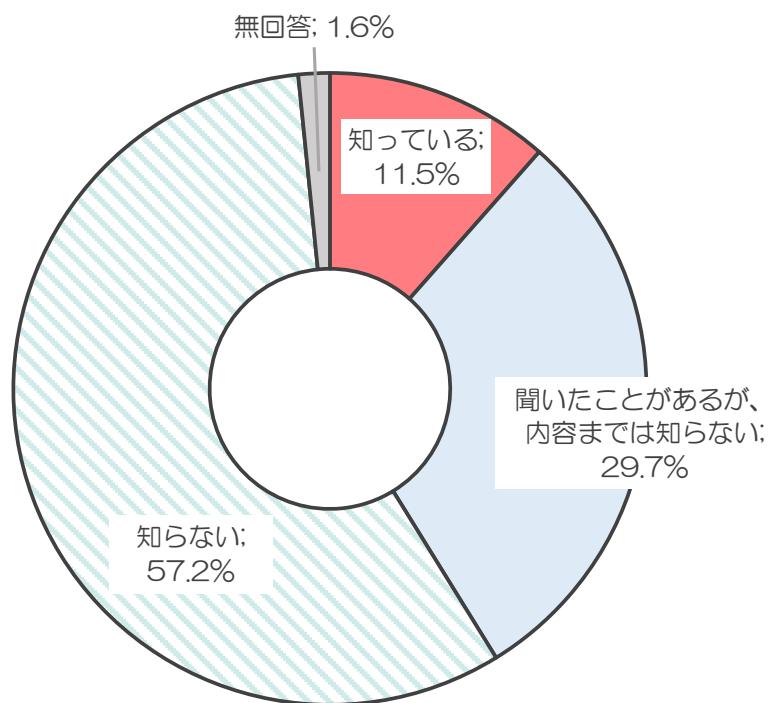
3 「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況

【質問3】

あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律」を知っていますか。(SA)
(あてはまる番号1つに○)

- 1 知っている
- 2 法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない
- 3 知らない

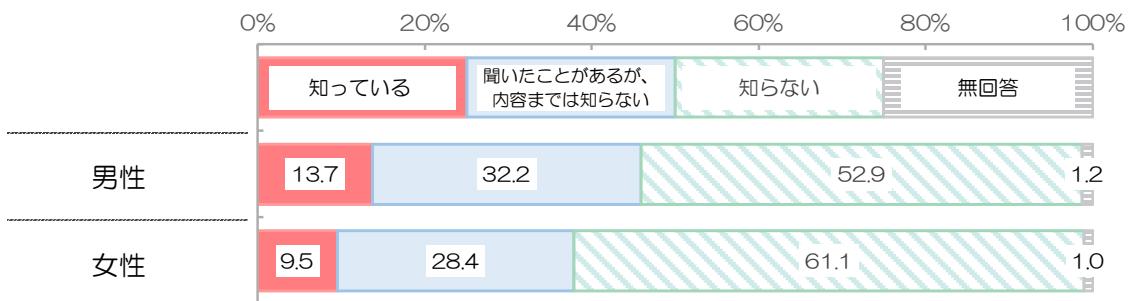
【単純集計】



「知っている」と答えた人の割合は11.5%、「聞いたことがあるが、内容までは知らない」29.7%、「知らない」57.2%となっている。

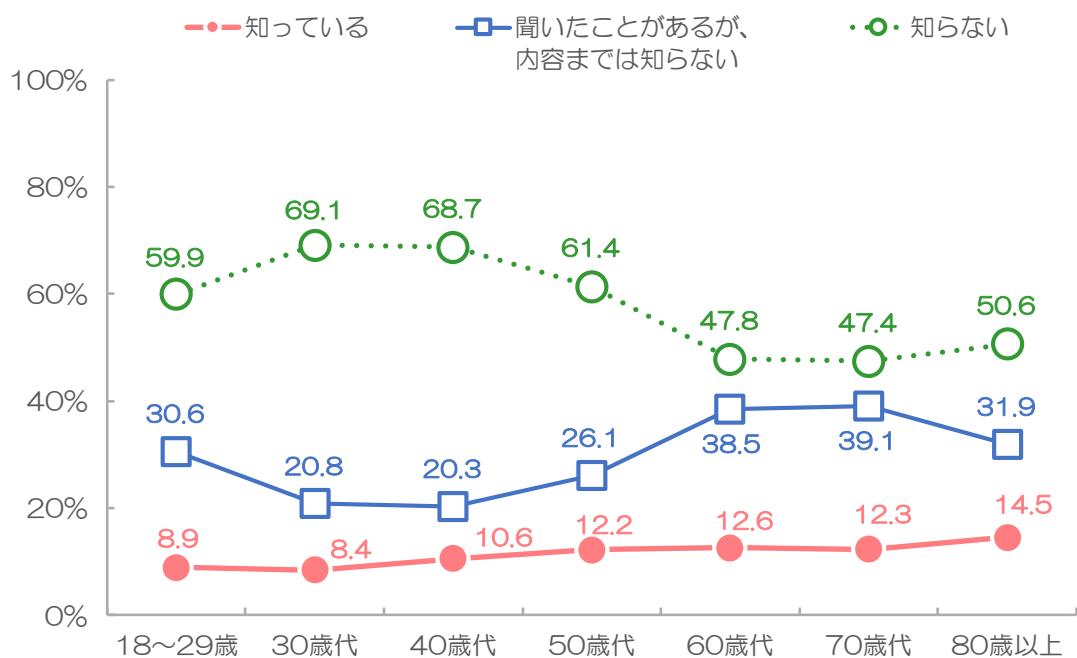
【属性別集計】

●性別比較

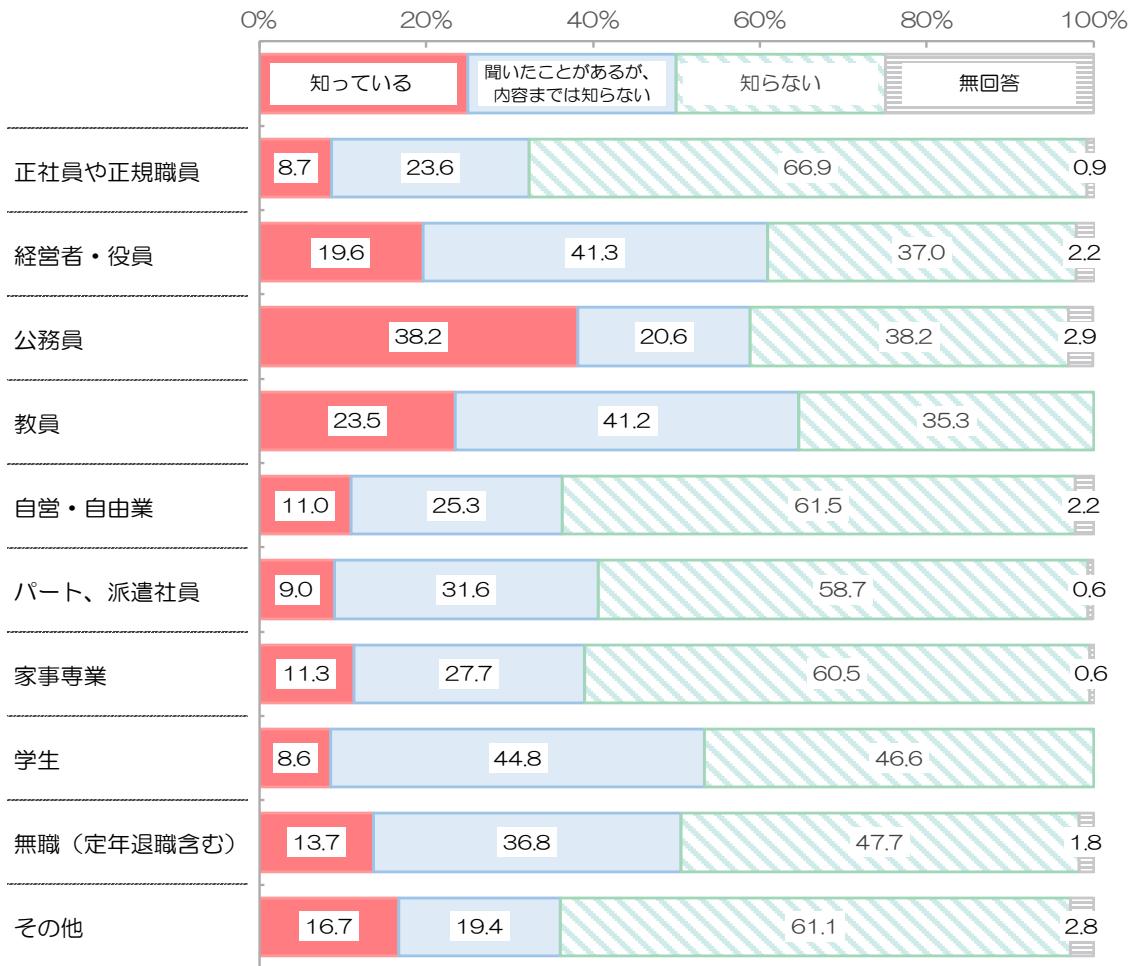


💡 「部落差別の解消の推進に関する法律」を「知っている」と答えた人の割合は、男性の方が高い

●年代別比較

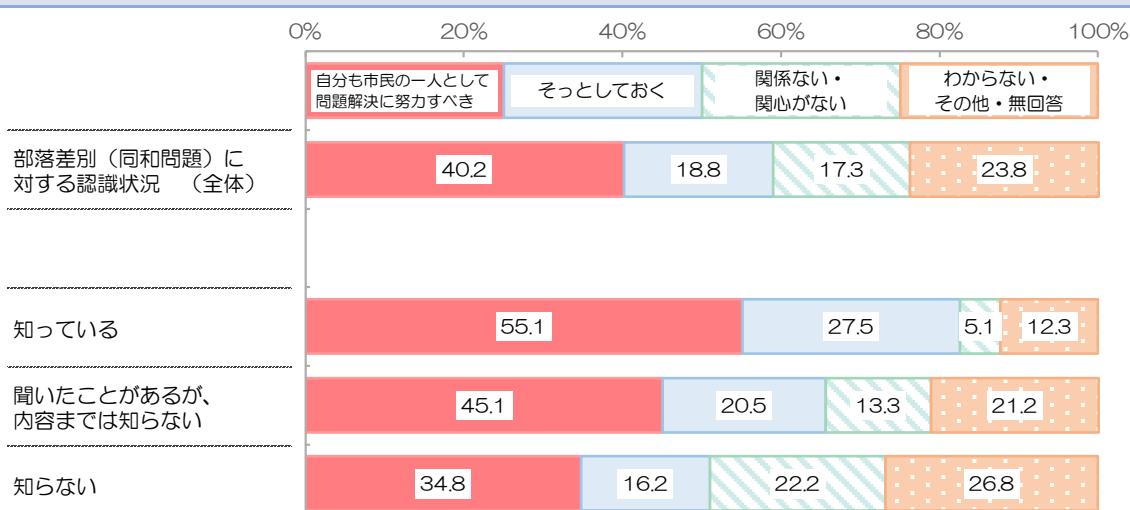


●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問3 「「部落差別の解消の推進に関する法律」の認知状況」と質問8 「部落差別（同和問題）に対する認識状況」との関連分析



「部落差別の解消の推進に関する法律」を「知っている」と答えた人は、「知らない」と答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

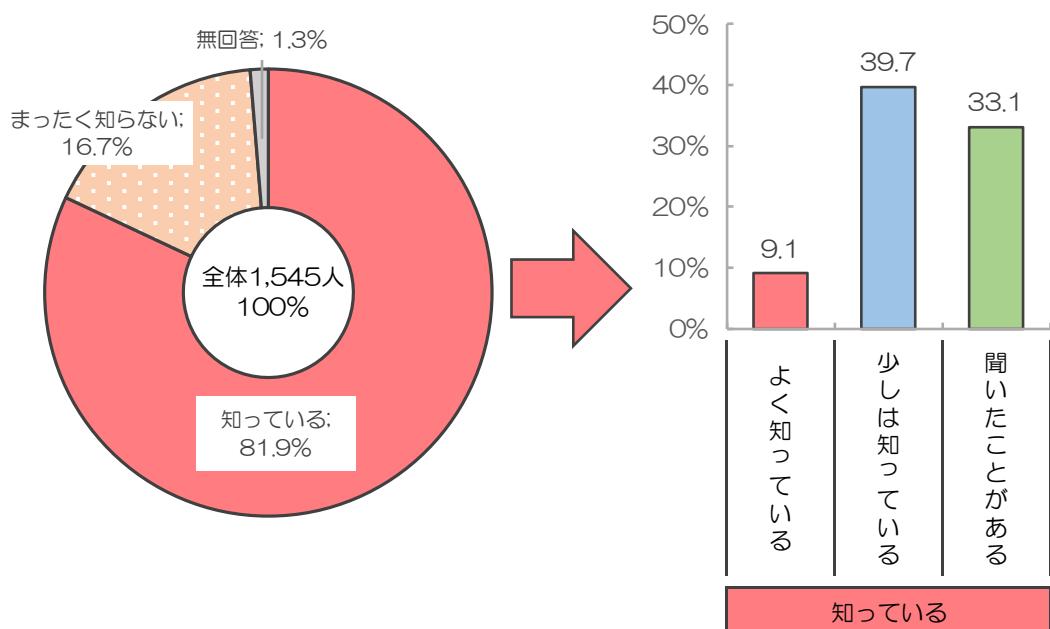
4 部落差別（同和問題）の認知状況

【質問4】

あなたは部落差別（同和問題）を知っていますか。（SA）（あてはまる番号1つに○）

- 1 よく知っている
- 2 少しあは知っている
- 3 聞いたことがある
- 4 まったく知らない

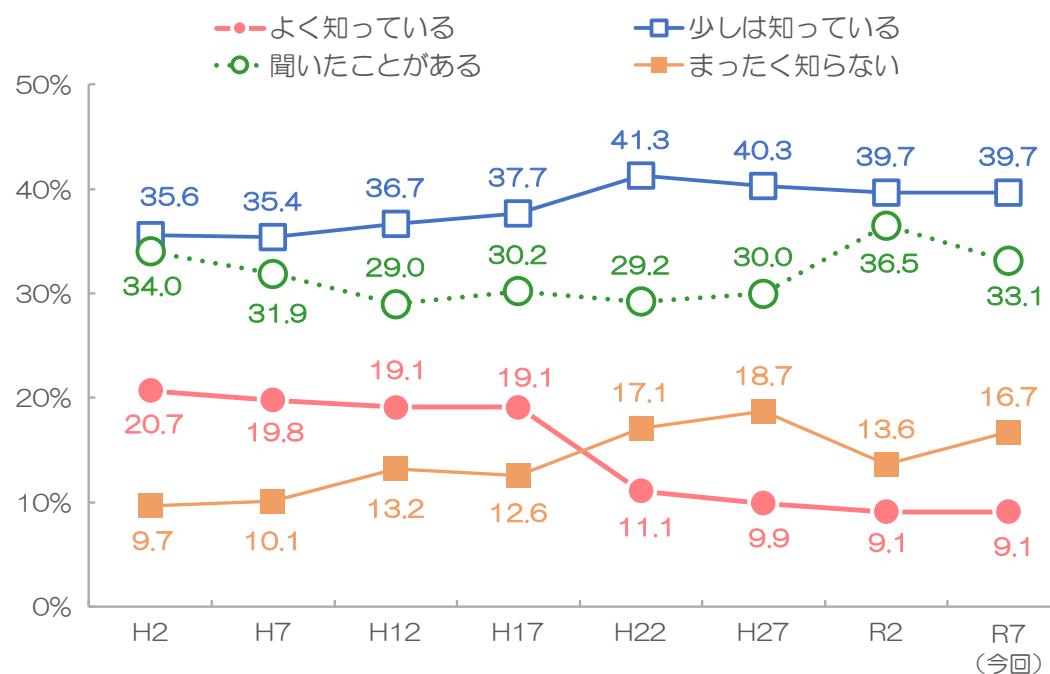
【単純集計】



「よく知っている」は9.1%、「少しあは知っている」は39.7%、「聞いたことがある」は33.1%となり、合わせて、何らかの形で部落差別（同和問題）を『知っている』と答えた人の割合は81.9%を占める。

 部落差別（同和問題）を『知っている』と答えた人の割合が最も高い

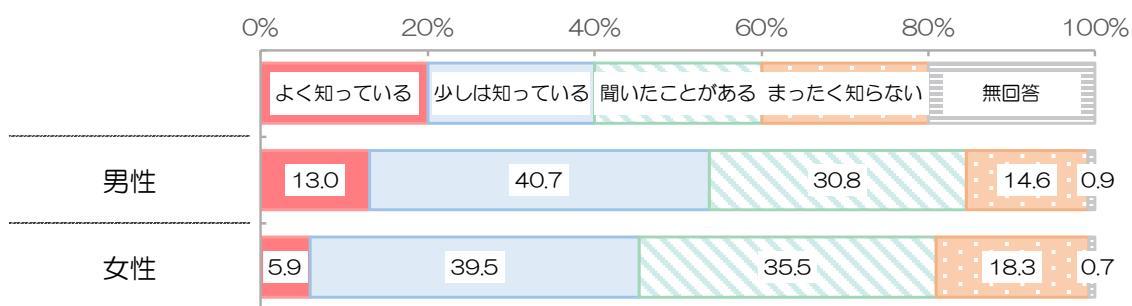
【時系列比較】



前回と比較して、「よく知っている」、「少しあつても」 という人の割合は変わっていない。一方、「まったく知らない」と答えた人の割合は増えている。

【属性別集計】

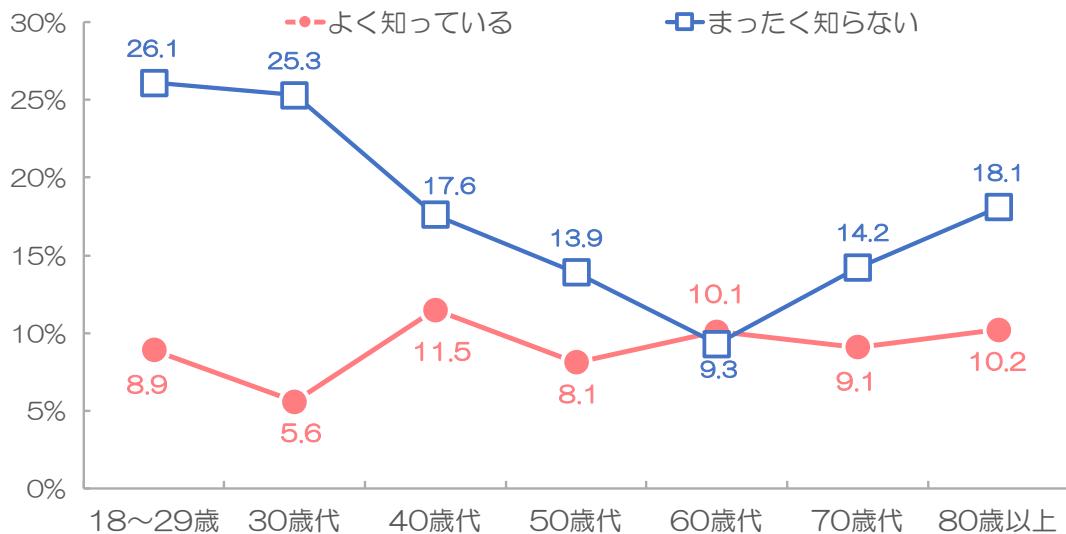
●性別比較



「よく知っている」と答えた人の割合は、13.0%で男性の方が高い。

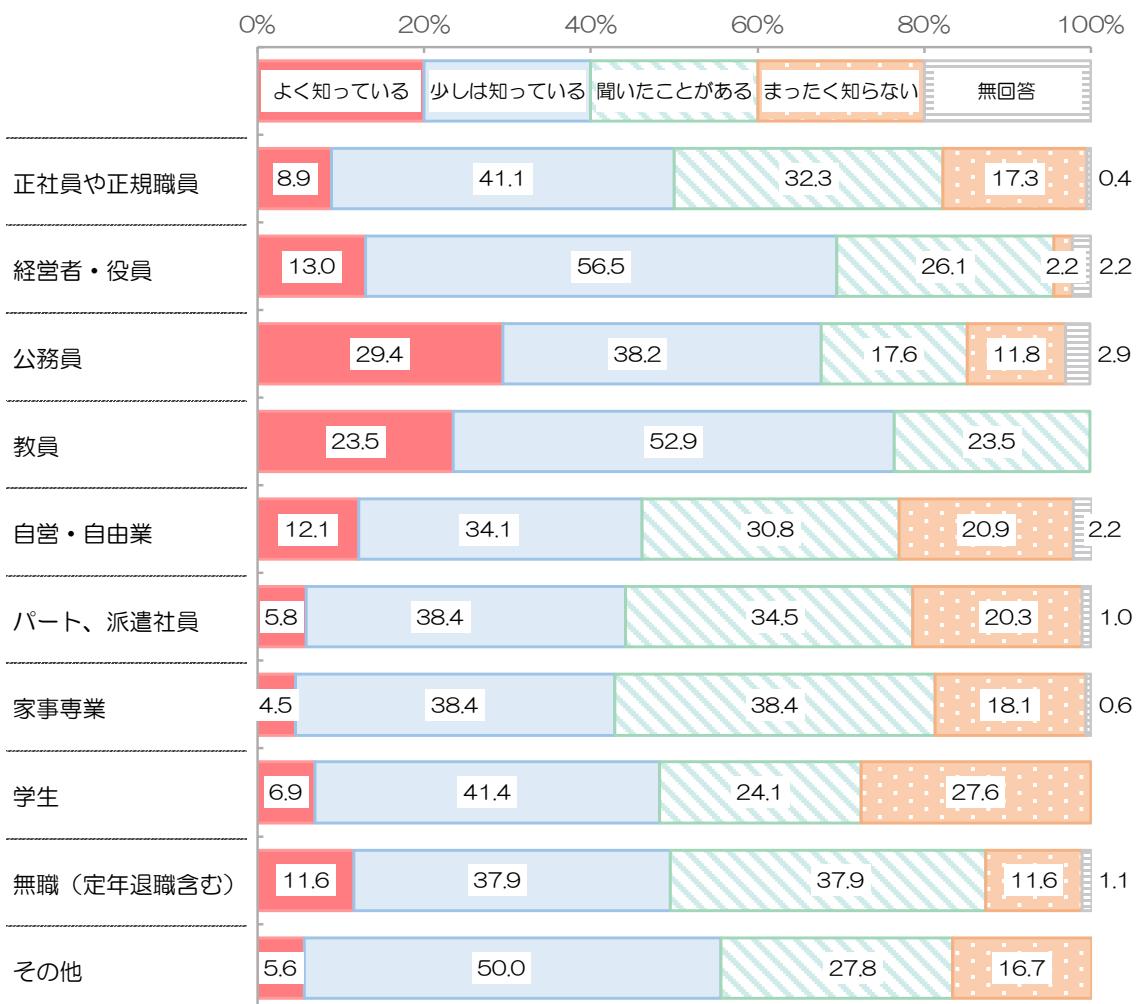
●年代別比較

「よく知っている」「まったく知らない」と答えた人の割合を、年代別比較



「よく知っている」と答えた人の割合は、40歳代が11.5%と最も高く、30歳代が5.6%と最も低くなっている。

●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問4「部落差別（同和問題）の認知状況」と質問8「部落差別（同和問題）に対する認識状況」との関連分析



「よく知っている」と答えた人は、「少しあつても」、「聞いたことがある」、「まったく知らない」と答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

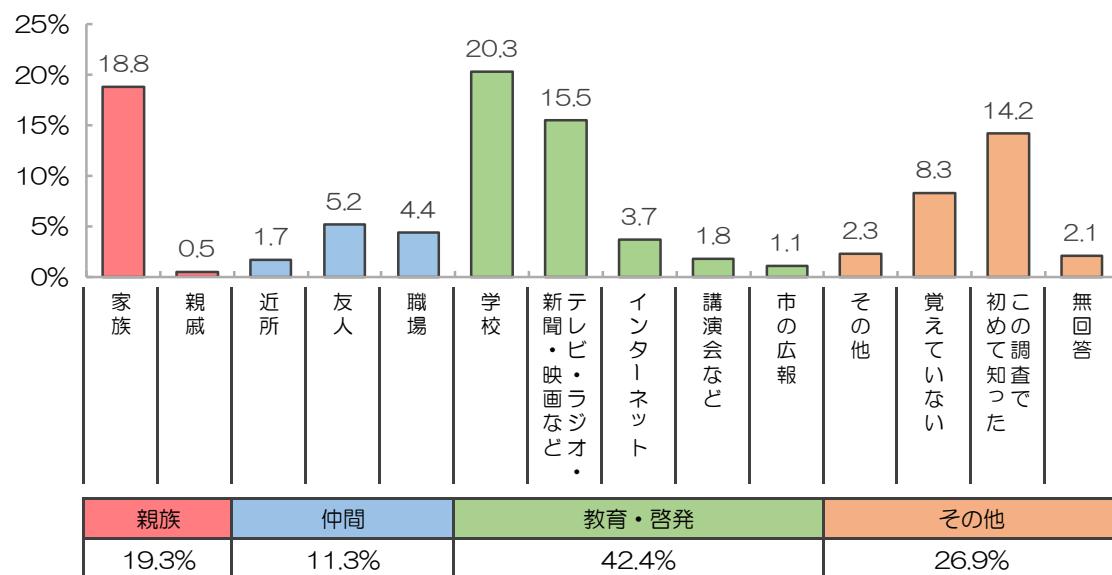
5 部落差別（同和問題）の認知経路

【質問5】

あなたが部落差別（同和問題）を初めて知ったり、聞いたりしたきっかけは、誰からまたは何からですか。（SA）（あてはまる番号1つに○）

- 1 家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）
- 2 親戚の人
- 3 近所の人
- 4 友人
- 5 職場の人
- 6 学校の授業
- 7 テレビ・ラジオ・新聞・映画・本など
- 8 インターネット
- 9 講演会や研修会
- 10 市の広報（広報なごや・啓発冊子「部落差別（同和問題）と人権」など）
- 11 その他
- 12 覚えていない
- 13 このアンケート調査で初めて知った

【単純集計】



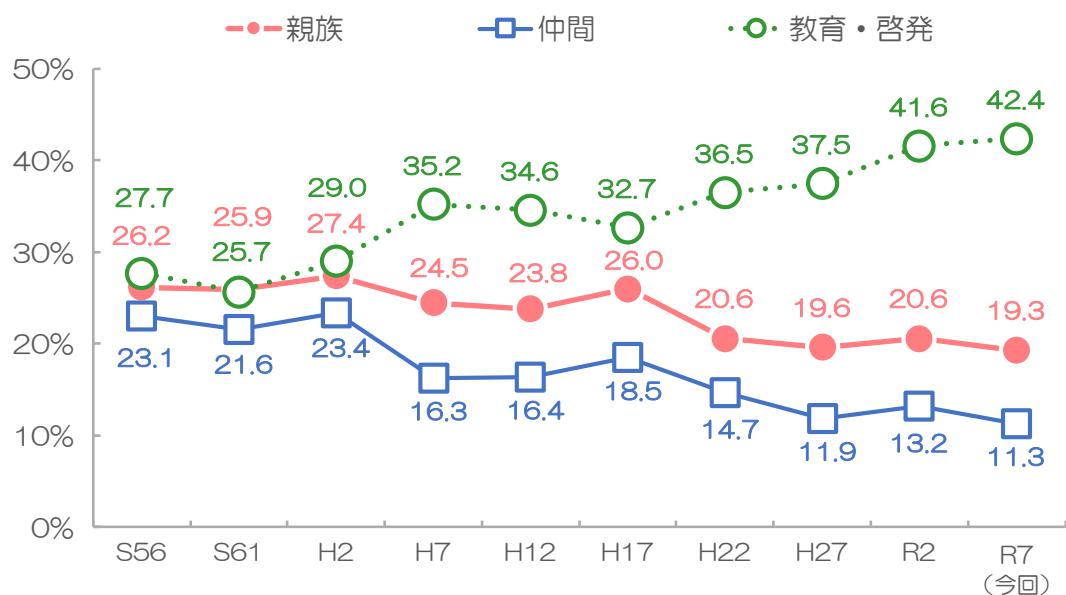
部落差別（同和問題）の認知経路を『親族』『仲間』『教育・啓発』のグループに分けてみると、『教育・啓発』が42.4%と最も高く、次いで『親族』19.3%、『仲間』11.3%となっている。

項目別にみると、「学校」が20.3%と以前の調査と比較して最も高く、「家族」18.8%、「テレビ・新聞など」15.5%、「この調査で初めて知った」14.2%の順となっている。



『教育・啓発』と答えた人の割合が最も高い

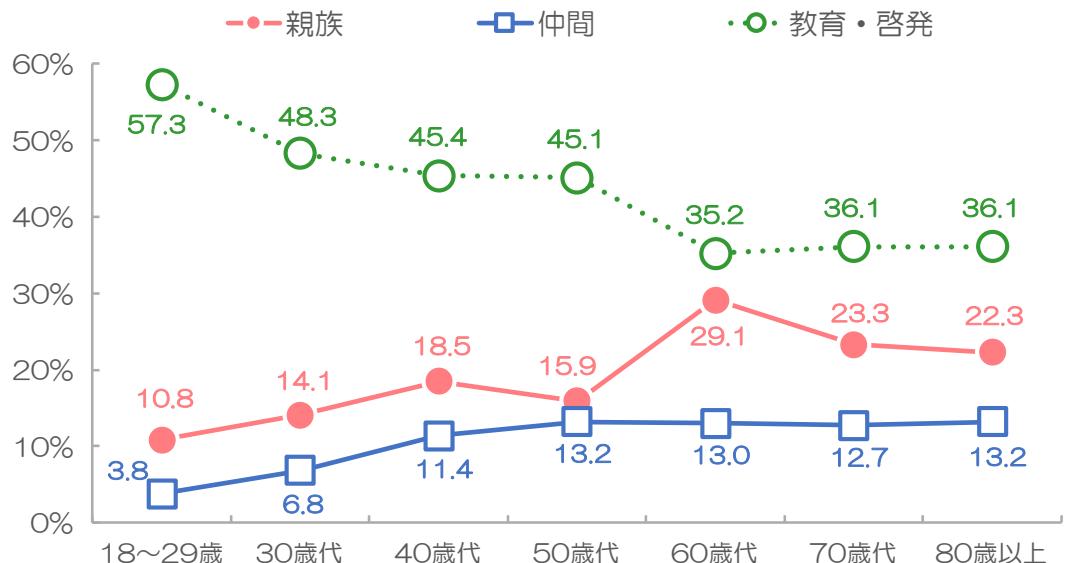
【時系列比較】



『教育・啓発』と答えた人の割合が増えている

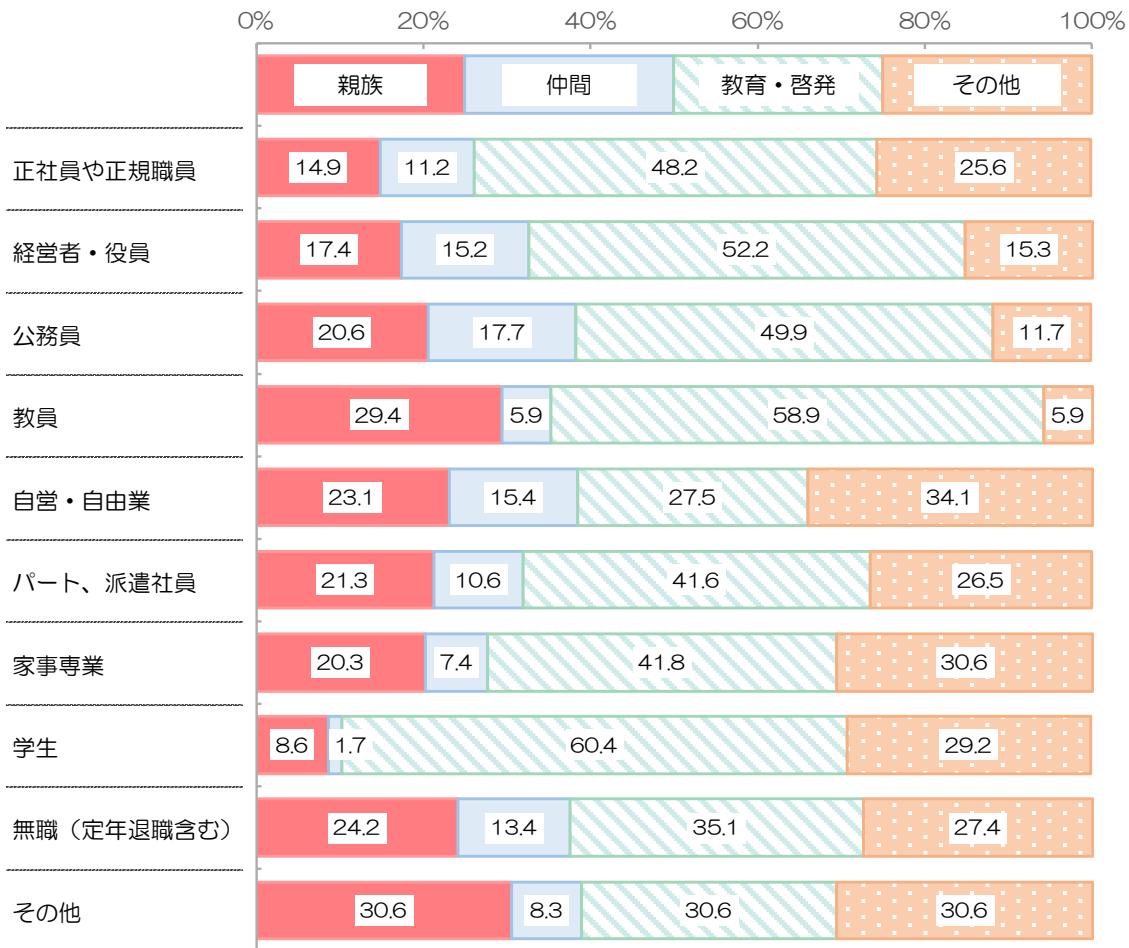
【属性別集計】

●年代別比較



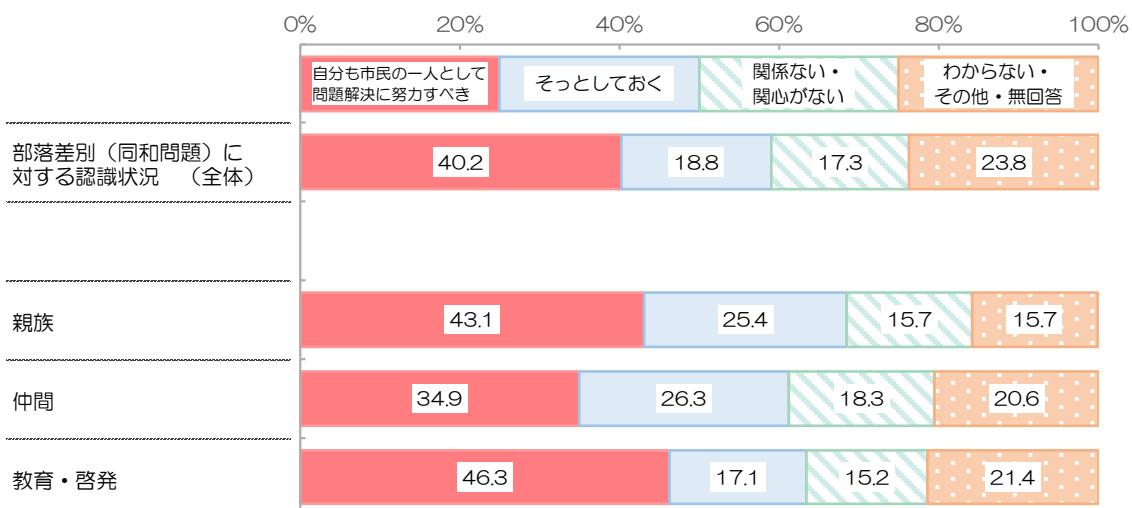
いずれの年代も、『教育・啓発』と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問5「部落差別（同和問題）の認知経路」と質問8「部落差別（同和問題）に対する認識状況」との関連分析



『教育・啓発』と答えた人は、『親族』、『仲間』と答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

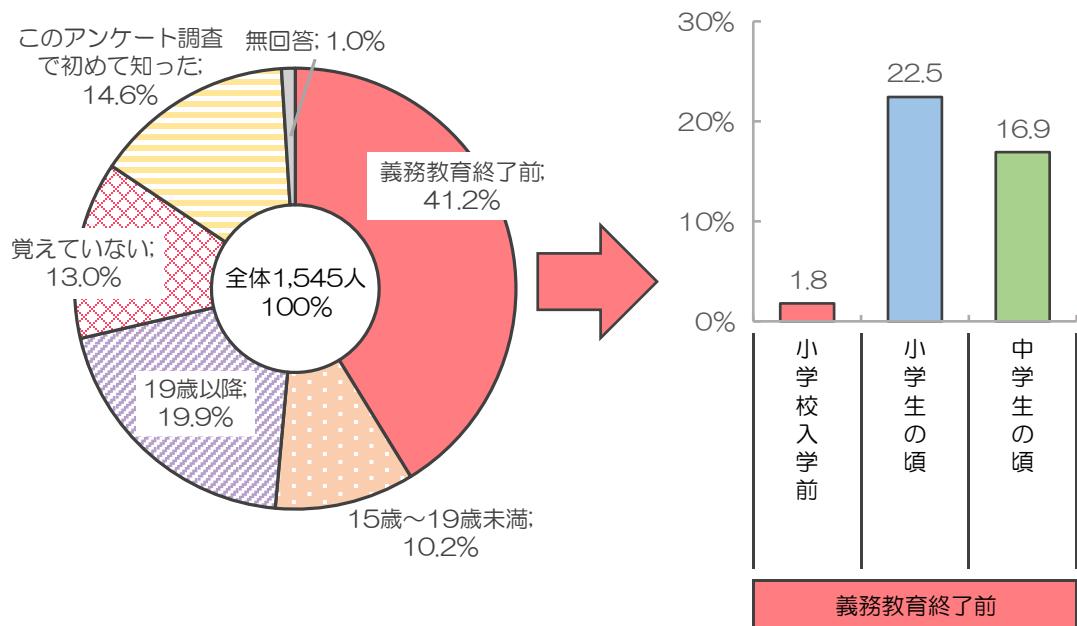
6 部落差別（同和問題）の認知時期

【質問6】

あなたが部落差別（同和問題）について初めて知ったり、聞いたりしたのは、いつ頃のことですか。（SA）（あてはまる番号1つに○）

- 1 6歳未満（小学校に入学する前）
- 2 6歳～12歳未満（小学生の頃）
- 3 12歳～15歳未満（中学生の頃）
- 4 15歳～19歳未満
- 5 19歳以降
- 6 覚えていない
- 7 このアンケート調査で初めて知った

【単純集計】



※注:『義務教育終了前』は15歳未満

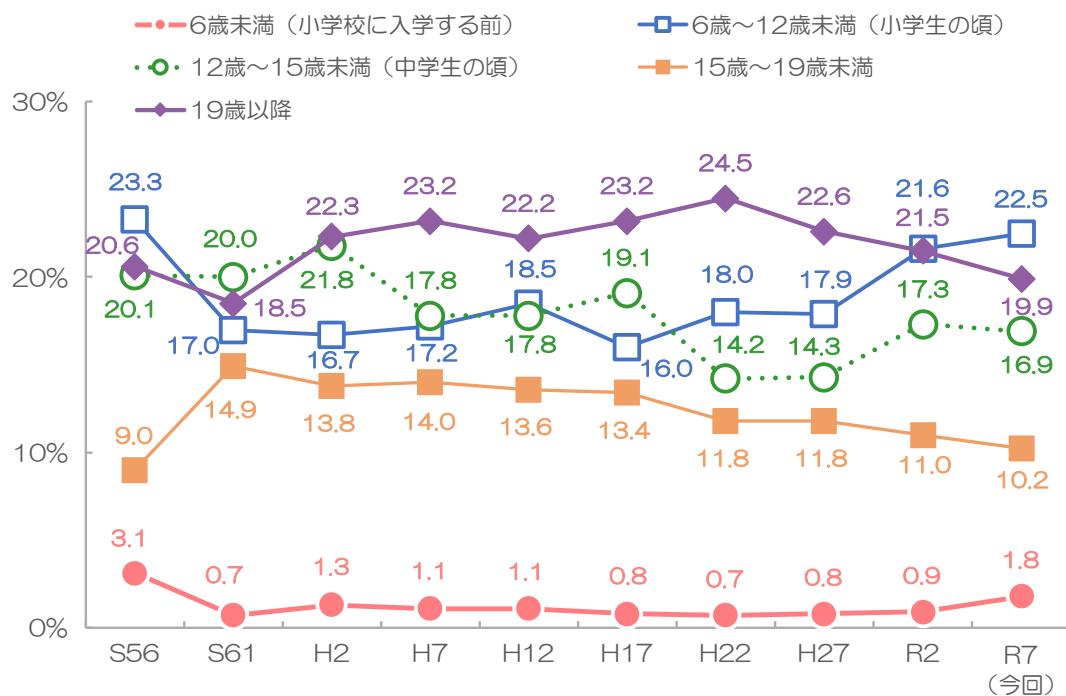
認知時期は『義務教育終了前』と答えた人の割合が41.2%と最も高く、次いで「19歳以降」19.9%、「覚えていない」13.0%の順となっている。

『義務教育終了前』と答えた人の認知時期の割合は、「小学生の頃」が22.5%と最も高くなっている。

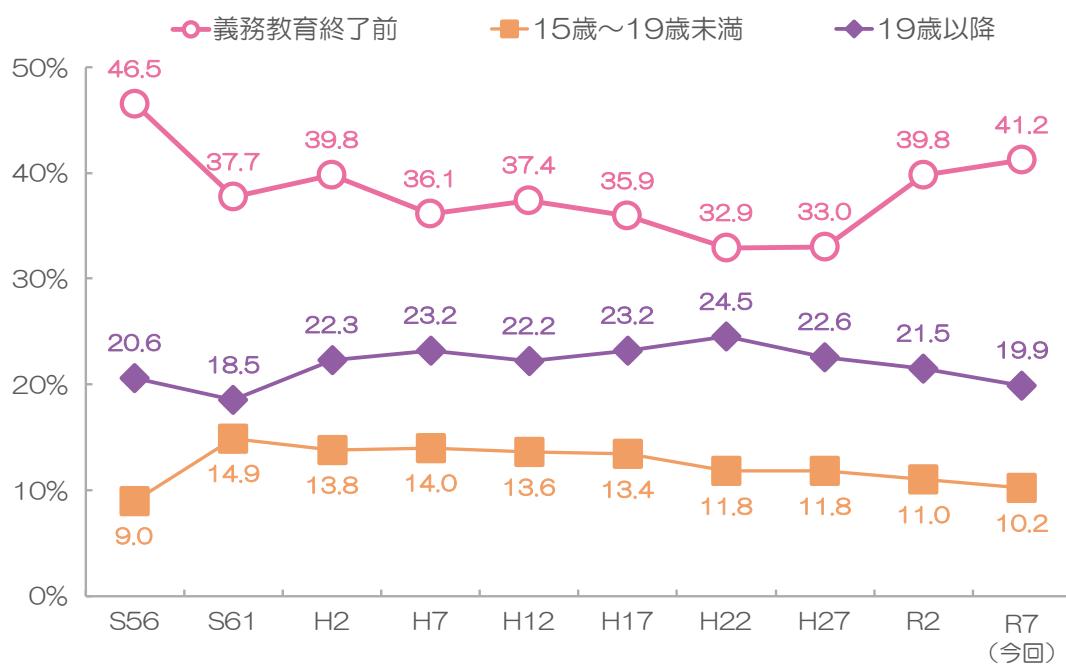


『義務教育終了前』に知ったと答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】



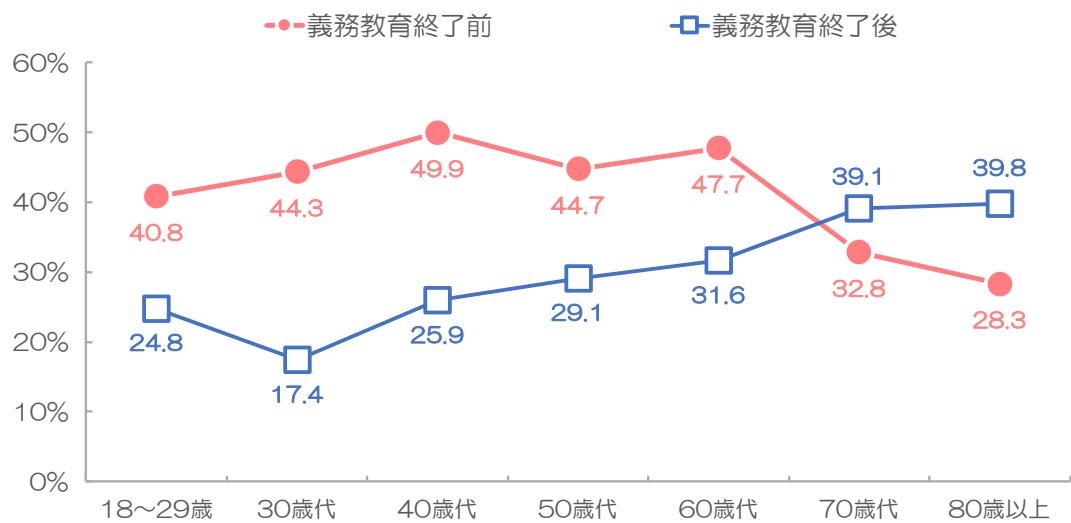
「6歳未満（小学校入学する前）」「6歳～12歳未満（小学生の頃）」「12歳～15歳未満（中学生の頃）」を『義務教育終了前』にまとめ、時系列比較



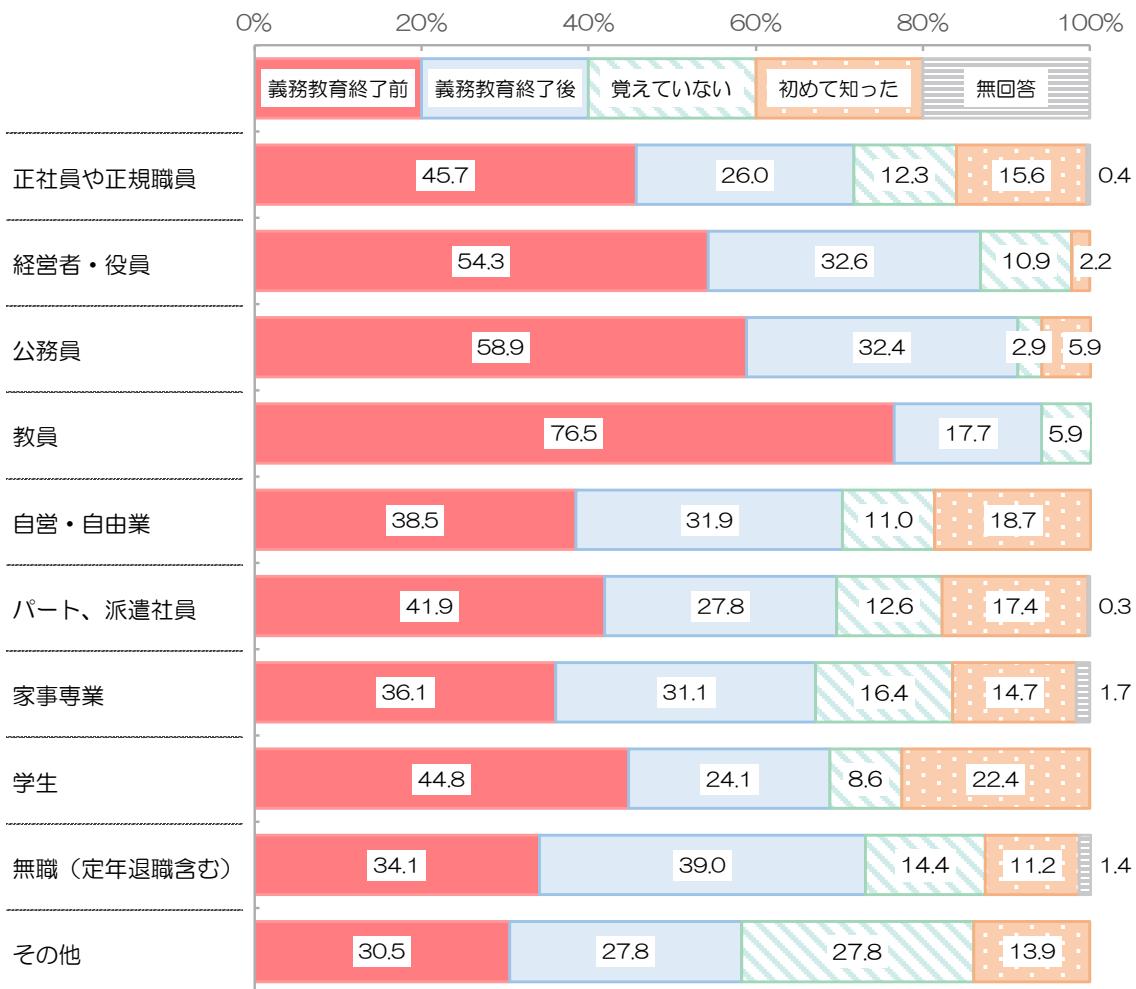
【属性別集計】

「15～19歳未満」、「19歳以降」を『義務教育終了後』にまとめ、『義務教育終了前』と『義務教育終了後』を年代別、職業別比較

●年代別比較

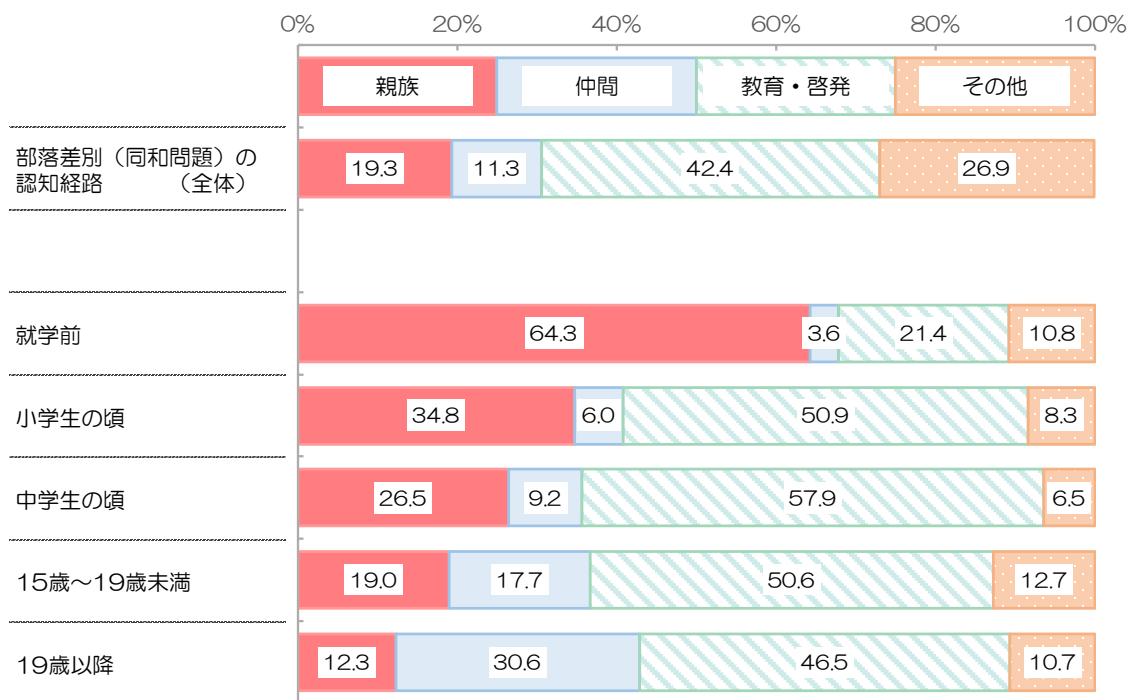


●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問6「部落差別（同和問題）の認知時期」と質問5「部落差別（同和問題）の認知経路」との関連分析



「小学生の頃」以降と答えた人は、『教育・啓発』と答えた割合が最も高い

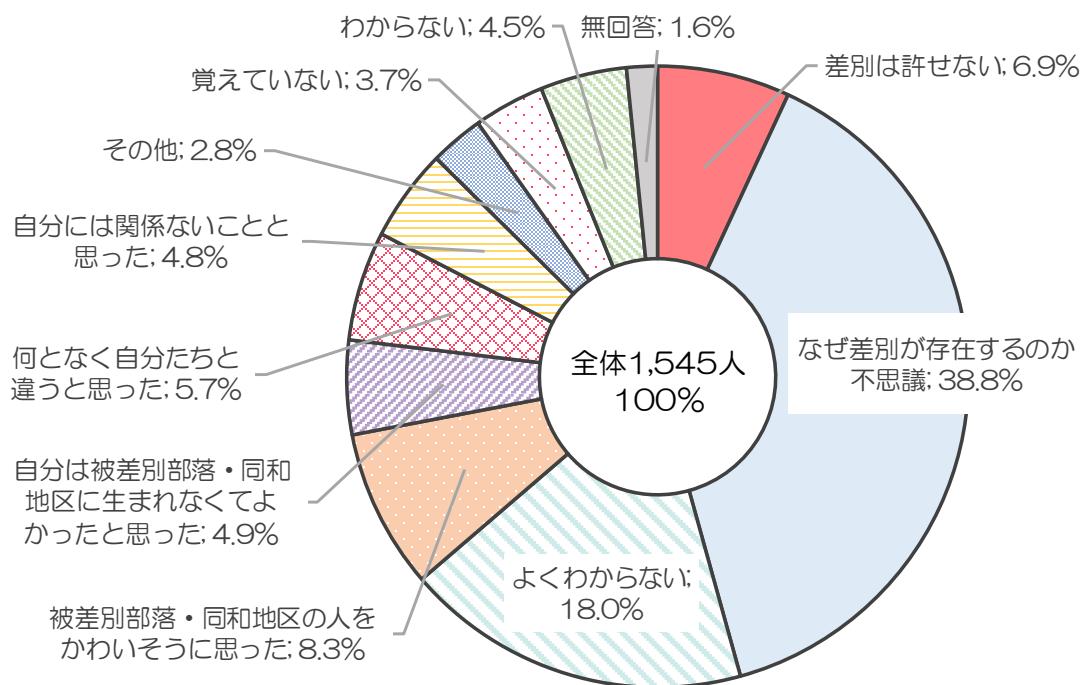
7 部落差別（同和問題）を知ったときの印象

【質問7】

あなたが部落差別（同和問題）を初めて知ったり、聞いたりしたとき、どう思いましたか。
(SA) (あてはまる番号1つに○)

- 1 差別があることを許せないと思った
- 2 なぜ差別が存在するのか不思議に思った
- 3 どういうことなのかよくわからなかった
- 4 被差別部落・同和地区の人をかわいそうに思った
- 5 自分は被差別部落・同和地区に生まれなくてよかったと思った
- 6 何となく自分たちと違うと思った
- 7 自分には関係ないことと思った
- 8 その他
- 9 覚えていない
- 10 わからない

【単純集計】

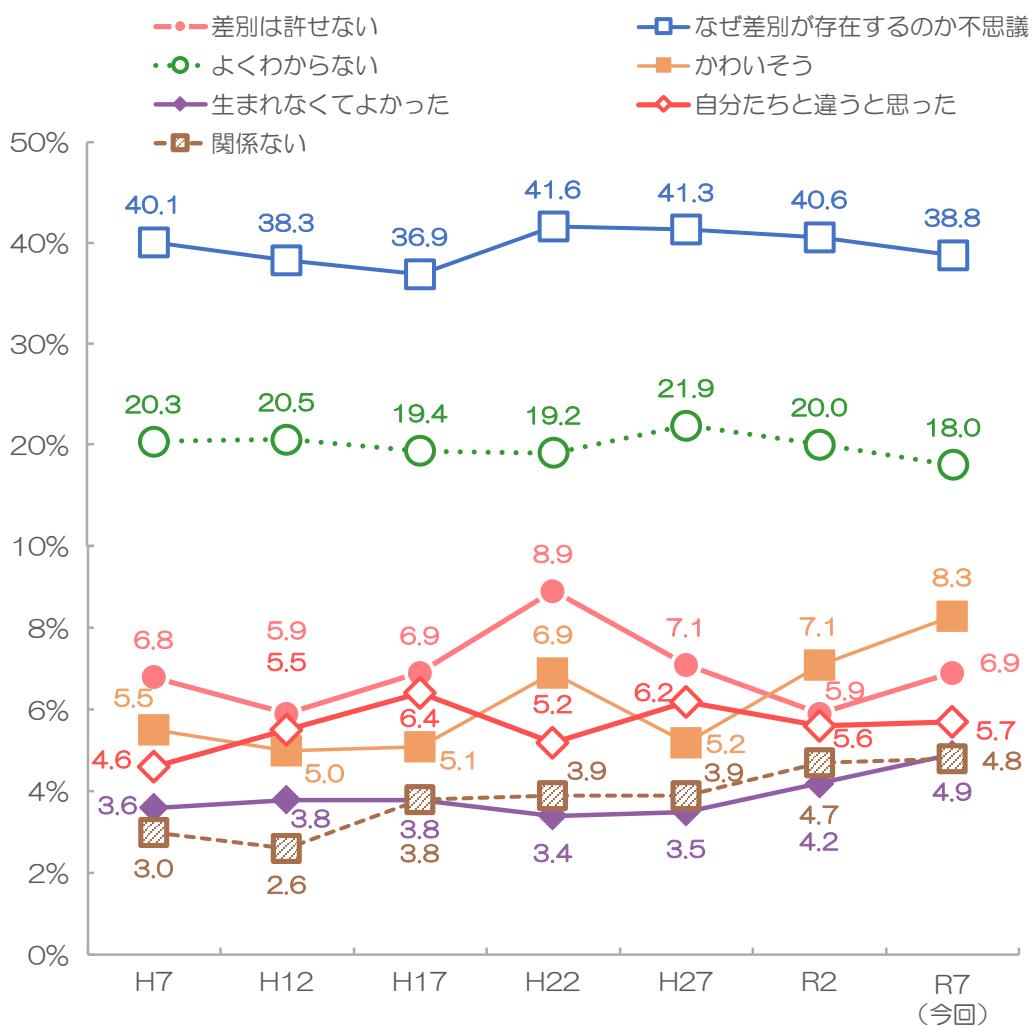


「なぜ差別が存在するのか不思議」と答えた人の割合が38.8%と最も高く、次いで「よくわからない」18.0%、「被差別部落・同和地区の人をかわいそうに思った」8.3%の順となっている。



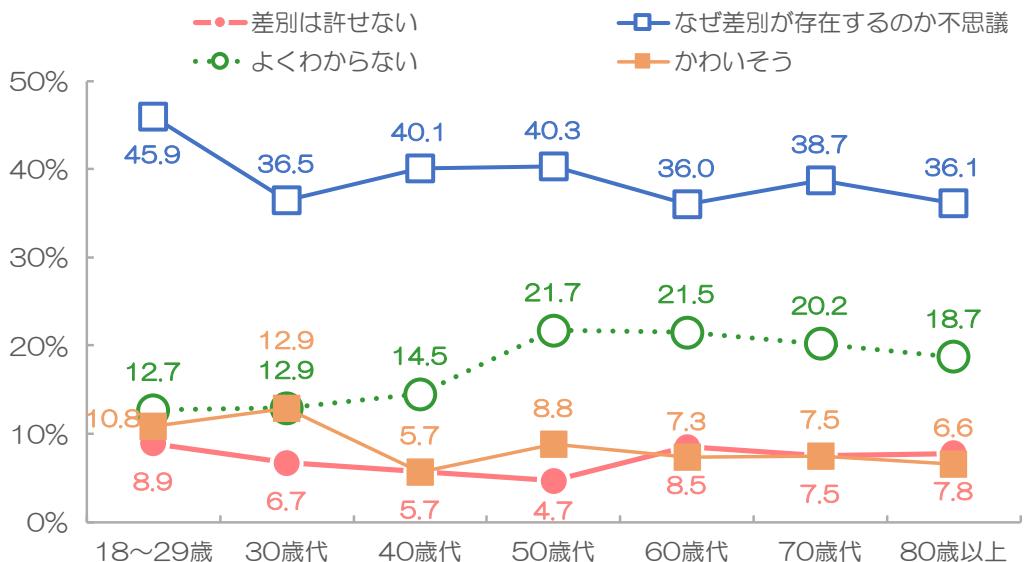
「なぜ差別が存在するのか不思議」と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】

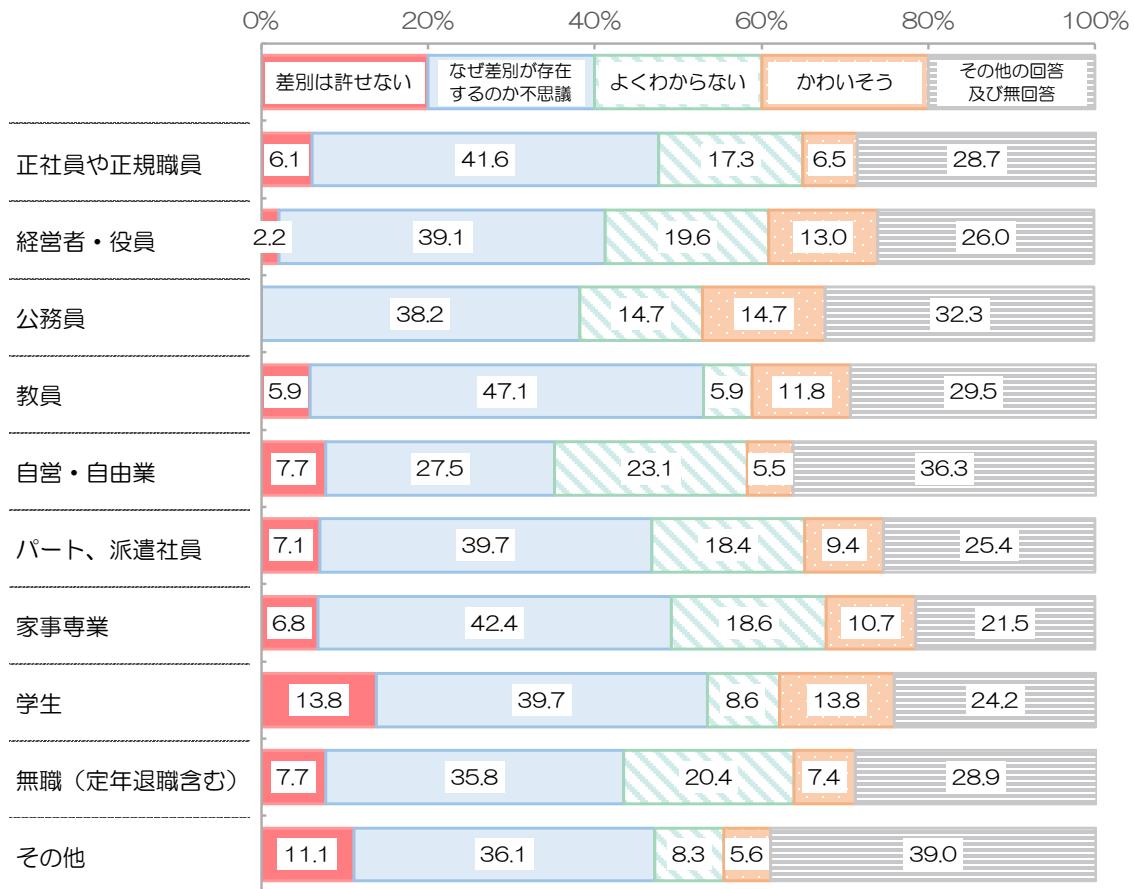


【属性別集計】

●年代別比較

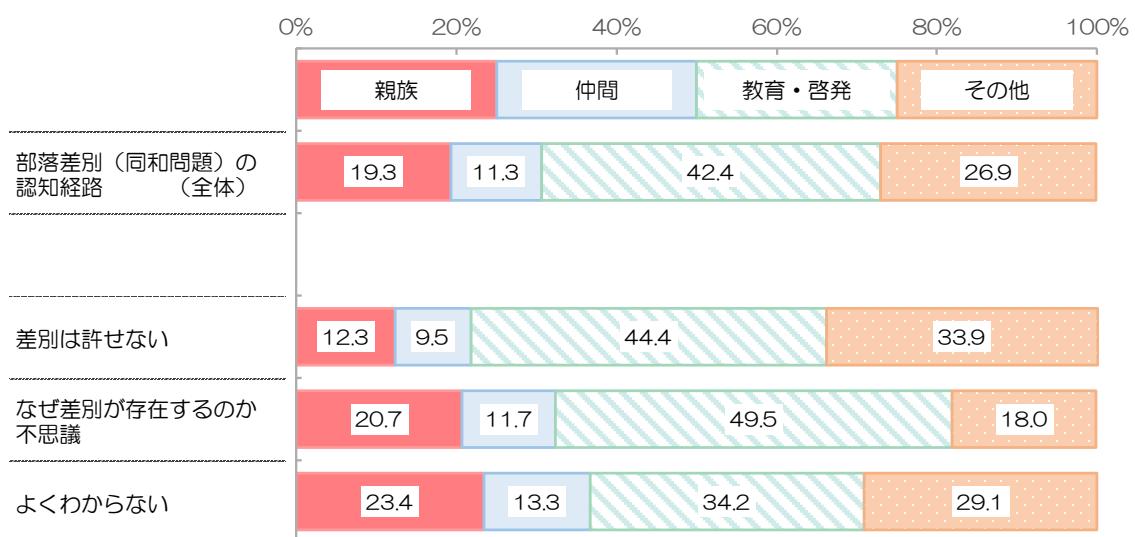


●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問7「部落差別（同和問題）を知ったときの印象」と質問5「部落差別（同和問題）の認知経路」との関連分析



「差別は許せない」、「なぜ差別が存在するのか不思議」と答えた人は、「よくわからない」と答えた人より『教育・啓発』と答えた割合が高い

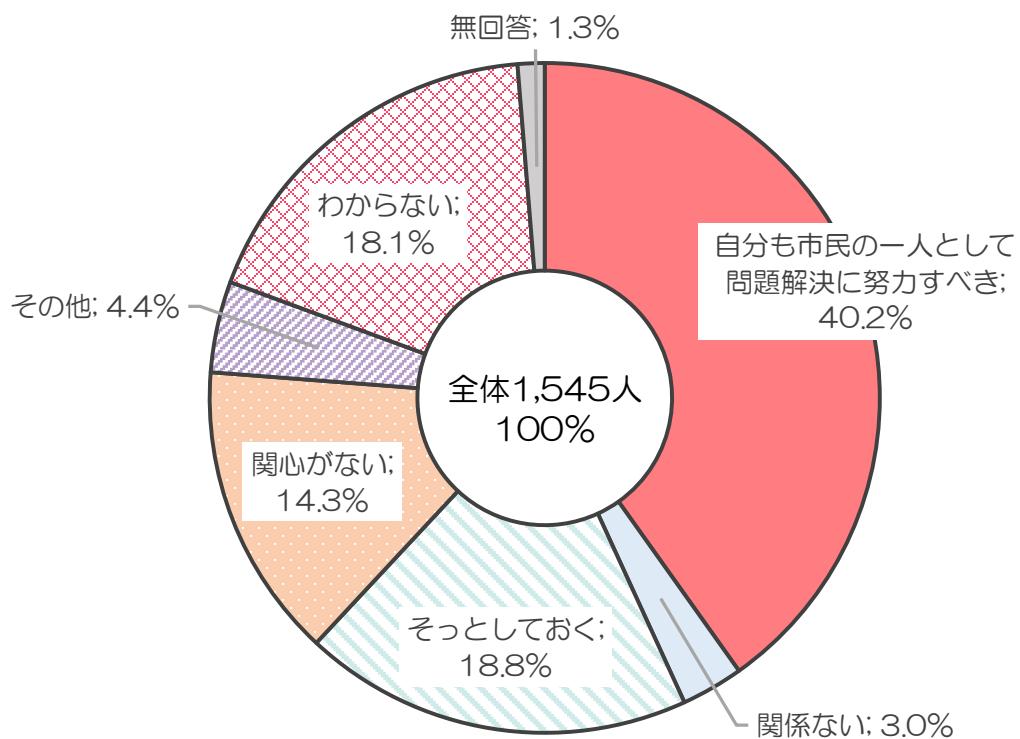
8 部落差別（同和問題）に対する認識状況

【質問8】

部落差別（同和問題）について、現在あなたはどうお考えですか。（SA）
(あてはまる番号1つに○)

- 1 人間の自由や平等にかかわる問題なので、自分も市民の一人としてこの問題の解決に努力すべきだと思う
- 2 被差別部落・同和地区の人々の問題であるから、自分には関係ないと思う
- 3 あまり騒がずにそっとしておくのがよいと思う
- 4 特に関心がない
- 5 その他
- 6 わからない

【単純集計】

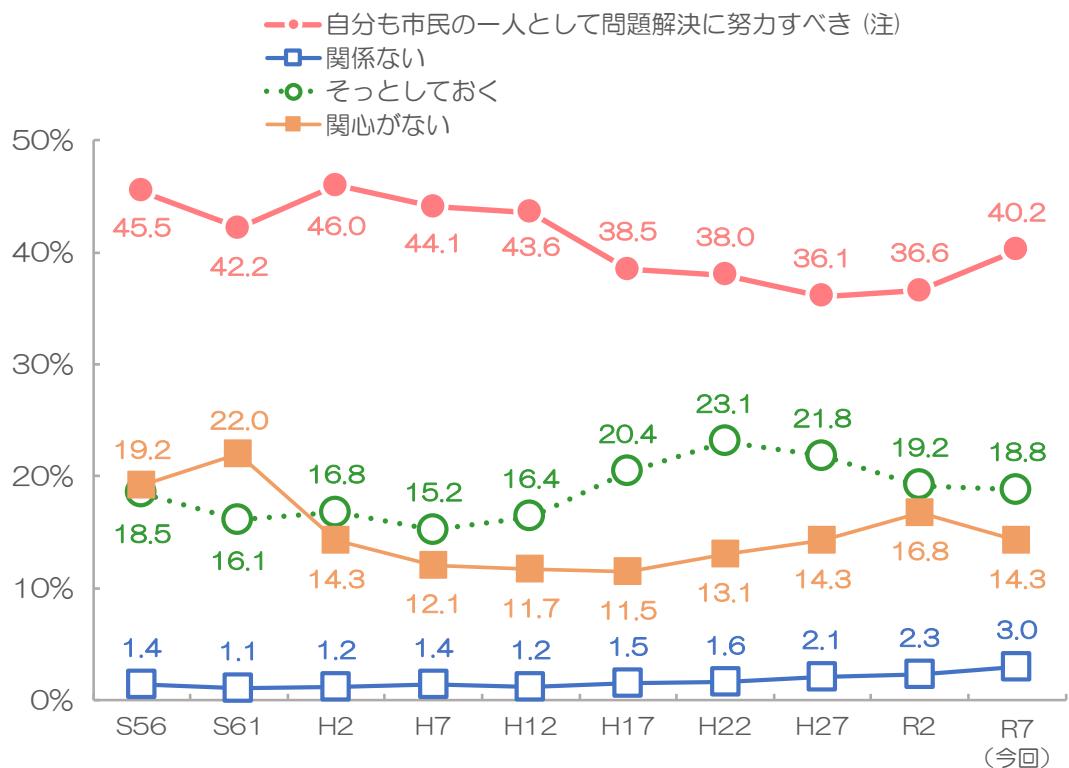


「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた人の割合は、40.2%と最も高く、次いで「そっとしておく」18.8%、「わからない」18.1%、「関心がない」14.3%の順となっている。



「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた人の割合が最も高い

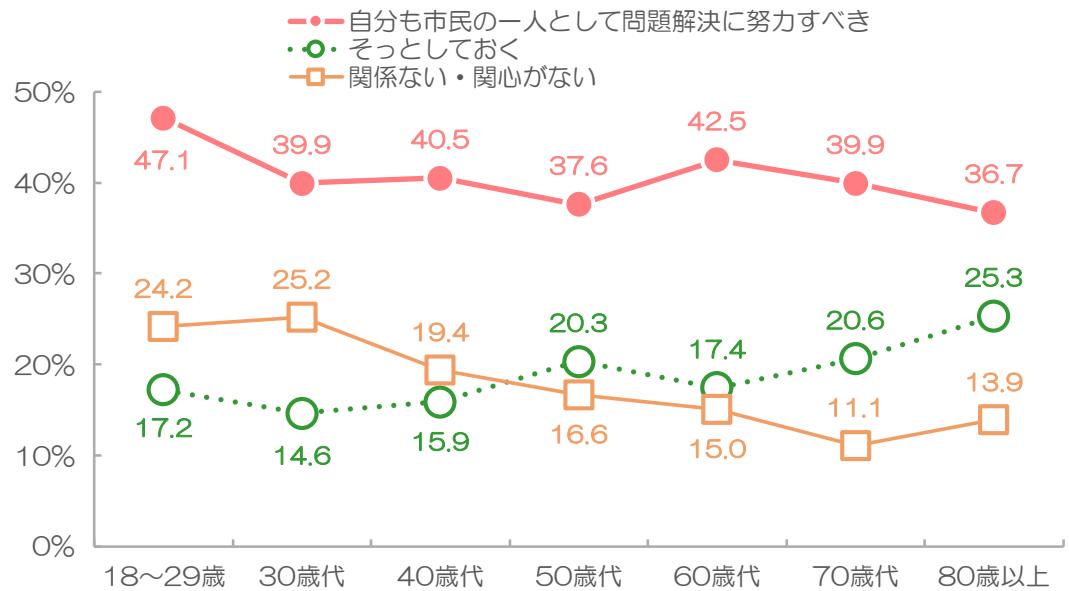
【時系列比較】



※注：H12までは1の回答項目は「人間の自由や平等に関わる問題なので、国民（市民）全体で考えるべきである」という項目で調査した。

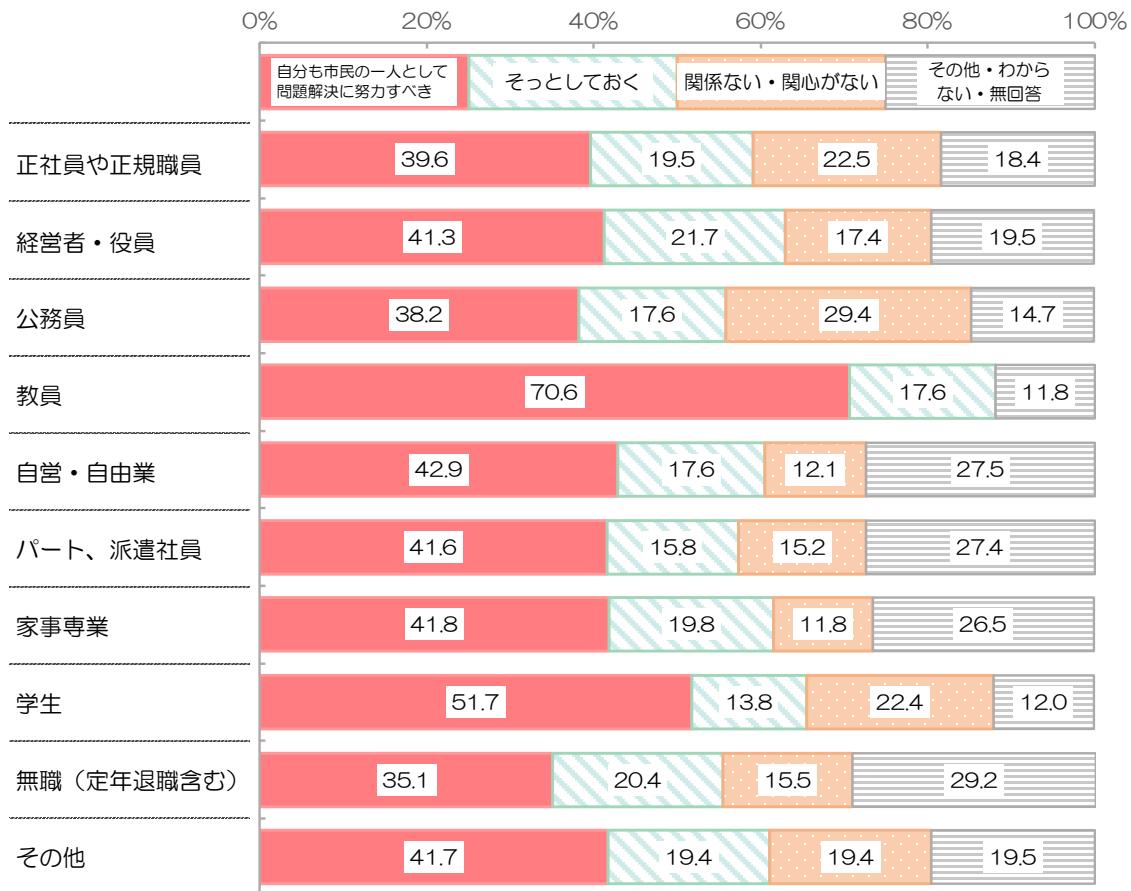
【属性別集計】

●年代別比較



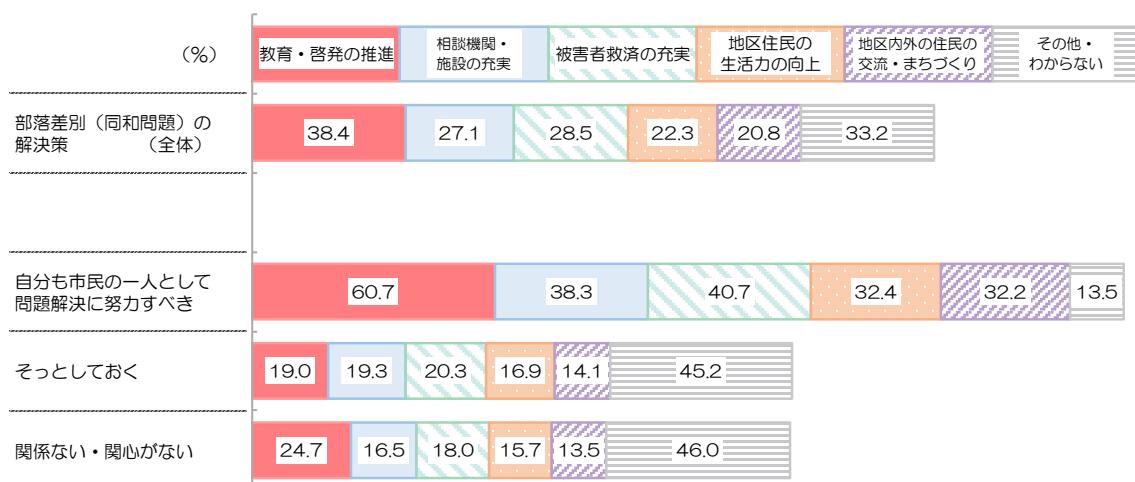
☀ いずれの年代も、「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問8「部落差別（同和問題）に対する認識状況」と質問19「部落差別（同和問題）の解決策」との関連分析



※注：問19はマルチ（複数回答）のため、項目別ごとの回答の合計は100%を超える。

「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた人は、「教育・啓発の推進」と答えた割合が最も高い

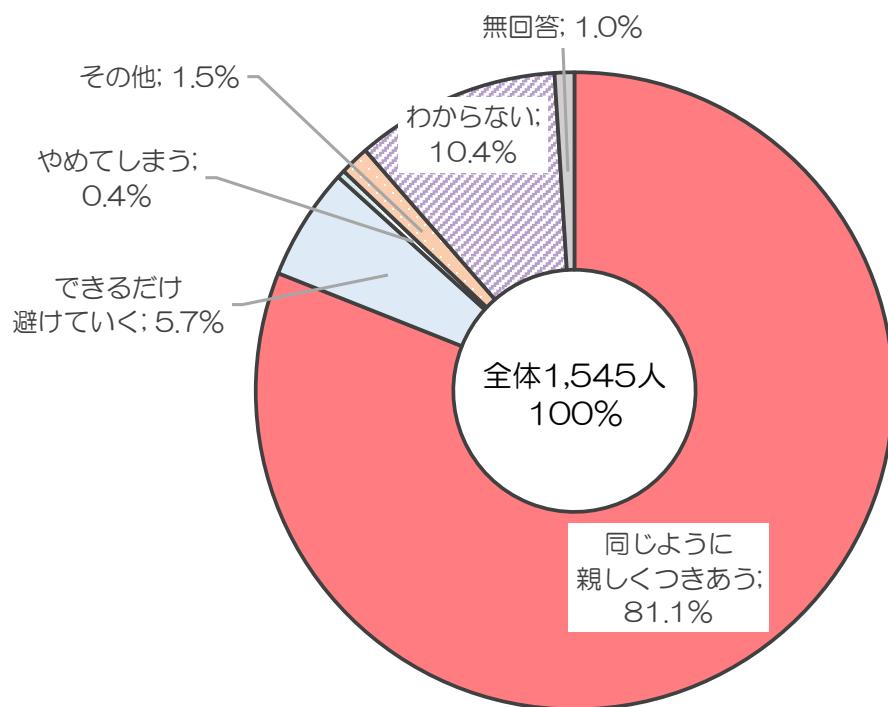
9 交際における差別意識

【質問9】

かりに、日ごろ親しくつきあっている職場の人や近所の人が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。(SA)
(あてはまる番号1つに○)

- 1 これまでと同じように親しくつきあう
- 2 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく
- 3つきあいはやめてしまう
- 4 その他
- 5 わからない

【単純集計】

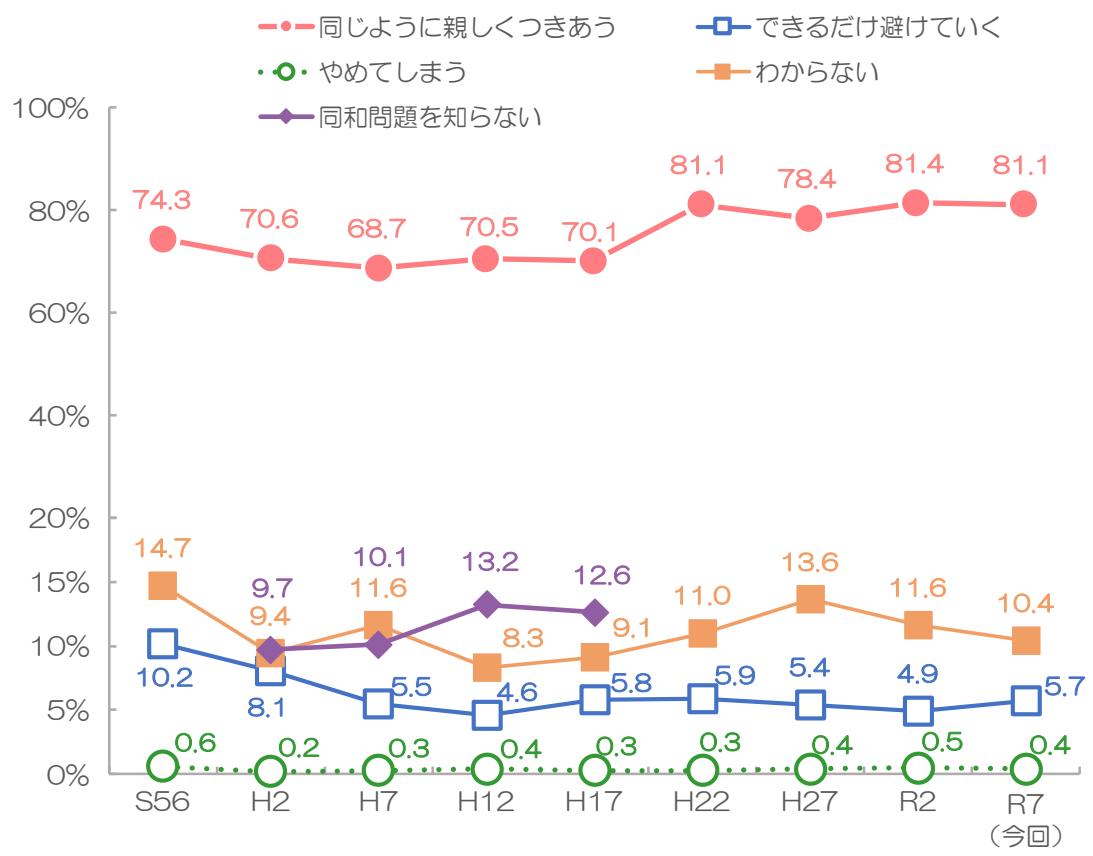


「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合は、81.1%となっている。一方、「できるだけ避けていく」(5.7%)と答えた人、「やめてしまう」(0.4%)と答えた人の割合は、合わせて6.1%となっている。



「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合は、81.1%

【時系列比較】

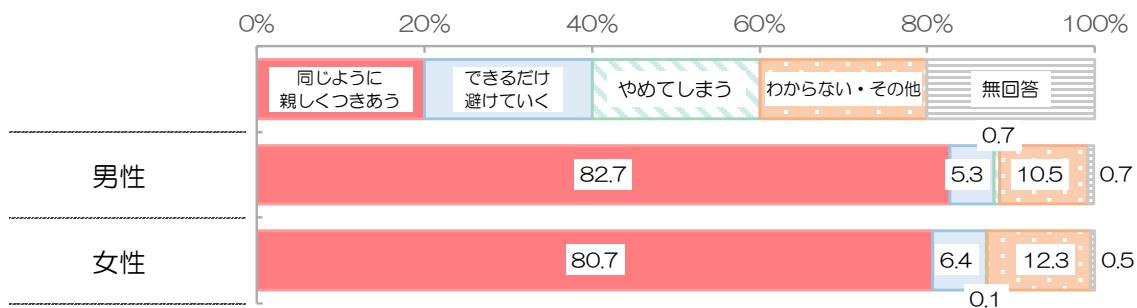


※注：H2～H17は「同和問題を知らない」という項目も調査した。

☀ 「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合は依然として高い

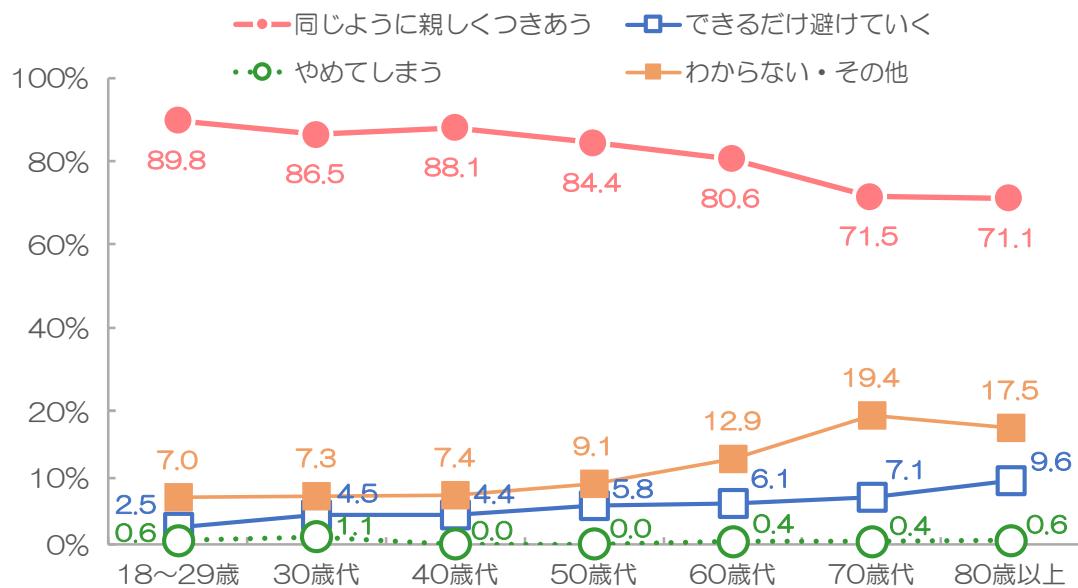
【属性別集計】

●性別比較



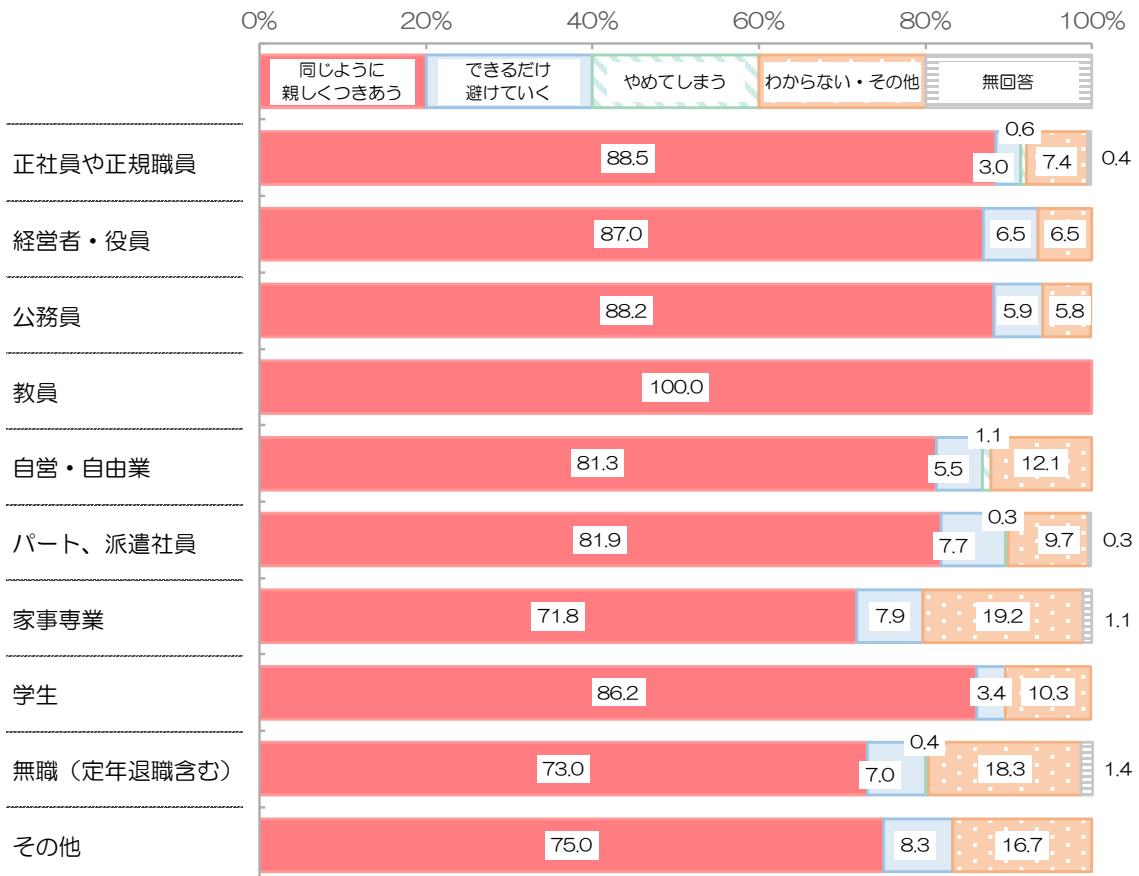
☀ 男女ともに、「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合が最も高い

●年代別比較



☀ いずれの年代も、「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



☀ いずれの職業も、「同じように親しくつきあう」と答えた人の割合が最も高く、教員は100%となっている

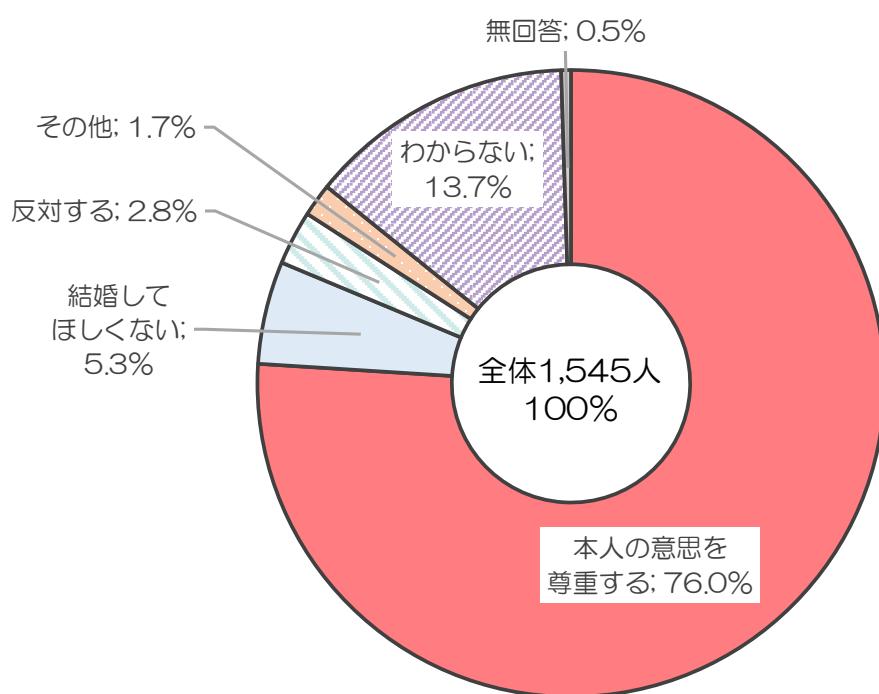
10 結婚における差別意識1（親類や親しい人の結婚）

【質問10】

かりに、あなたの親類や親しい人の結婚しようとしている相手が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。（SA）
(あてはまる番号1つに○)

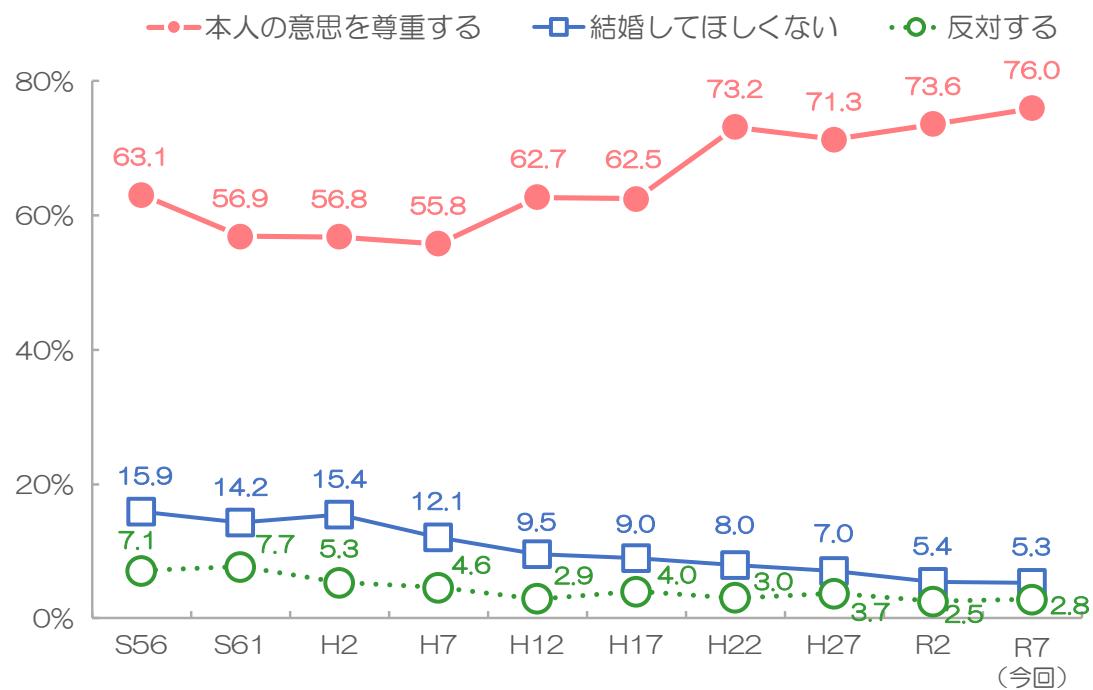
- 1 本人の意思を尊重する
- 2 自分はかまわないが、世間へのてまえがあるから、できれば結婚してほしくない
- 3 結婚することには反対する
- 4 その他
- 5 わからない

【単純集計】



「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合は、76.0%

【時系列比較】

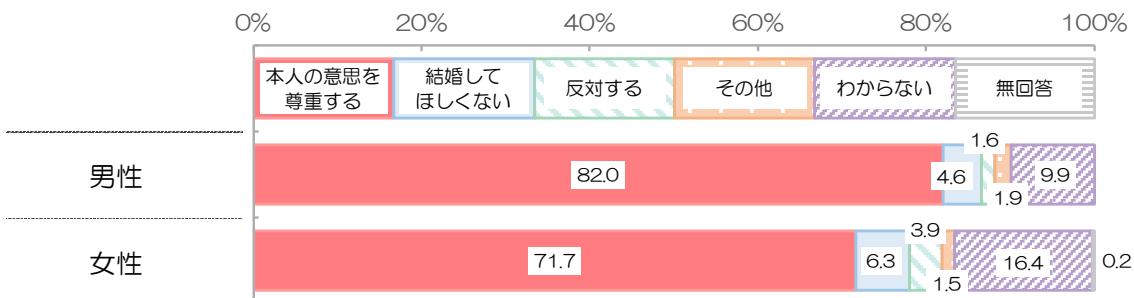


「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合は 76.0% と、以前の調査と比較して最も高くなっている。昭和 56 年からの推移をみると「結婚してほしくない」「反対する」と答えた人の割合は減少している。

☀ 「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合は増えている

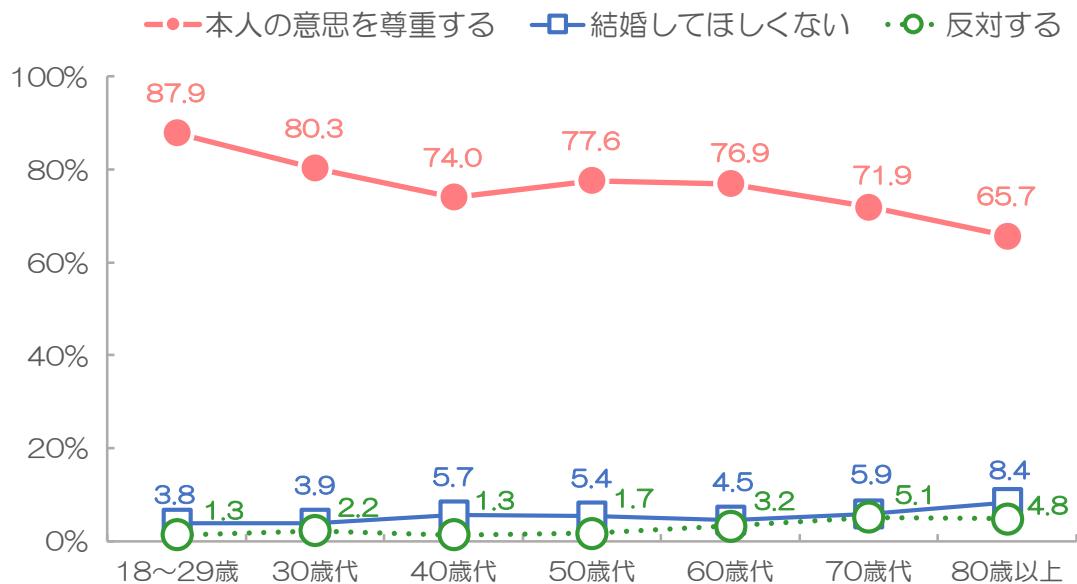
【属性別集計】

●性別比較



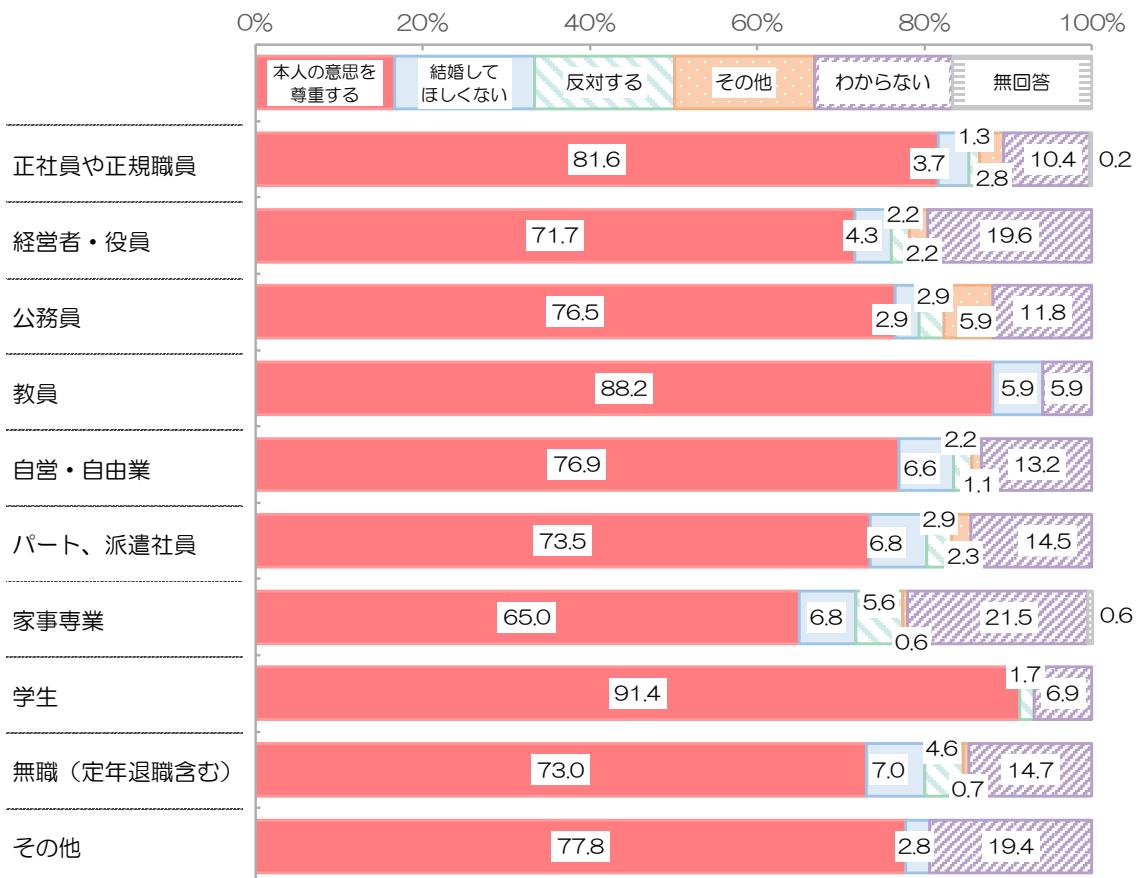
☀ 「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合は、男性の方が高い

●年代別比較



☀ いずれの年代も、「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高い

●職業別比較



☀ いずれの職業も、「本人の意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高い

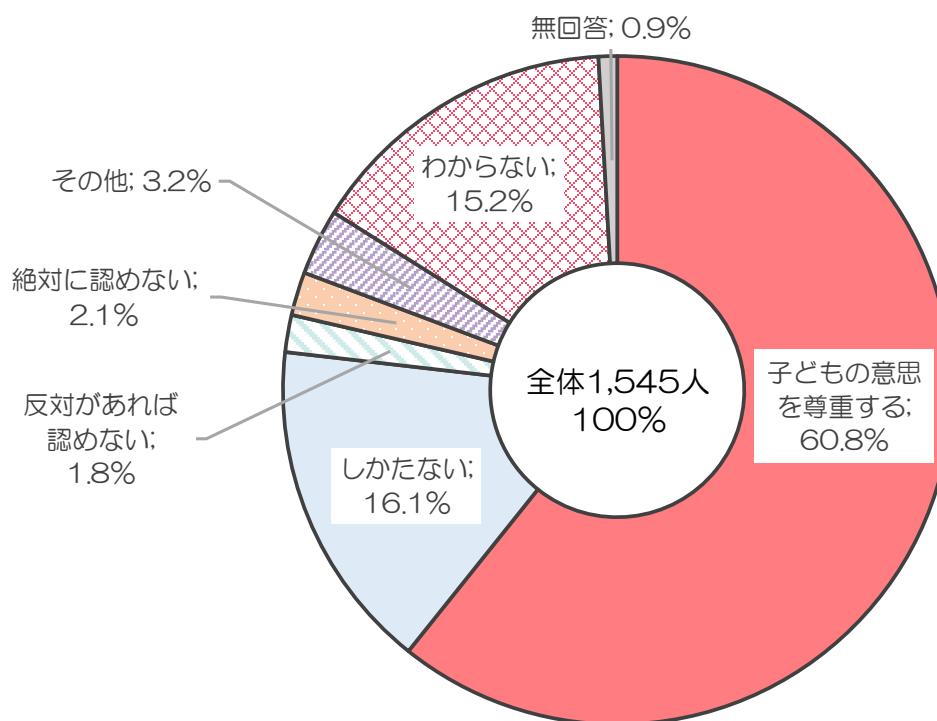
11 結婚における差別意識2（子どもの結婚）

【質問11】

かりに、あなたの子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。（SA）
(あてはまる番号1つに○)

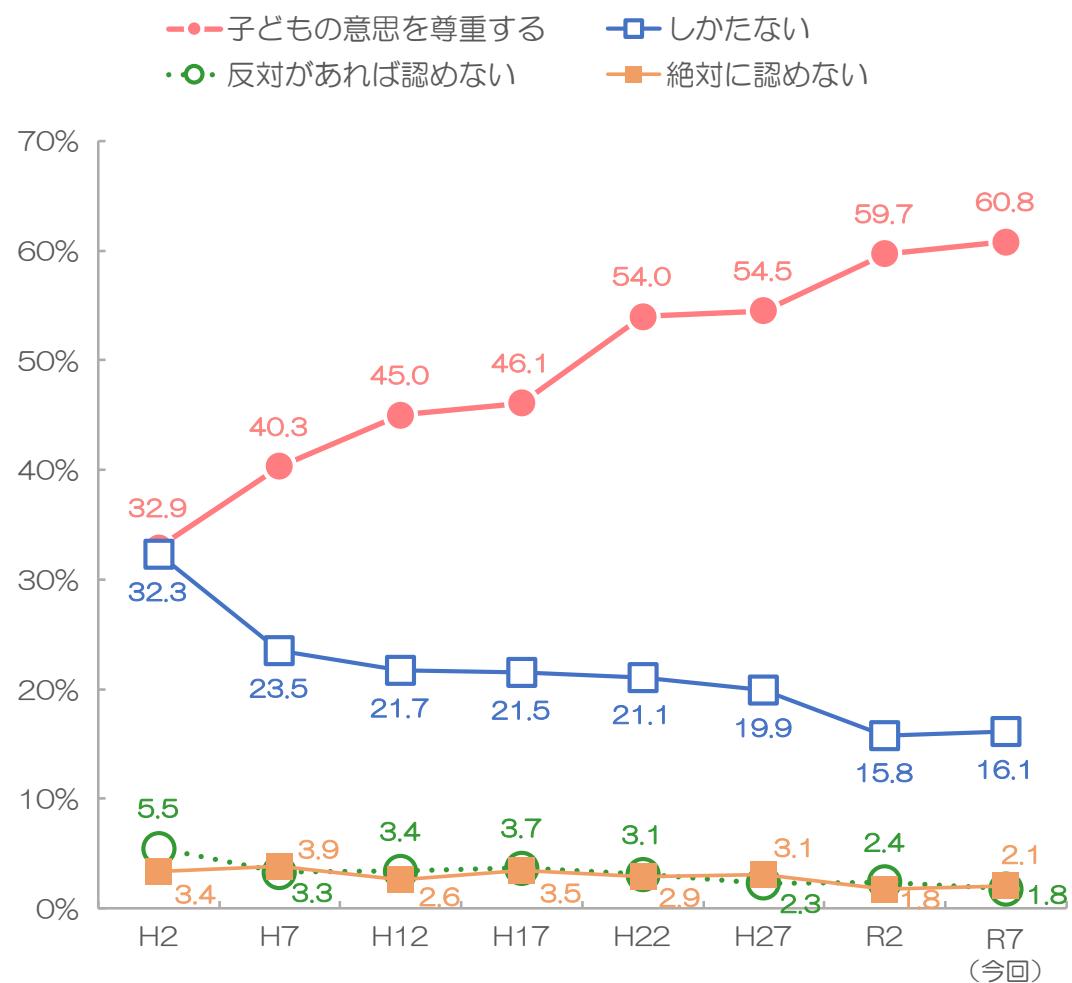
- 1 子どもの意思を尊重する
- 2 親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない
- 3 家族や親類の反対があれば、結婚を認めない
- 4 絶対に結婚を認めない
- 5 その他
- 6 わからない

【単純集計】



「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合は、60.8%

【時系列比較】



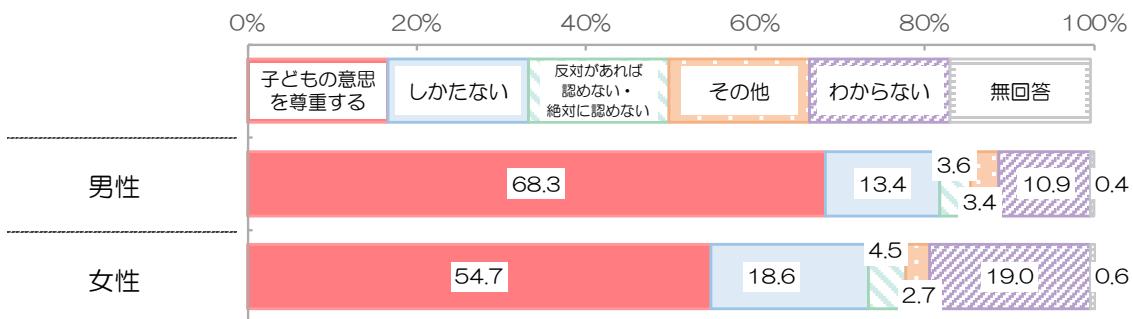
「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合は 60.8% と、以前の調査と比較して最も高くなっている。



「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合は増えており、「しかたない」と答えた人の割合も減少傾向にある
また、「反対があれば認めない」「絶対に認めない」も少しづつ減っている

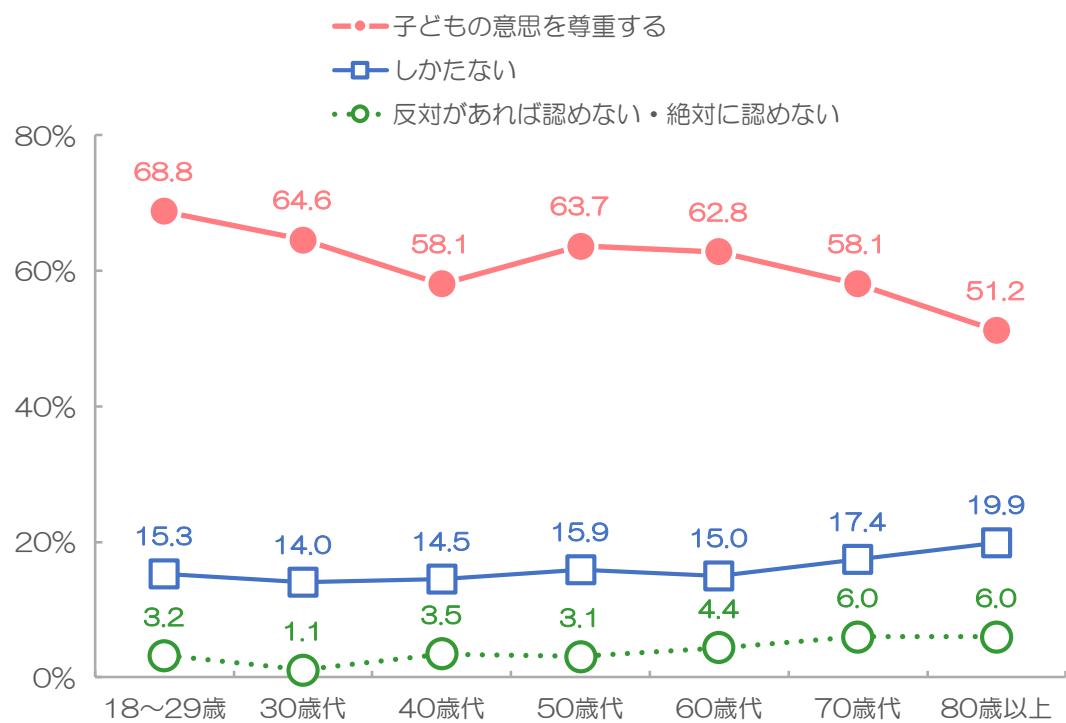
【属性別集計】

●性別比較



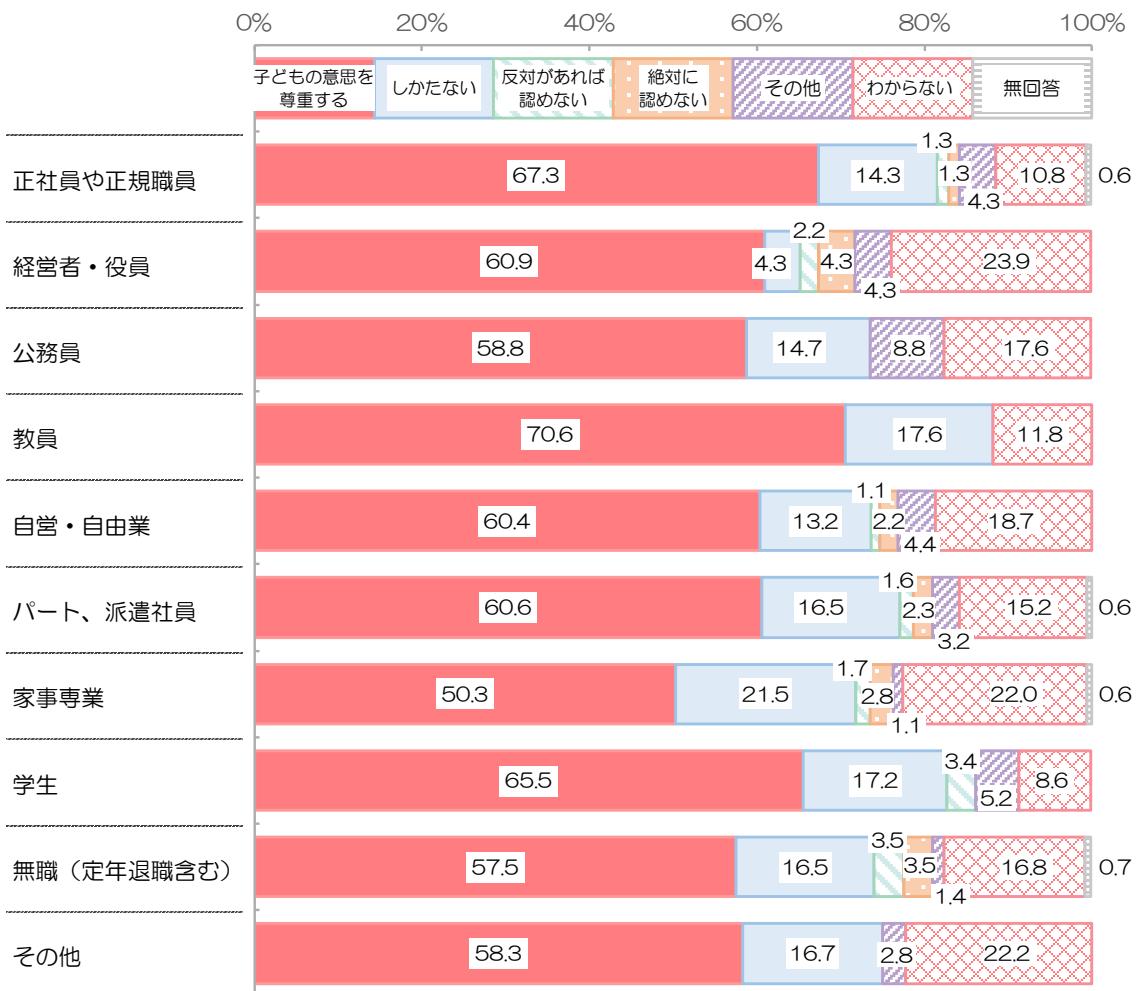
☀ 「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合は、男性の方が高い

●年代別比較



☀ いずれの年代も、「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高いが、年代が上がるにつれて、その割合が低くなっている

●職業別比較



いずれの職業も、「子どもの意思を尊重する」と答えた人の割合が最も高い

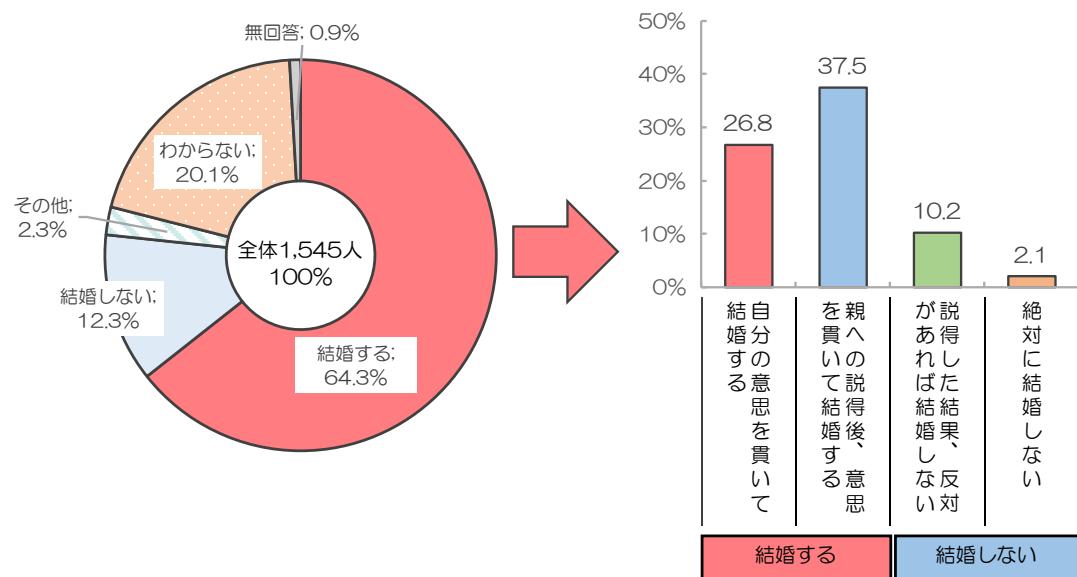
12 結婚における差別意識3（本人の結婚）

【質問12】

かりに、あなたが被差別部落・同和地区出身の人と恋愛をし、結婚しようとしたとき、家族や親類の人から強い反対を受けたら、あなたはどうされますか。（SA）
(あてはまる番号1つに○)

- 1 自分の意思を貫いて結婚する
- 2 親の説得に全力を傾けた後に、自分の意思を貫いて結婚する
- 3 説得した結果、家族や親類の反対があれば結婚しない
- 4 絶対に結婚しない
- 5 その他
- 6 わからない

【単純集計】

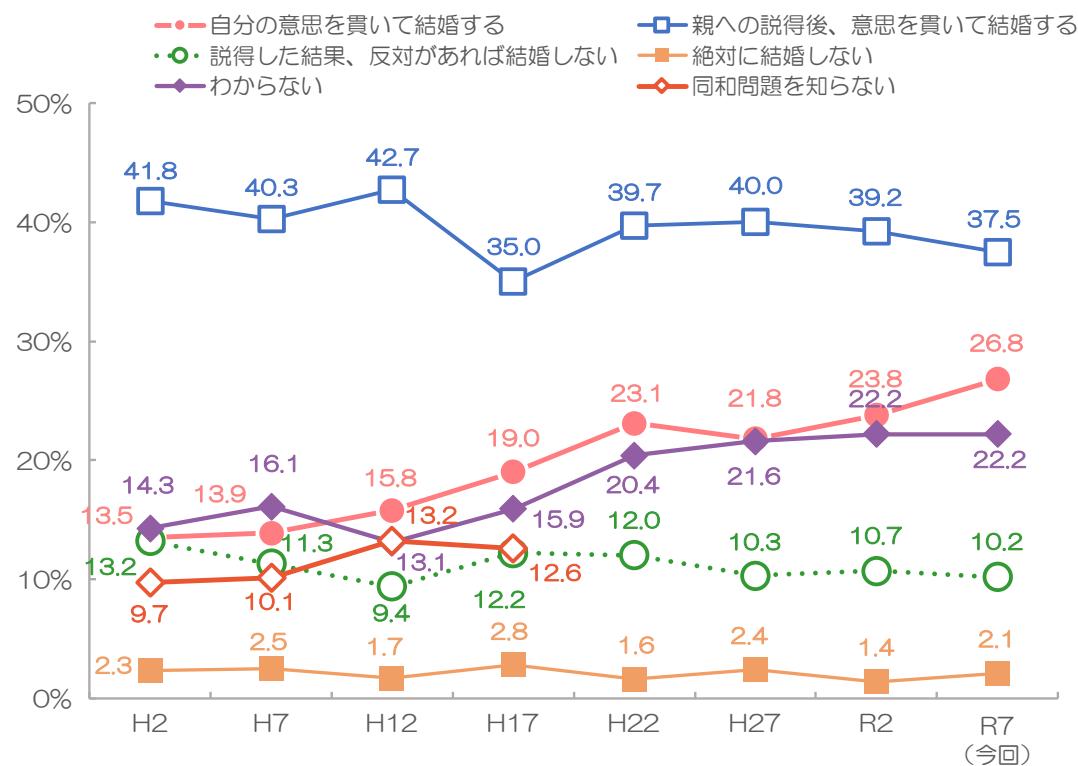


「自分の意思を貫いて結婚する」(26.8%)と「親への説得後、意思を貫いて結婚する」(37.5%)を合わせて、64.3%の人が『結婚する』と答えている。



『結婚する』と答えた人の割合は、64.3%

【時系列比較】



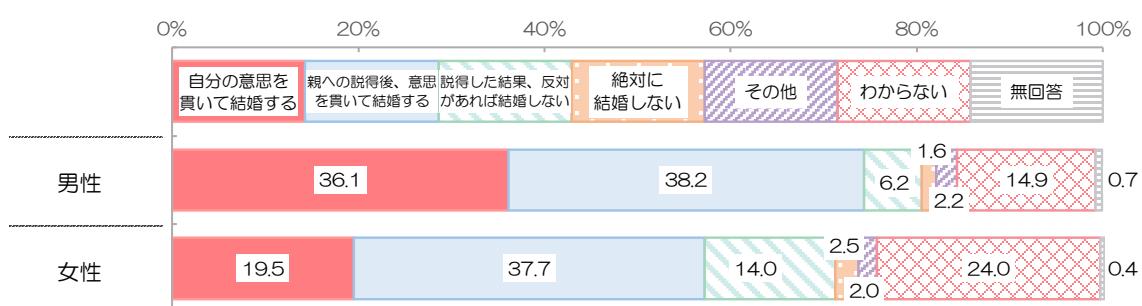
※注：H2～H17まで「同和問題を知らない」という項目も調査した。

「自分の意思を貫いて結婚する」と答えた人の割合は増加傾向にあり、今回の調査は26.8%であった。

☀ 「自分の意思を貫いて結婚する」と答えた人の割合は増えている

【属性別集計】

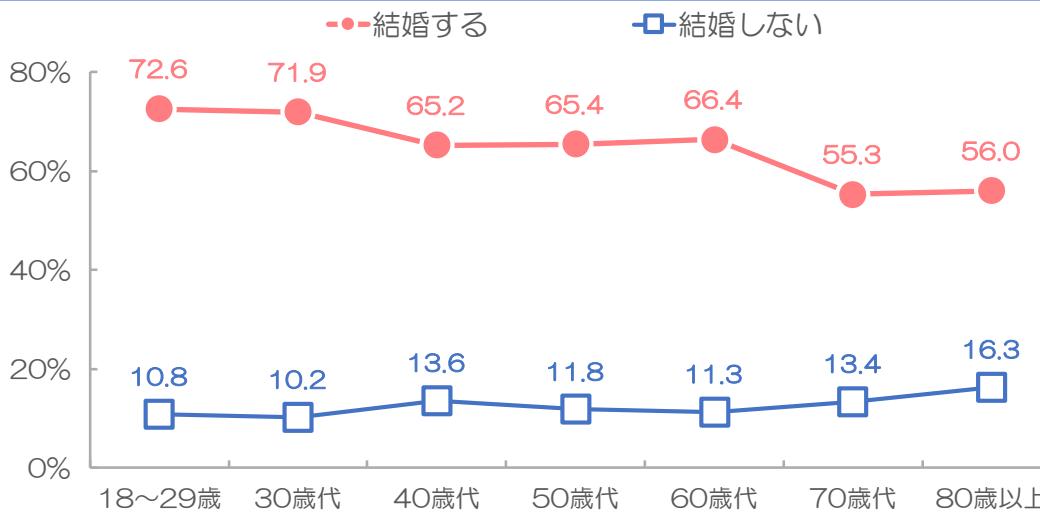
●性別比較



☀ 『結婚する』と答えた人の割合は、男性の方が高い

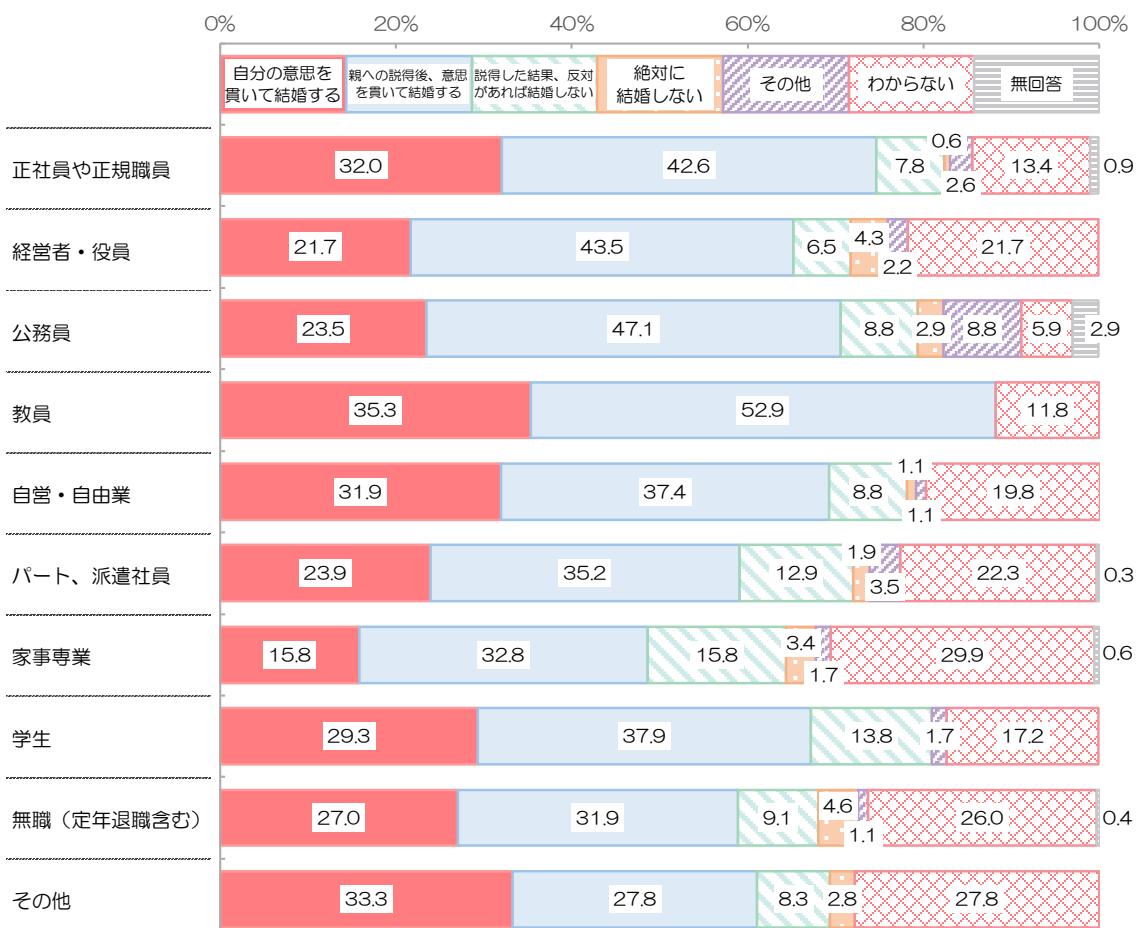
●年代別比較

「自分の意思を貫いて結婚する」「親への説得後、意思を貫いて結婚する」を『結婚する』、「反対があれば結婚しない」「絶対に結婚しない」を『結婚しない』にまとめ、年代別比較



☀ いずれの年代も、『結婚する』と答えた人は、『結婚しない』と答えた人よりも割合が高い

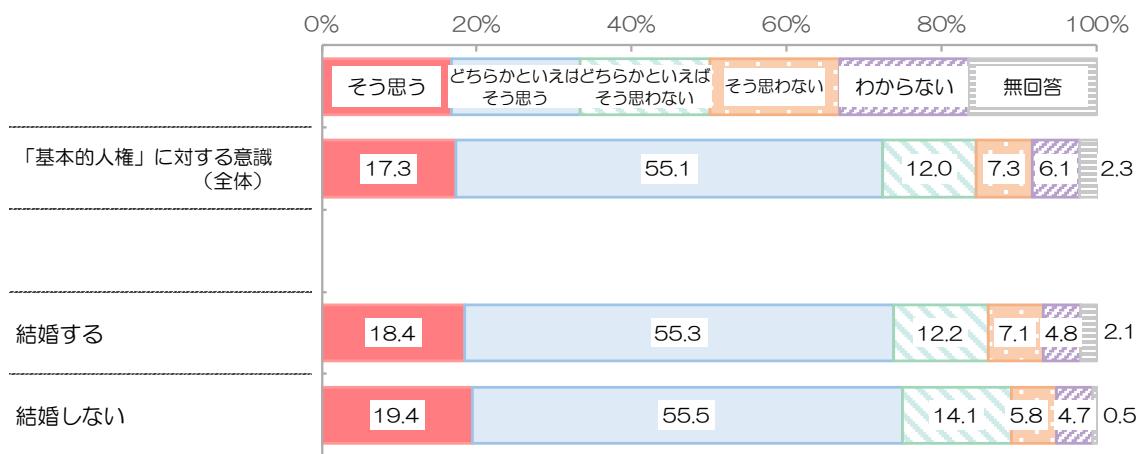
●職業別比較



☀ いずれの職業も、『結婚する』と答えた人は、『結婚しない』と答えた人よりも割合が高い

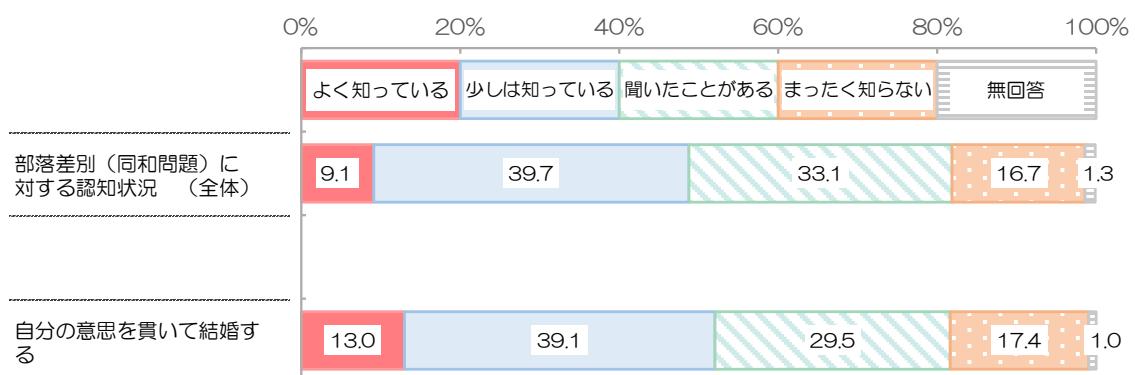
【設問間クロス集計】

質問12「結婚における差別意識（本人の結婚）」と質問1「「基本的人権」に対する意識」との関連分析



『結婚する』と答えた人は、「基本的人権の尊重された社会だと思う」と答えた割合が『結婚しない』と答えた人より低い

質問12「結婚における差別意識（本人の結婚）」と質問4「部落差別（同和問題）の認知状況」との関連分析



『自分の意思を貫いて結婚する』と答えた人は、全体と比べると部落差別（同和問題）を「よく知っている」と答えた割合が高い

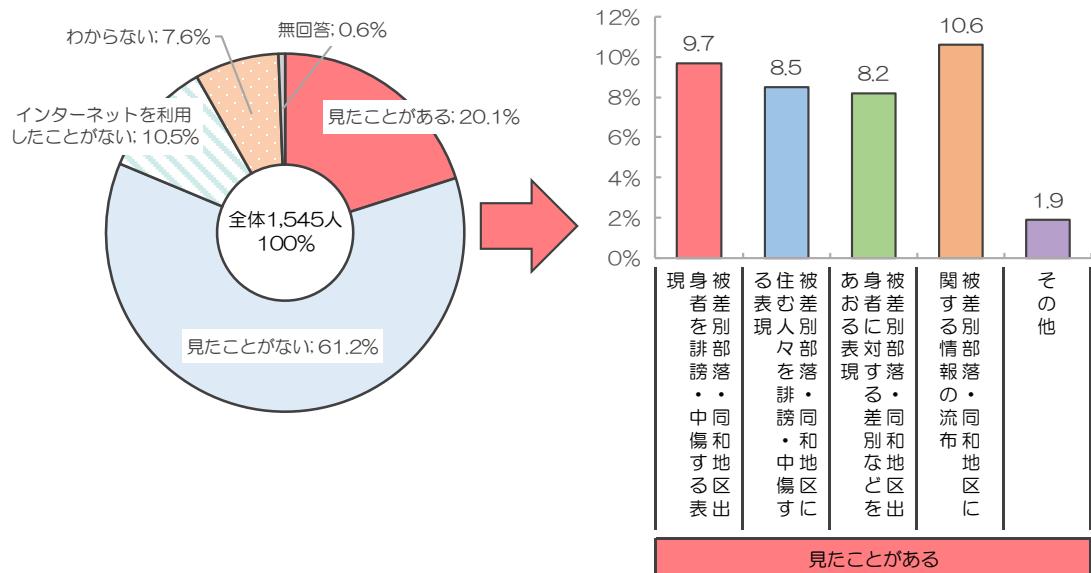
13 インターネット上の差別についての認知状況

【質問13】

あなたは、部落差別（同和問題）に関して、インターネット上で次のような人権侵害事例を見たことがありますか。（MA）（あてはまるものすべてに○）

- 1 被差別部落・同和地区出身者を誹謗・中傷する表現
- 2 被差別部落・同和地区を特定し、そこに住む人々を誹謗・中傷する表現
- 3 被差別部落・同和地区出身者に対する差別などをあおる表現
- 4 被差別部落・同和地区に関する情報の流布
- 5 その他
- 6 見たことがない
- 7 インターネットを利用したことがない
- 8 わからない

【単純集計】

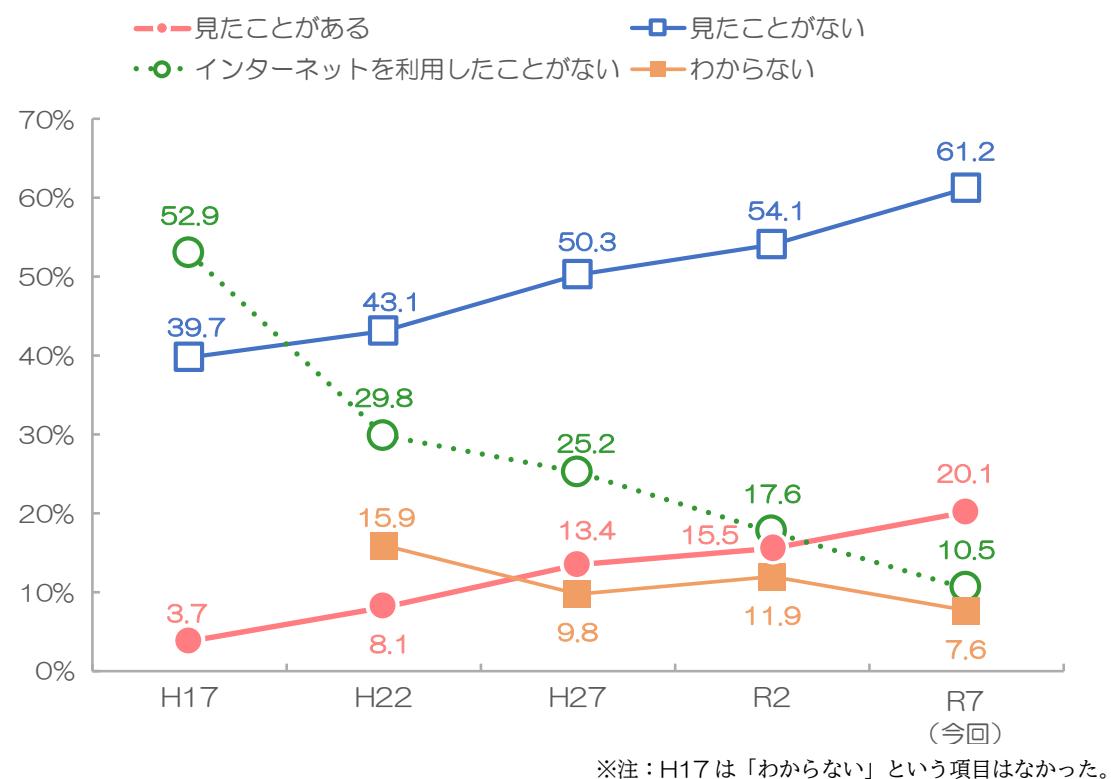


『見たことがある』と答えた人の内容の割合は、「被差別部落・同和地区に関する情報の流布」10.6%、「被差別部落・同和地区出身者を誹謗・中傷する表現」9.7%、「被差別部落・同和地区を特定し、そこに住む人々を誹謗・中傷する表現」8.5%、「被差別部落・同和地区出身者に対する差別などをあおる表現」8.2%となっている。

 インターネット上で差別しているのを『見たことある』と答えた人の割合は、20.1%

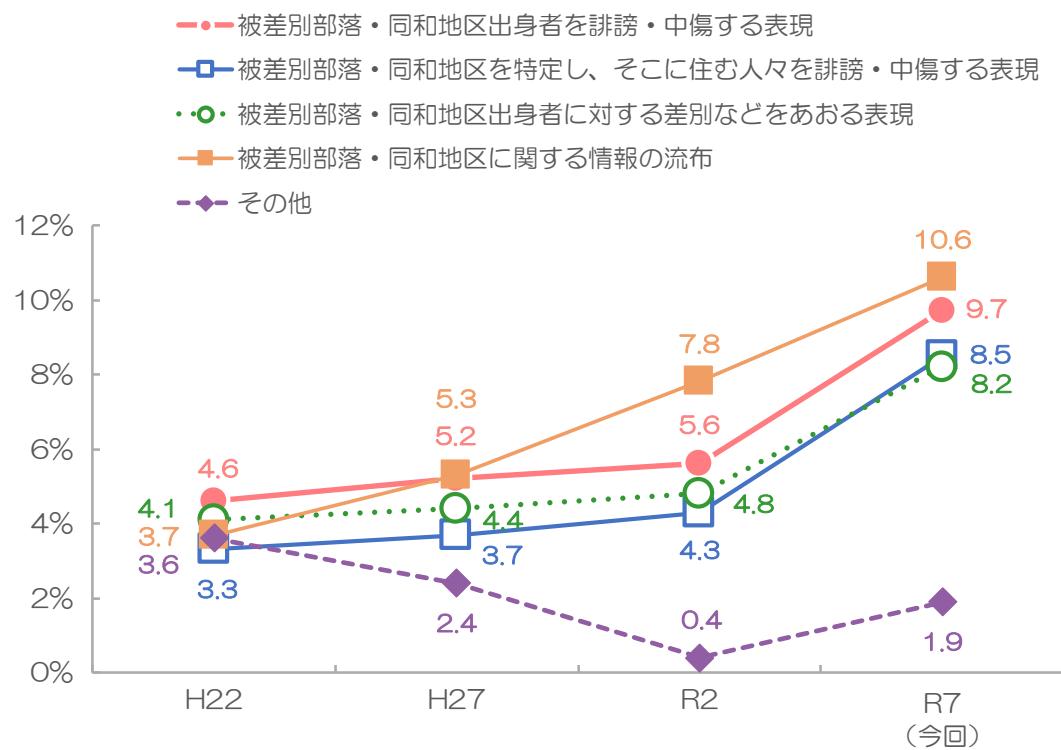
※注：『見たことがある』と答えた人の割合は、全体（100%）から「見たことがない」、「利用したことがない」、「わからない」、「無回答」を引いたもの。

【時系列比較】



インターネット上で差別しているのを『見たことがある』と答えた人は、20.1%で前回から4.6%増えている。
一方、「差別しているのを見たことがない」と答えた人の割合は7.1%増えている。

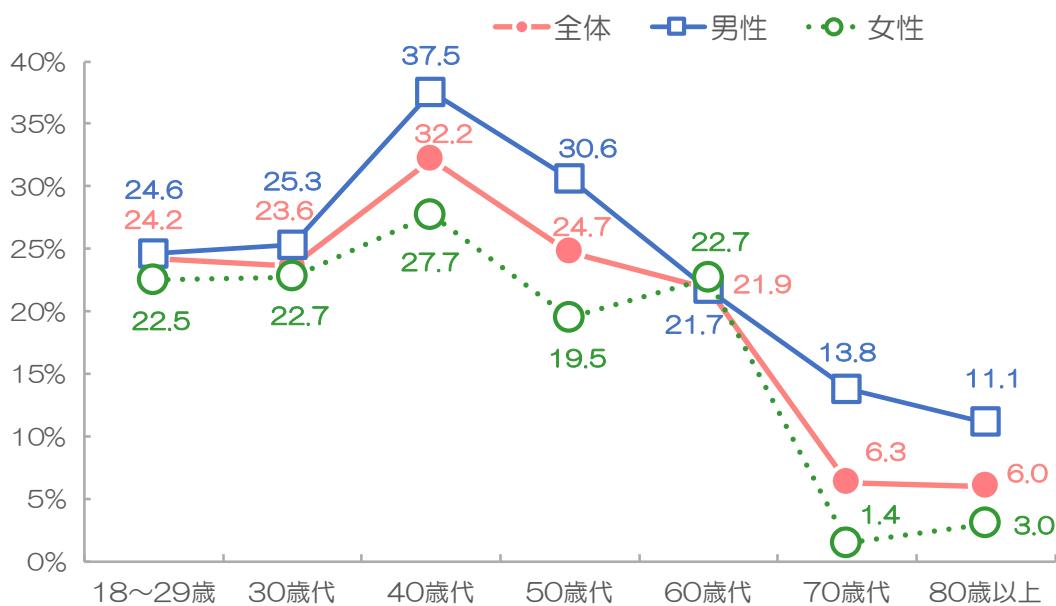
☀️ 『見たことがある』と答えた人の割合は増えている



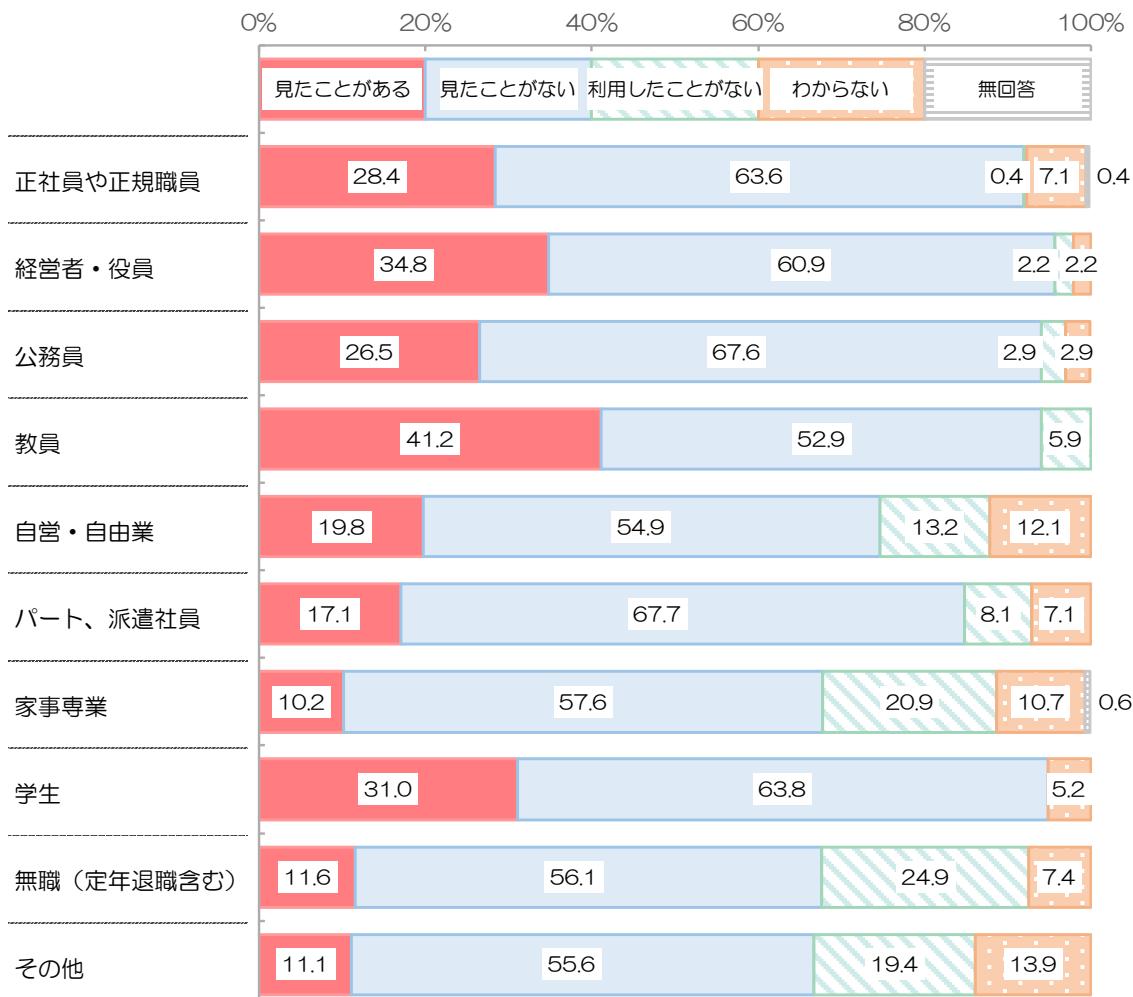
【属性別集計】

●性年代別比較

『見たことがある』と答えた人を、性年代別比較



●職業別比較



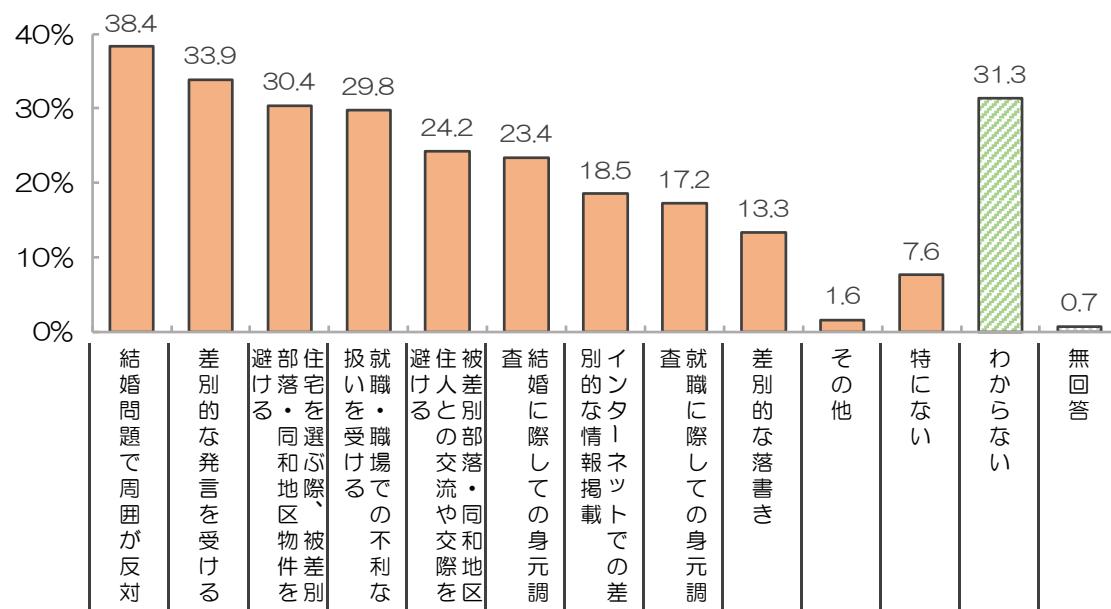
14 起きていると思う人権問題

【質問14】

あなたは、部落差別（同和問題）に関して、現在どのような人権問題が起きていると思いますか。（MA）（あてはまるものすべてに○）

- 1 結婚問題で周囲が反対すること
- 2 就職・職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な発言を受けること
- 4 差別的な落書きがあること
- 5 結婚に際して身元調査(聞き合わせ)が行われること
- 6 就職に際して身元調査(聞き合わせ)が行われること
- 7 被差別部落・同和地区やそこで生活する住民との交流や交際を避けたりすること
- 8 住宅を選ぶ際に、被差別部落・同和地区にある物件やその地区を含む学区にある物件を避けること
- 9 インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること
- 10 その他
- 11 特にない
- 12 わからない

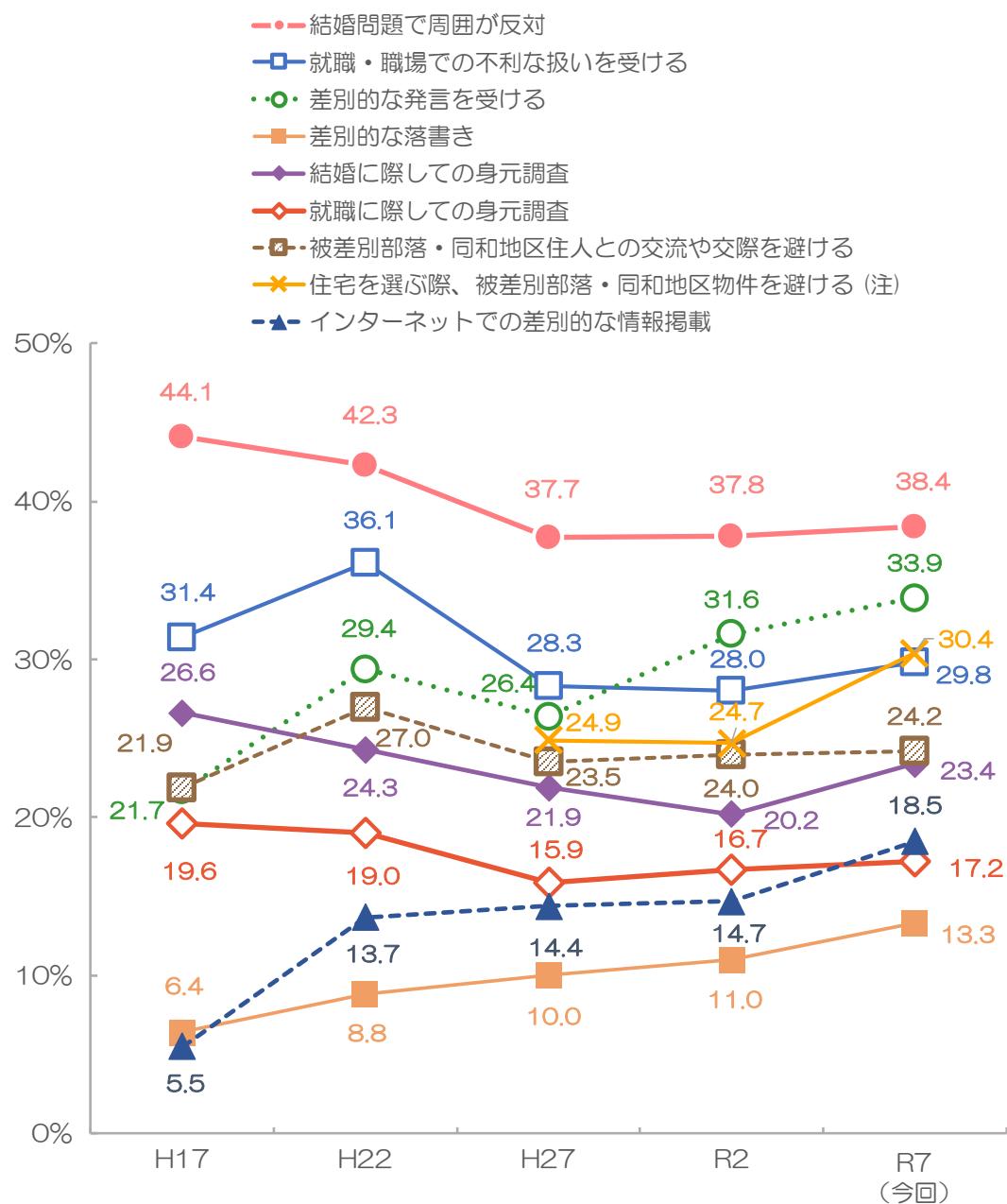
【単純集計】



「結婚問題で周囲が反対」が 38.4% と最も高く、次いで「差別的な発言を受ける」33.9%、「住宅を選ぶ際、被差別部落・同和地区物件を避ける」30.4%の順となっている。

 現在、起きている人権問題として、「結婚問題で周囲が反対」と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】

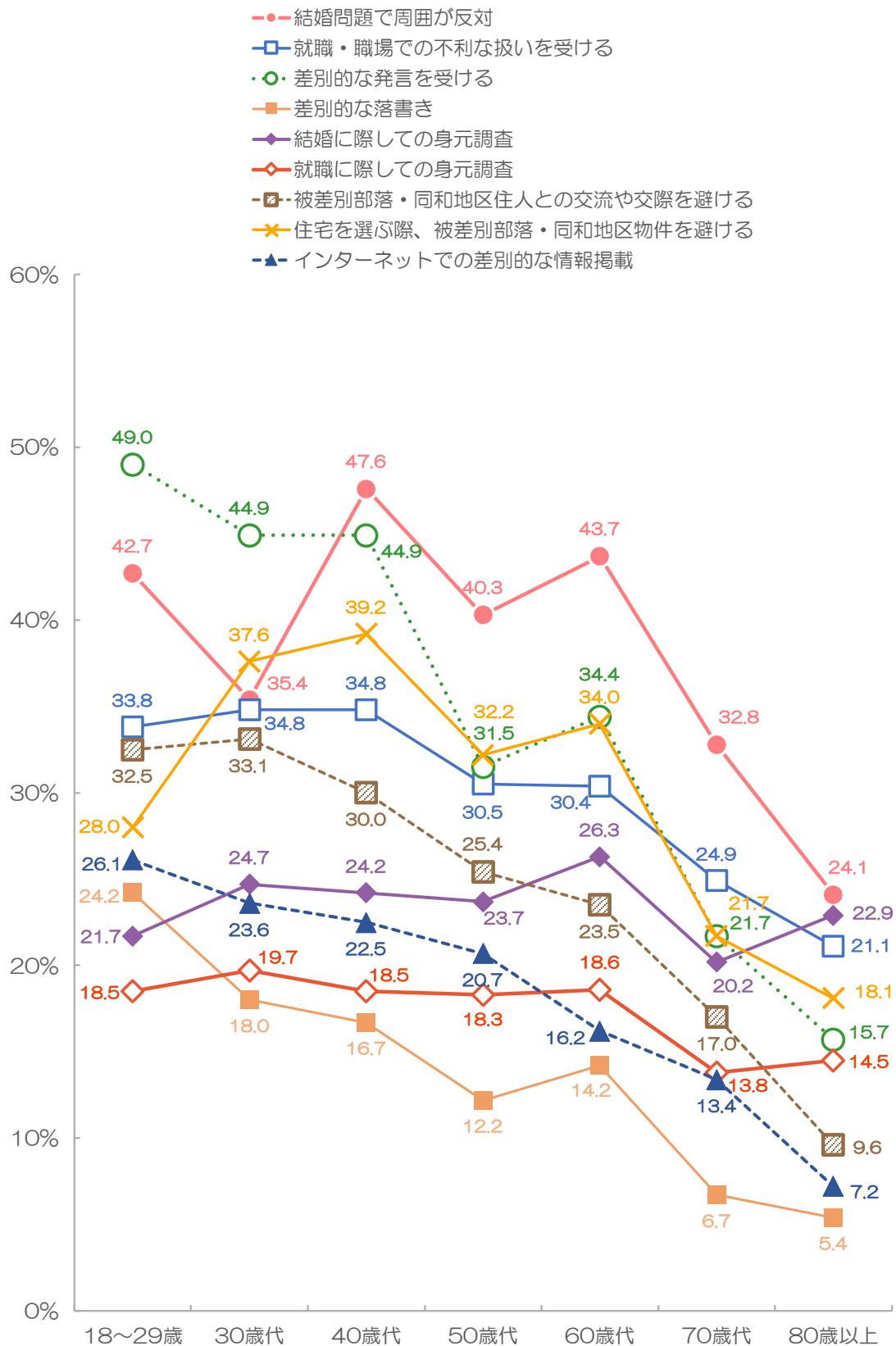


※注：「住宅を選ぶ際、被差別部落・同和地区物件を避ける」という項目は H27 から調査した。

💡 「差別的な発言を受ける」「差別的な落書き」「インターネットでの差別的な情報掲載」と答えた人の割合は、以前の調査と比較して最も高くなっている

【属性別集計】

●年代別比較



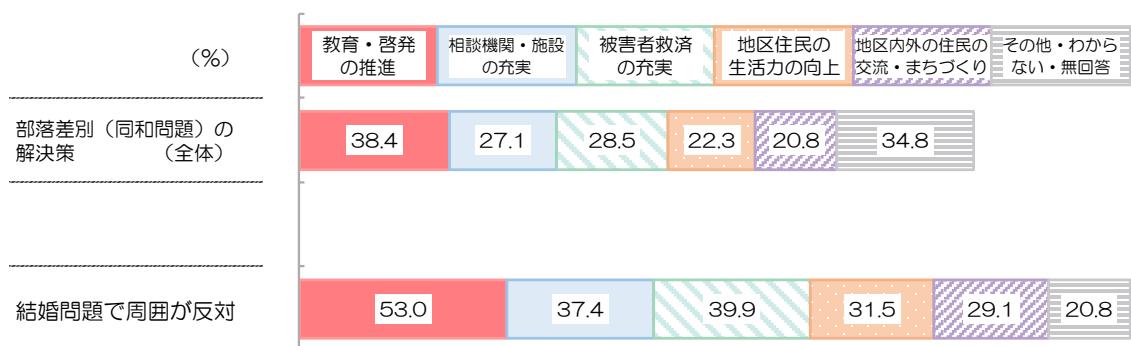
●職業別比較



※注：問14はマルチ（複数回答）のため、職業別ごとの回答の合計は100%を超える。

【設問間クロス集計】

質問14「起きていると思う人権問題」と質問19「部落差別（同和問題）の解決策」の関連分析



※注：問19はマルチ（複数回答）のため、項目別ごとの回答の合計は100%を超える。

 「結婚問題で周囲が反対」と答えた人は、「教育・啓発の推進」と答えた割合が全体と比べて高い

15 啓発活動への参加・関わりの状況

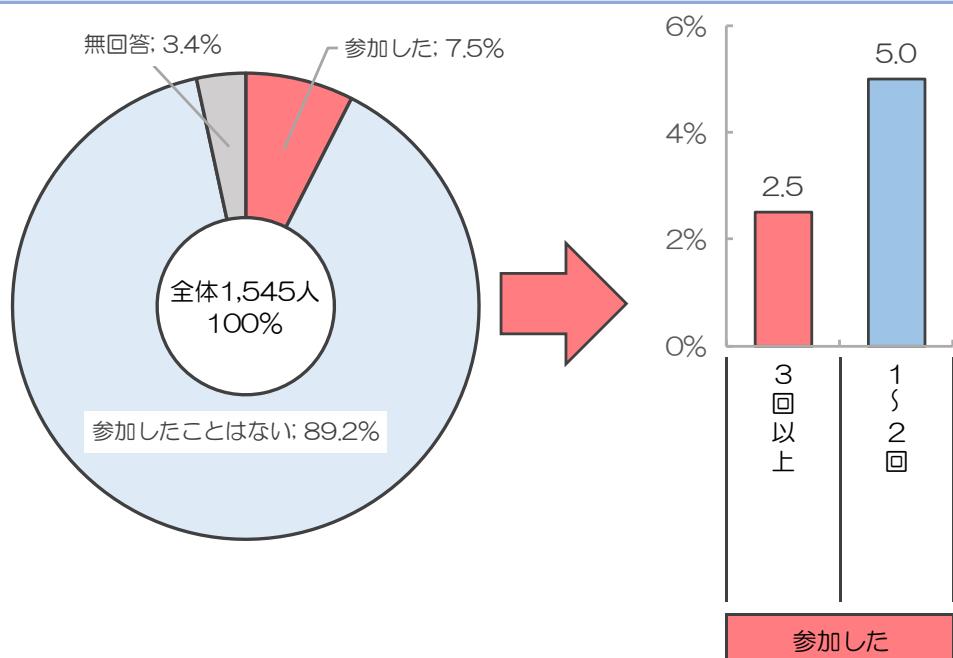
【質問15】

あなたは、部落差別（同和問題）に関連する講演会や研修会に参加したり、新聞やテレビ・ラジオなどで部落差別（同和問題）に関連したことを見たり、聞いたり、読んだりしたことが何回ありますか。（各 SA）（1～11 それぞれについてあてはまるもの1つに○）

事項	3回以上	1～2回	ない
1 講演会・講座・研修会への参加	A	B	C
2 なごや人権啓発センターの展示	A	B	C
3 広報なごや	A	B	C
4 テレビ・ラジオ	A	B	C
5 映画・DVD・ビデオ	A	B	C
6 インターネット	A	B	C
7 冊子・パンフレット	A	B	C
8 新聞	A	B	C
9 雑誌	A	B	C
10 ポスター	A	B	C
11 たれ幕・立看板	A	B	C

【単純集計】

「講演会・講座・研修会」への参加状況

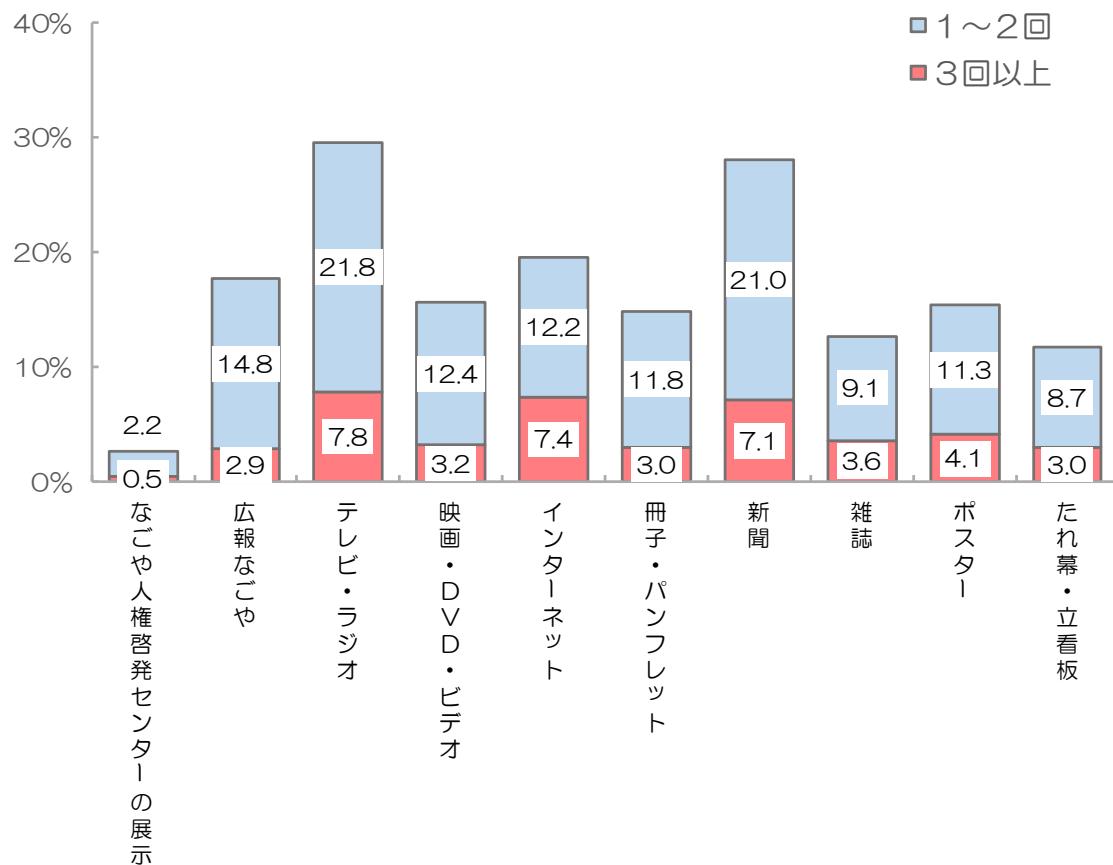


【講演会・講座・研修会】へ参加した回数が「3回以上」(2.5%)、「1～2回」(5.0%)と答えた人の割合を合わせた『参加した』は 7.5% となっている。



【講演会・講座・研修会】に『参加した』と答えた人は、7.5%

「講演会・講座・研修会」以外の啓発媒体に接した回数



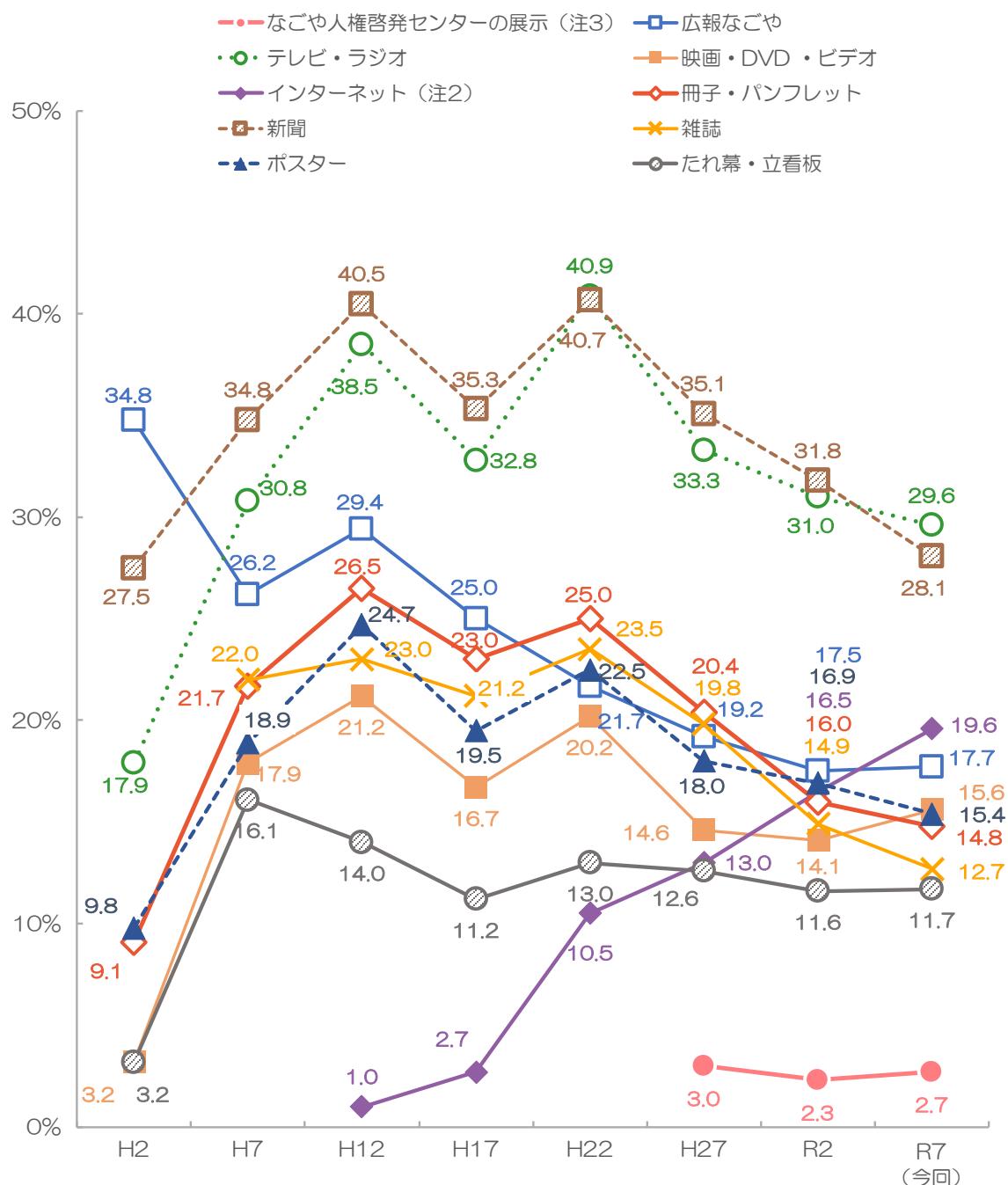
部落差別（同和問題）に関する見聞きした媒体では【テレビ・ラジオ】と答えた人が最も高く、「3回以上」「1~2回」を合わせると 29.6%、次いで【新聞】が 28.1% となっている。



部落差別（同和問題）について接したのは、【テレビ・ラジオ】【新聞】と答えた人の割合が他の啓発媒体と答えた人より高い

【時系列比較】

「講演会・講座・研修会」以外の啓発媒体との関わり状況



※注1：H2は各啓発活動について見たり、聞いたり、読んだりしたものすべて選んでもらう方法で調査した。

2：H2は「テレビ・ラジオ・ビデオ」と「映画「小さな指輪」など」という項目で調査した。

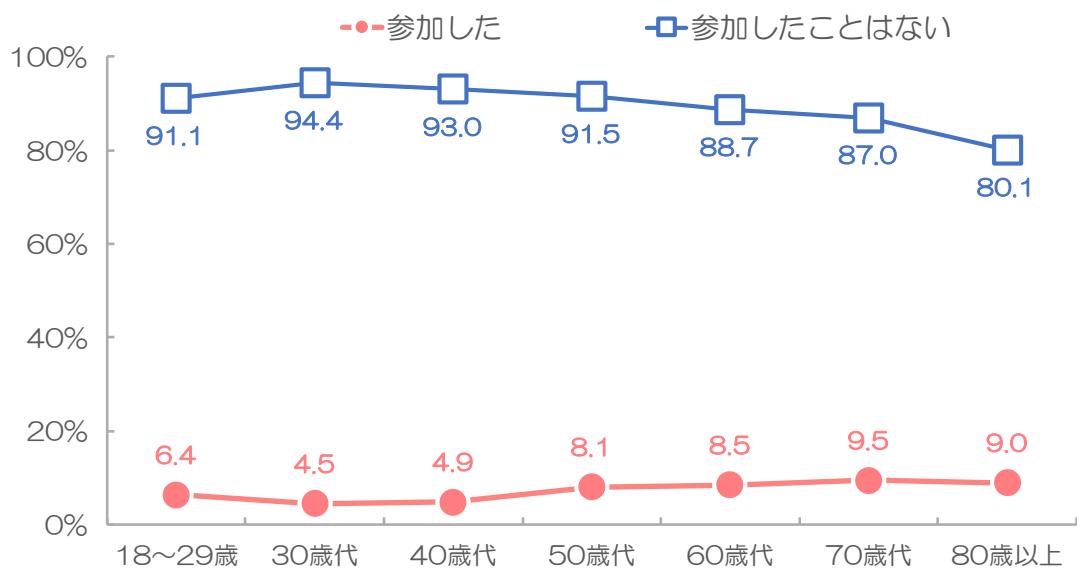
3：「なごや人権啓発センターの展示」は、H27から追加した項目。

 【インターネット】の割合が増えている

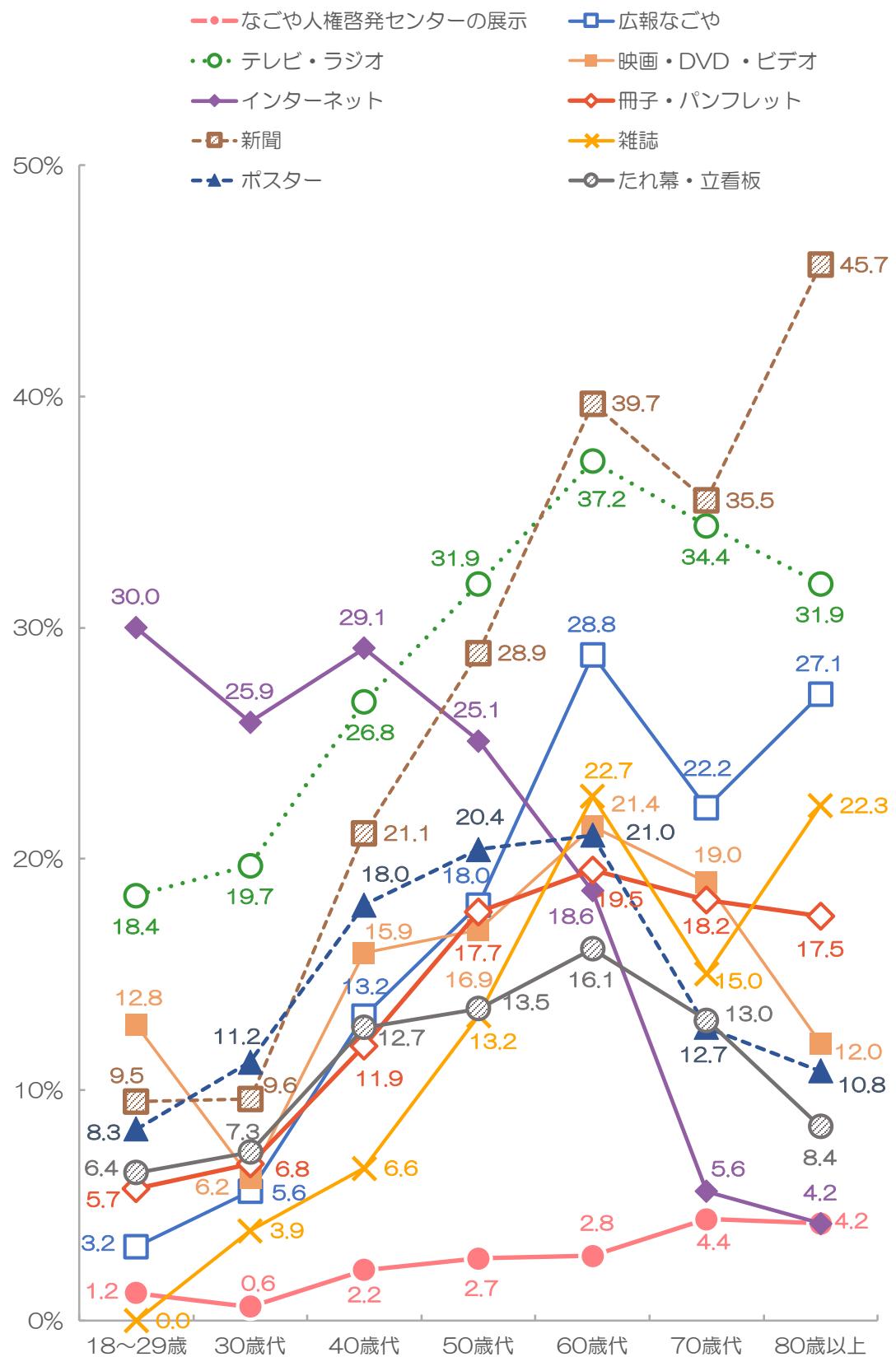
【属性別集計】

●年代別比較

「講演会・講座・研修会」への参加状況を、年代別比較



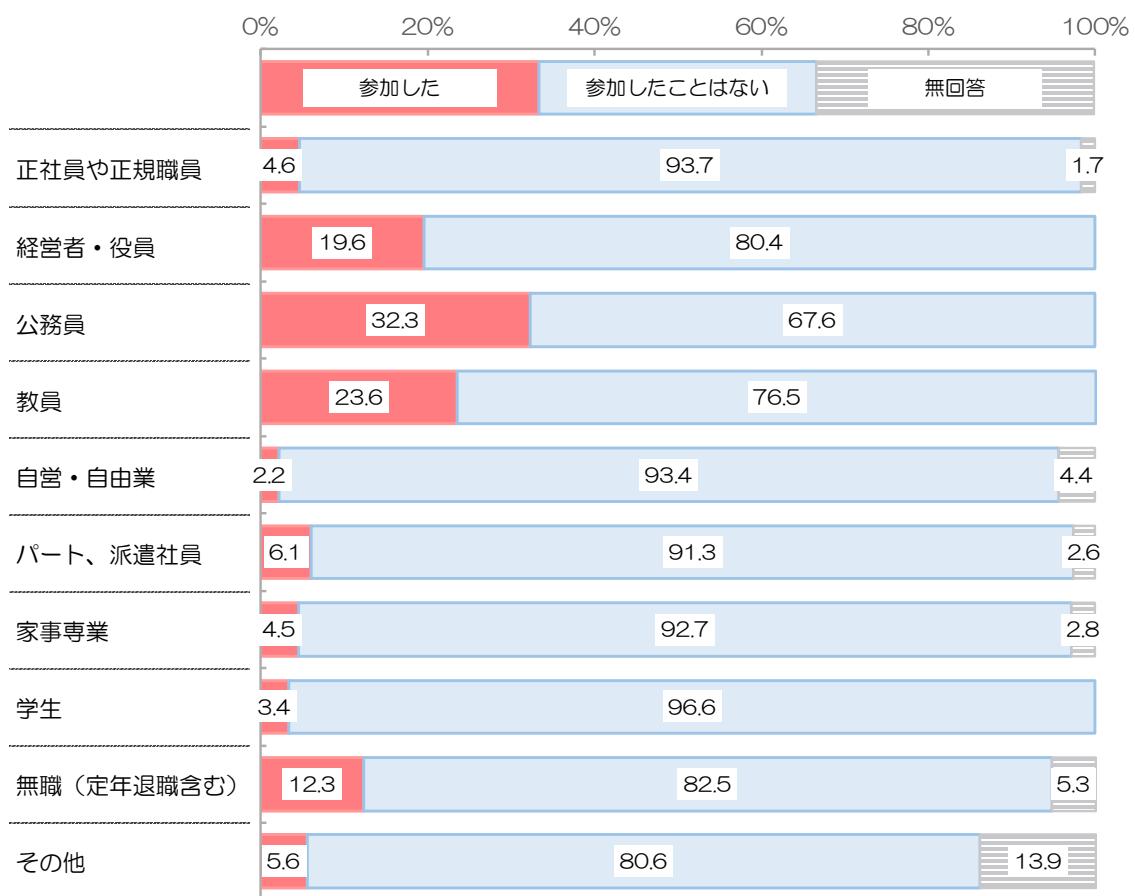
「講演会・講座・研修会」以外の啓発媒体との関わり状況を、年代別比較



☀ 18~29歳、30歳代、40歳代は【インターネット】の割合が最も高い

●職業別比較

「講演会・講座・研修会」への参加状況を、職業別比較



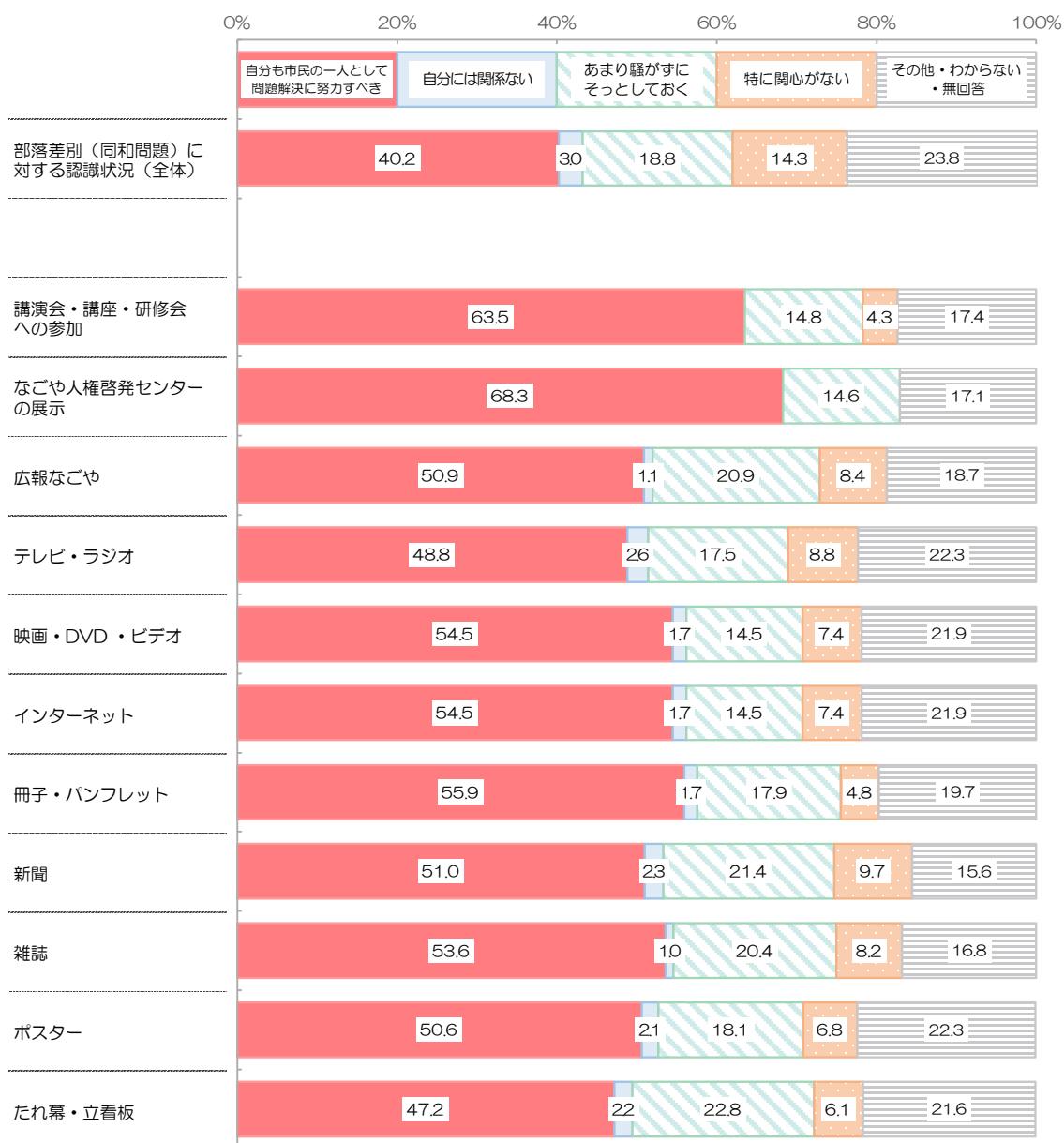
「講演会・講座・研修会」以外の啓発媒体と接したことのある割合を、職業別比較

	セな ンご タや 一人 の権 展示発	広 報な ご や	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	映 画 ・ ビ デ オ	イ ン タ ー ネ ッ ト	冊 子 ・ パン フレ ット	新 聞	雑 誌	ポ ス タ ー	た れ 幕 ・ 立 看 板	(%)
正社員や正規職員	1.1	12.3	25.8	15.1	26.6	11.7	20.1	8.4	16.2	11.0	
経営者・役員	6.5	15.2	34.8	13.0	28.3	21.8	28.3	19.5	17.4	17.4	
公務員	5.8	41.1	41.1	11.7	32.4	32.3	29.4	2.9	32.3	17.6	
教員	11.8	11.8	47.1	35.3	35.3	35.3	47.0	11.8	35.2	47.0	
自営・自由業	3.3	17.6	29.7	17.6	16.5	14.3	27.5	14.3	11.0	13.2	
パート、派遣社員	3.2	17.1	26.2	11.9	18.4	10.0	23.5	12.5	12.3	9.0	
家事専業	1.7	26.6	35.5	15.3	10.2	16.9	36.1	14.1	15.8	10.2	
学生	0.0	3.4	22.4	10.3	34.5	5.2	17.2	0.0	12.0	3.4	
無職（定年退職含む）	4.6	22.5	33.7	21.8	10.5	20.0	41.8	20.0	16.8	14.1	
その他	0.0	16.7	30.6	11.1	13.9	19.4	36.1	19.4	13.9	11.1	

※各職業の上位二位までの回答率を網掛けにて示している。

【設問間クロス集計】

質問15「啓発活動への参加・関わりの状況」（【講演会・講座・研修会への参加】【なごや人権啓発センターの展示】【広報なごや】【テレビ・ラジオ】【インターネット】【冊子・パンフレット】【新聞】）と質問8「部落差別（同和問題）に対する認識状況」の関連分析



【なごや人権啓発センターの展示】で接したと答えた人は、他の啓発媒体で接したと答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

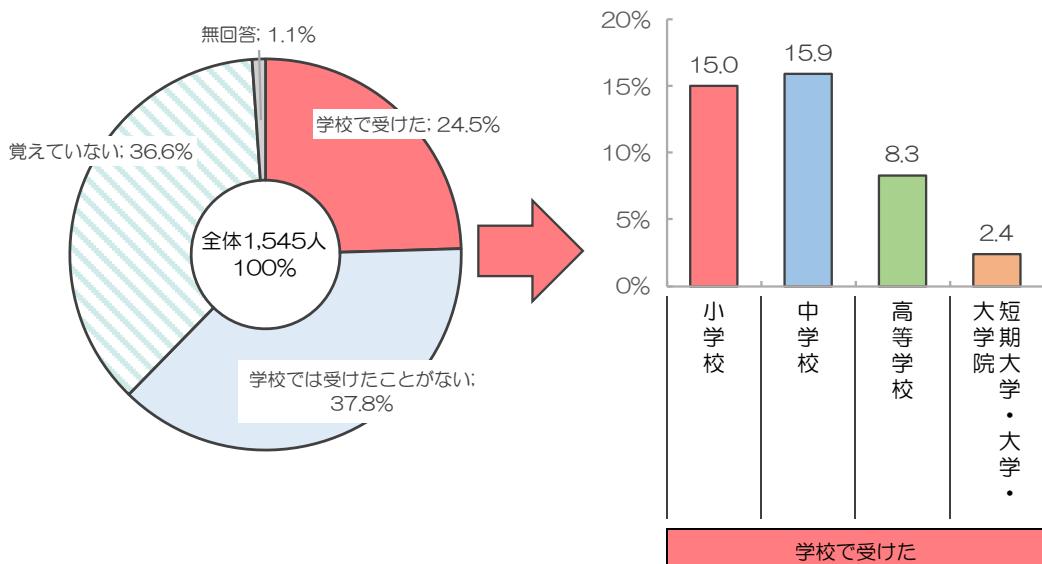
16 部落差別（同和問題）の学習

【質問16】

あなたは、学校で部落差別（同和問題）についての授業を受けたことがありますか。（MA）（あてはまるものすべてに○）

- 1 小学校
- 2 中学校
- 3 高等学校（旧制中学校なども含む）
- 4 短期大学・大学・大学院（高等専門学校、専門学校なども含む）
- 5 学校では受けたことがない
- 6 覚えていない

【単純集計】

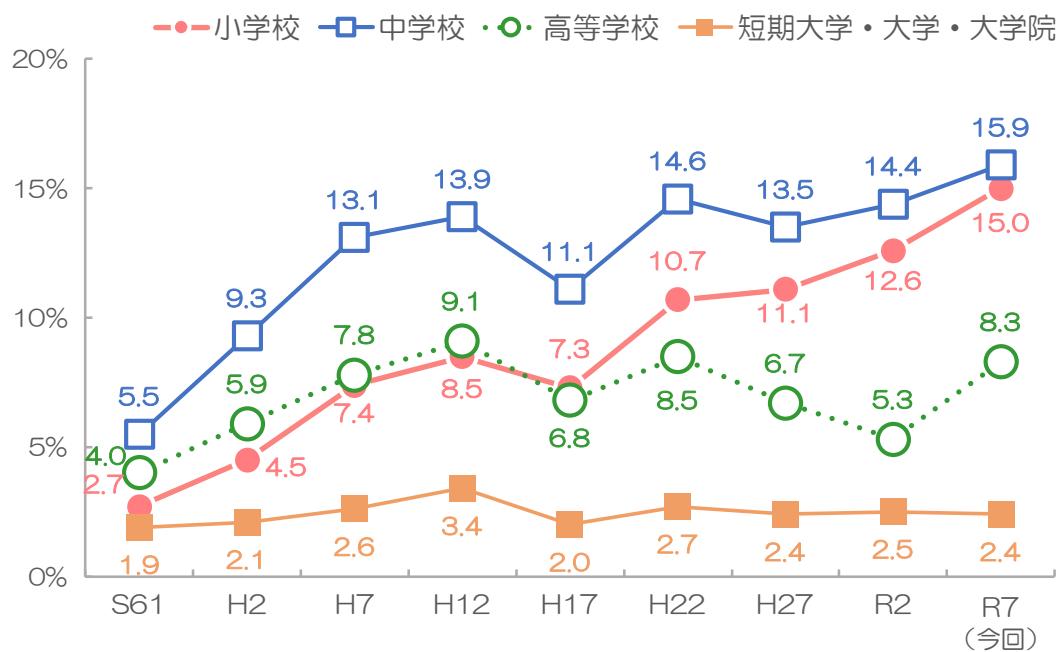


『学校で受けた』と答えた人の割合は、24.5%、「学校では受けたことがない」と答えた人の割合は、37.8%となっている。また、受けたことがある学校は、「中学校」が 15.9%と最も高くなっている。

 部落差別（同和問題）についての授業を受けたことがあると答えた人のうち、「中学校」と答えた人の割合が最も高い

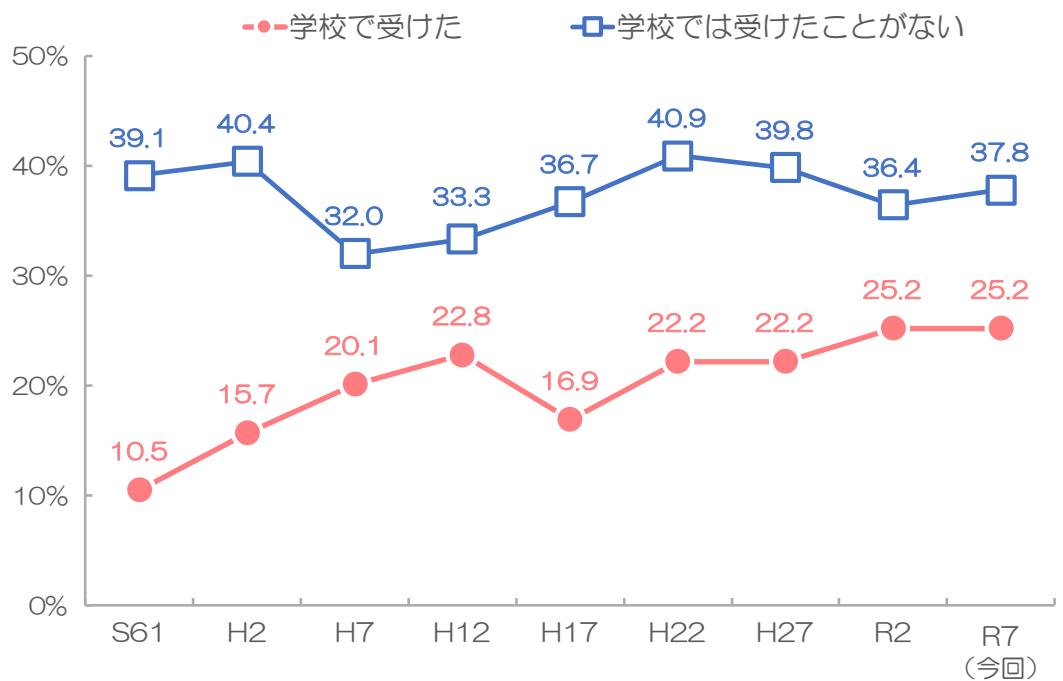
※注：『学校で受けた』と答えた人の割合は、全体（100%）から「学校では受けたことがない」、「覚えていない」、「無回答」を引いたもの。（「小学校」「中学校」「高等学校（旧制中学校なども含む）」「大学・大学院・専門学校」のいずれかで授業を受けた人の割合）

【時系列比較】



☀ 「小学校」「中学校」「高等学校」と答えた人の割合は増えている

『学校で受けた』と『学校では受けたことがない』の時系列比較

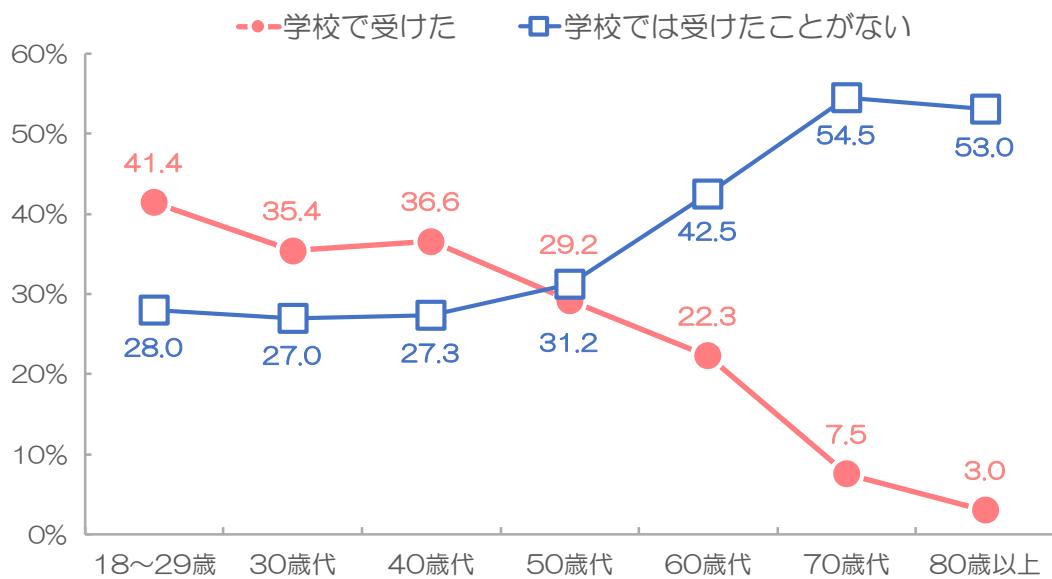


※注：H2～H17は「同和問題を知らない」という項目も調査したため、『学校で受けた』と答えた人の割合は、全体(100%)から「学校では受けたことがない」、「覚えていない」、「無回答」、「同和問題を知らない」を引いたものとなっている。

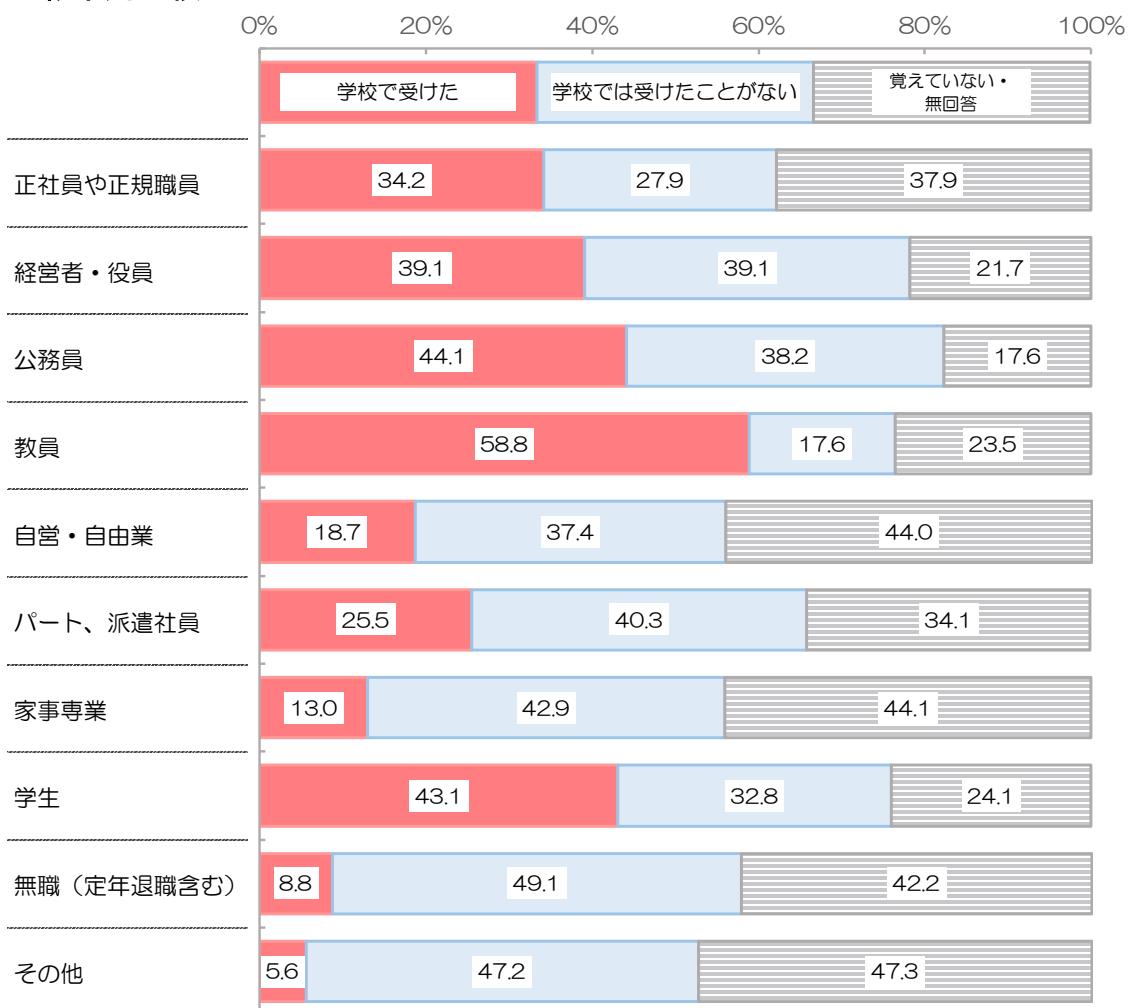
☀ 『学校で受けた』と答えた人の割合は徐々に増えている

【属性別集計】

●年代別比較

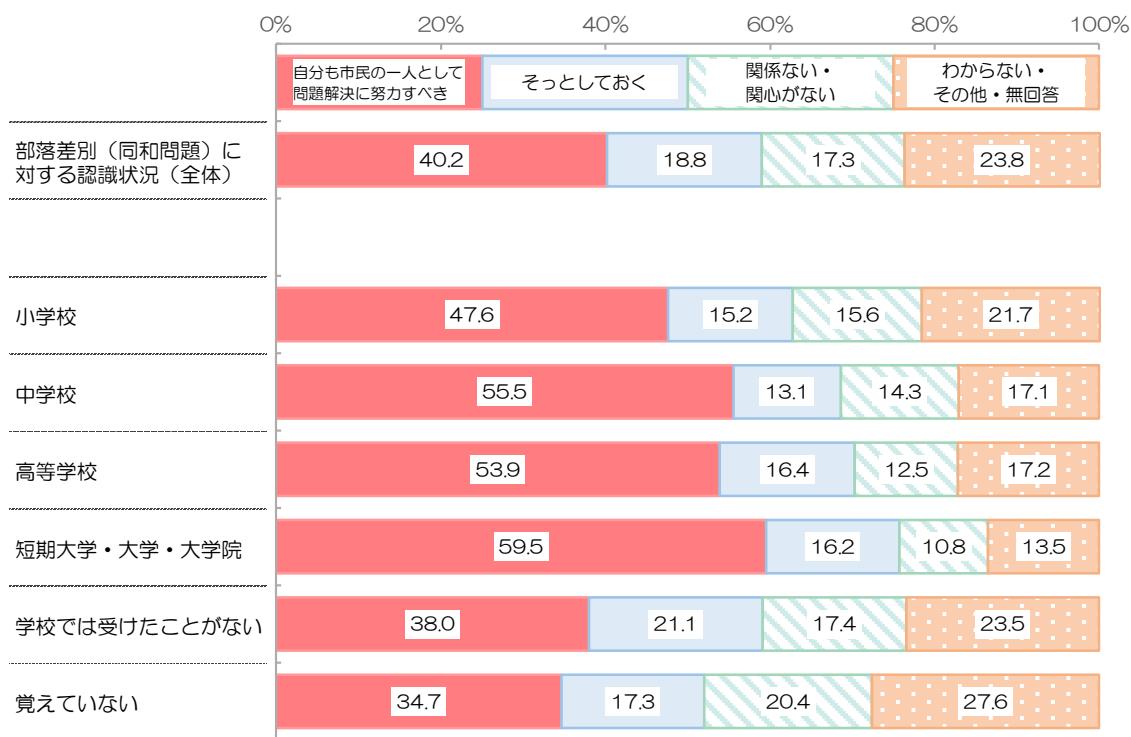


●職業別比較



【設問間クロス集計】

質問16「部落差別（同和問題）の学習」と質問8「部落差別（同和問題）に対する認識状況」との関連分析



いずれかの学校で「授業を受けたことがある」と答えた人は、「学校で受けたことがない」、「覚えていない」と答えた人より「自分も市民の一人として問題解決に努力すべき」と答えた割合が高い

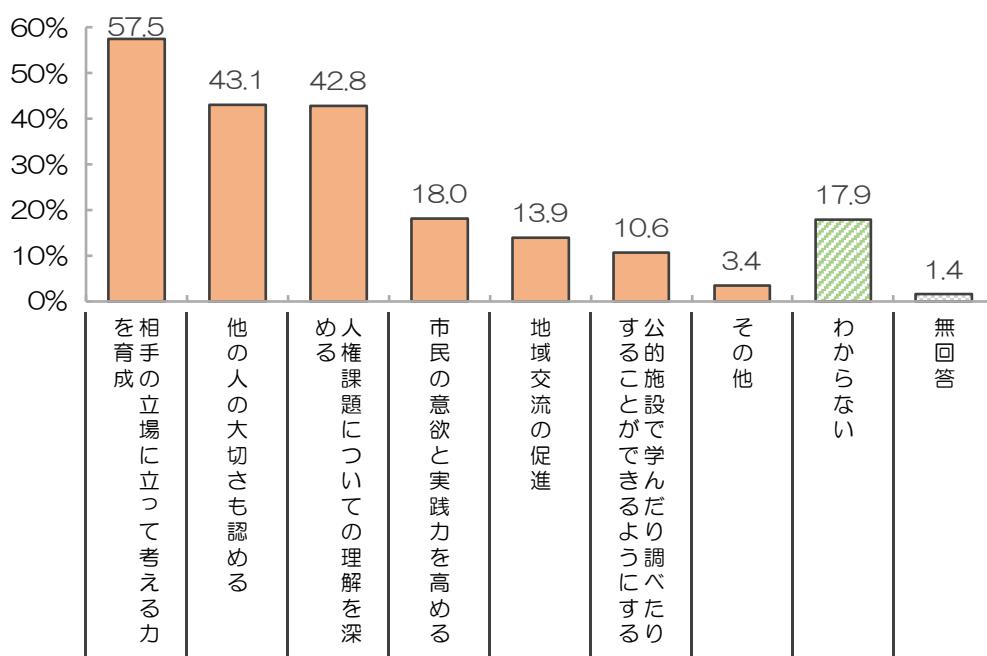
17 人権教育・人権啓発に期待するもの

【質問17】

あなたは、部落差別（同和問題）などの人権課題について、学校や社会で行っている人権教育や人権啓発に何を期待しますか。（MA）
(あてはまるものすべてに○)

- 1 あらゆる偏見や差別をなくすため、部落差別（同和問題）などの人権課題についての理解を深めようとする
- 2 部落差別（同和問題）などの人権課題解決への市民の意欲と実践力を高めるようとする
- 3 相手の立場に立って考える力を育成する
- 4 自分の大切さに気づくことができるとともに、他の人の大切さも認めることができるようとする
- 5 地域の実情に応じた様々な学習機会を提供し、地域交流の促進をはかる
- 6 部落差別（同和問題）などの人権課題をなごや人権啓発センターなどの公的施設で学んだり調べたりするための資料や講座を充実させる
- 7 その他
- 8 わからない

【単純集計】

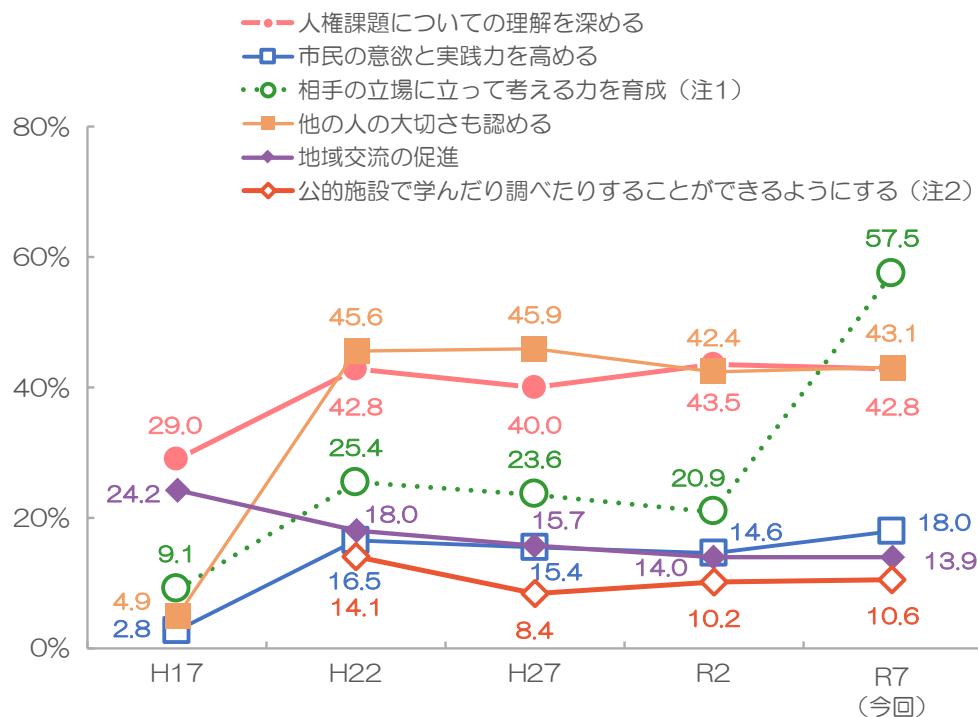


「相手の立場に立って考える力を育成」が 57.5% と最も高く、次いで「他の人の大切さも認める」が 43.1% となっている。



人権教育に期待するものとして、「相手の立場に立って考える力を育成」と「他の人の大切さも認める」と答えた人の割合が高い

【時系列比較】

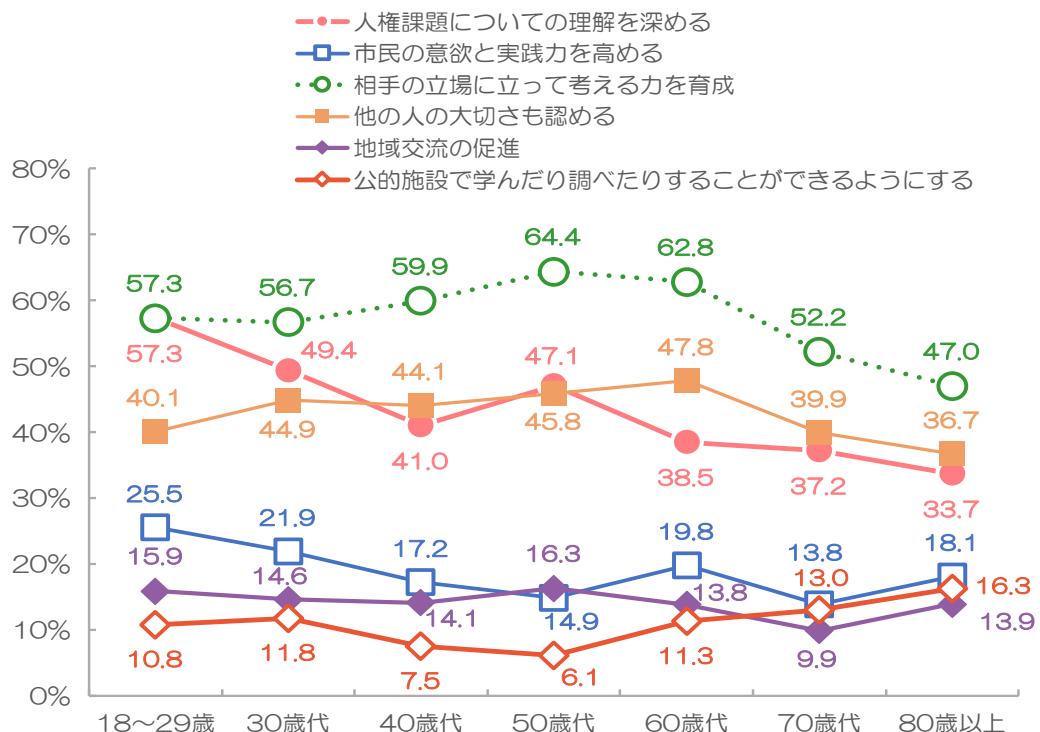


※注1：前回（R2）までは3の回答項目は「ボランティア活動や高齢者との交流などを通じて人を思いやる心を育成するようにする」という項目で調査した

2：「公的施設で学んだり調べたりすることができるようになる」という項目はH22から調査した。

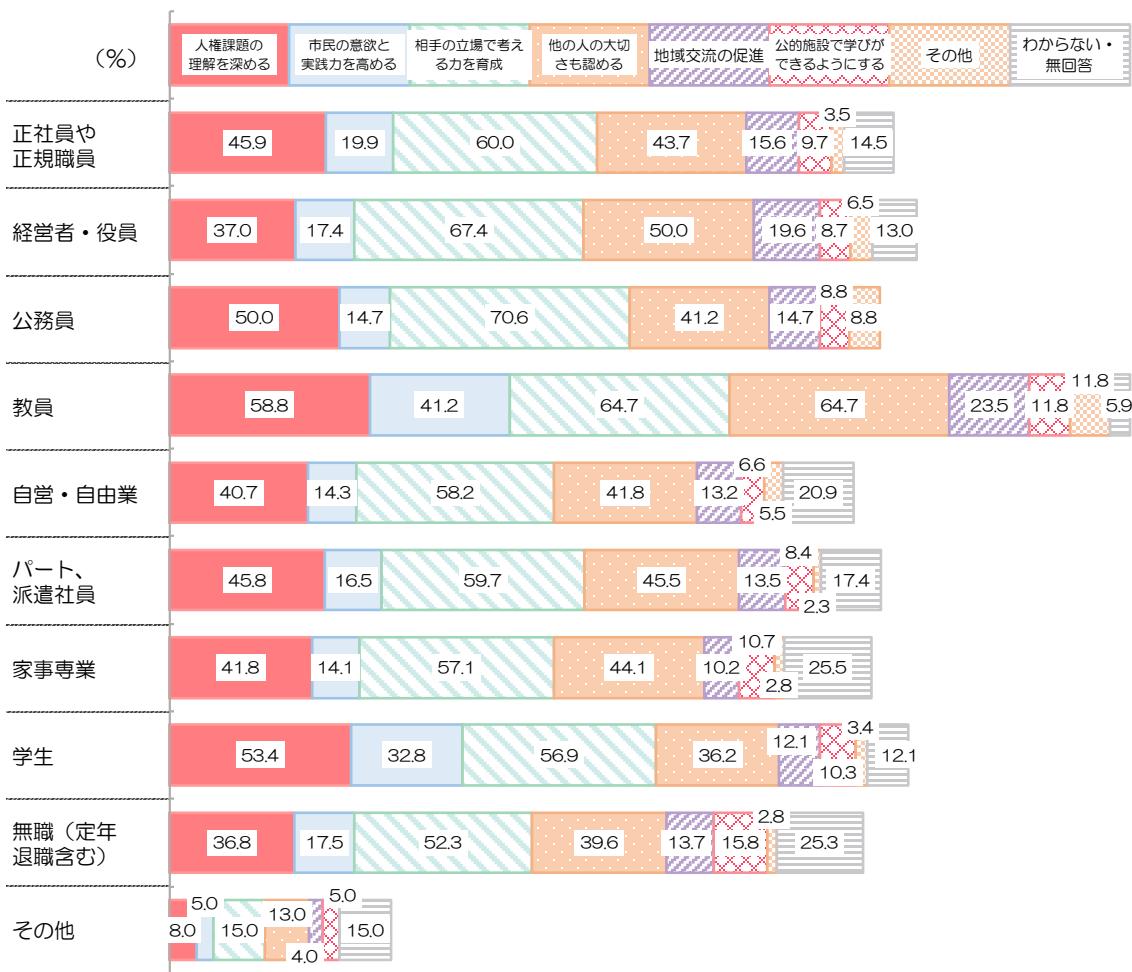
【属性別集計】

●年代別比較



☀ いずれの年代も、「相手の立場に立って考える力を育成」と答えた人の割合が高い

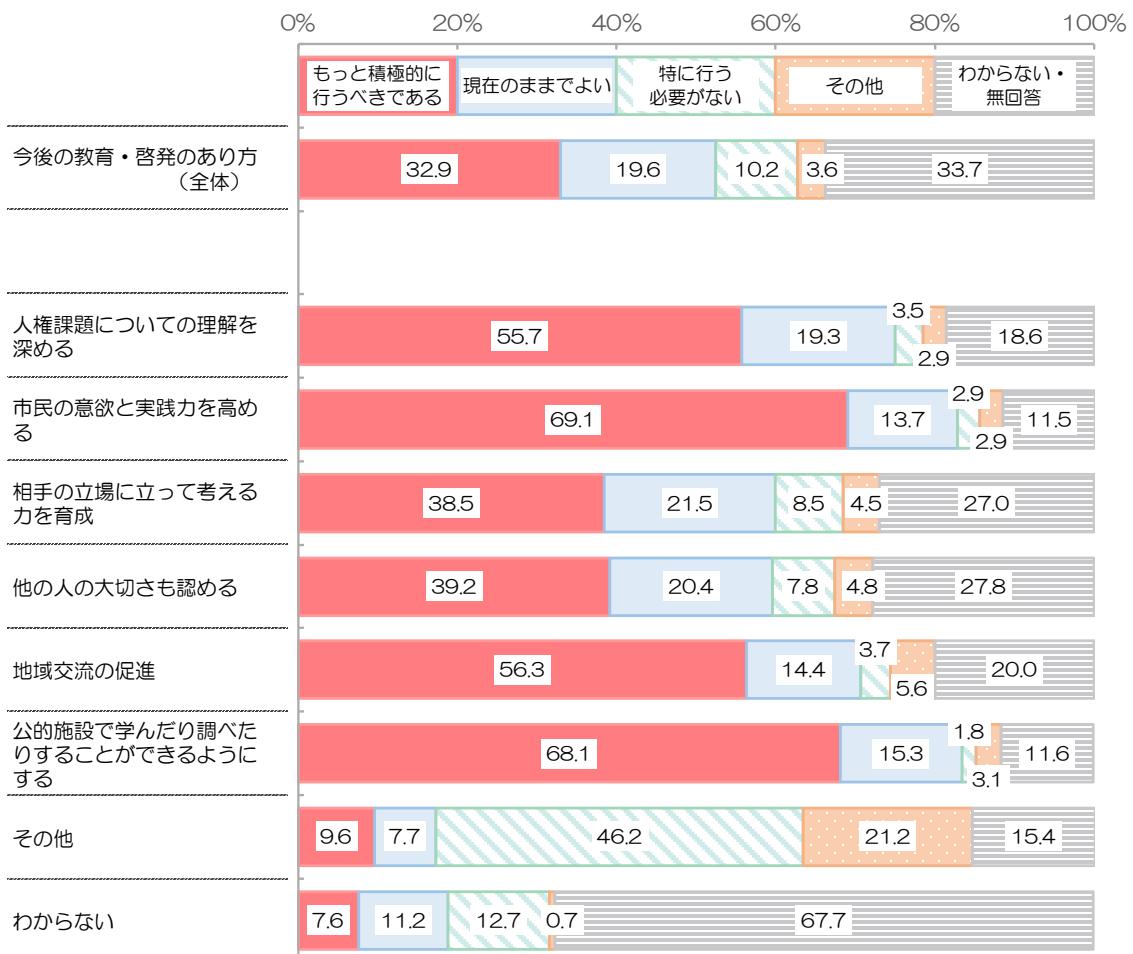
●職業別比較



※注：問17はマルチ（複数回答）のため、職業別ごとの回答の合計は100%を超える。

【設問間クロス集計】

質問17「人権教育・人権啓発に期待するもの」と質問18「今後の教育・啓発のあり方」との関連分析



💡 人権教育・人権啓発について「市民の意欲と実践力を高める」、「公的施設で学んだり調べたりすることができるようになる」と答えた人は、他の選択肢を選んだ人より「もっと積極的に行うべきである」と答えた割合が高い

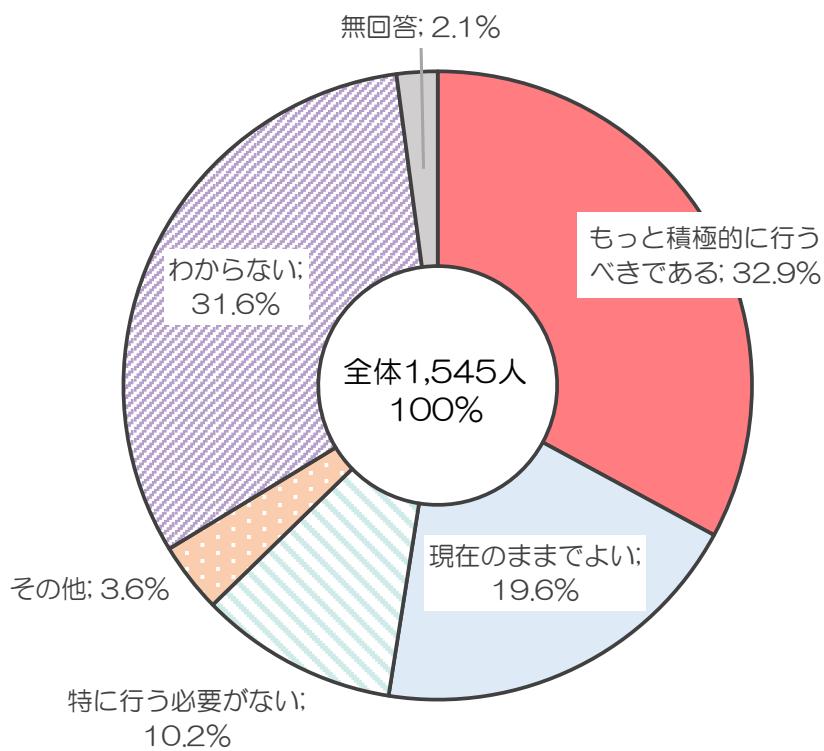
18 今後の教育・啓発のあり方

【質問18】

あなたは、部落差別（同和問題）についての教育・啓発を今後どうすべきだと思いますか。
(SA) (あてはまる番号1つに○)

- 1 もっと積極的に行うべきである
- 2 現在のままでよい
- 3 特に行う必要がない
- 4 その他
- 5 わからない

【単純集計】

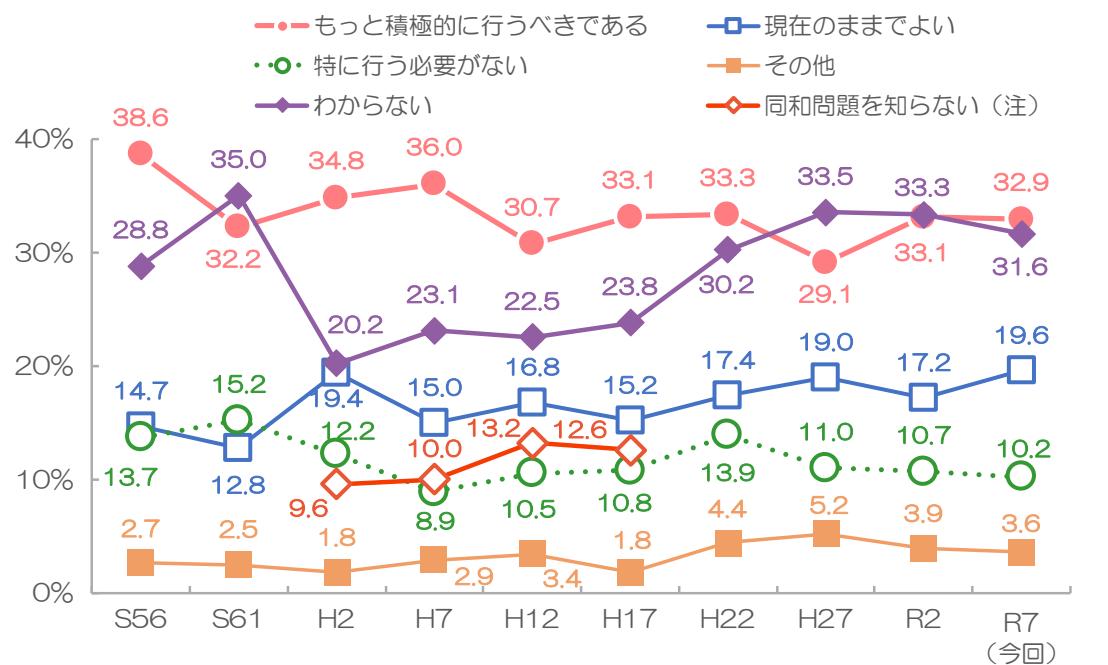


今後の教育・啓発のあり方について、「もっと積極的に行うべきである」と答えた人の割合は32.9%となっており、「現在のままでよい」(19.6%)、「特に行う必要がない」(10.2%)と答えた人の割合をそれぞれ上回っている。



「もっと積極的に行うべきである」と答えた人の割合が最も高い

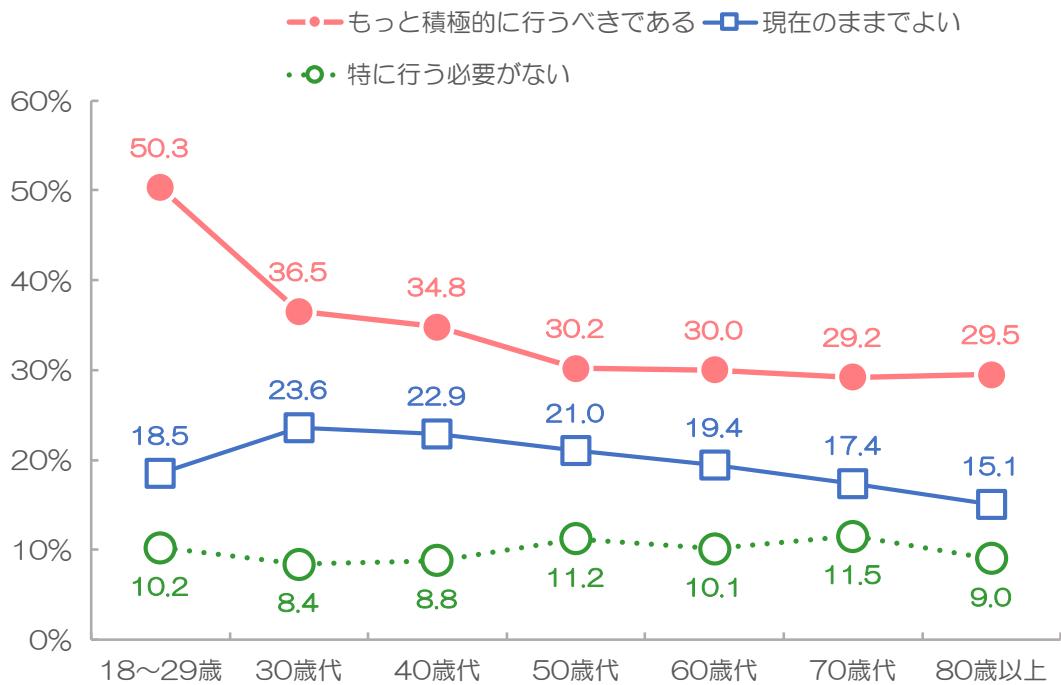
【時系列比較】



※注：H2～H17は「同和問題を知らない」という項目も調査した。

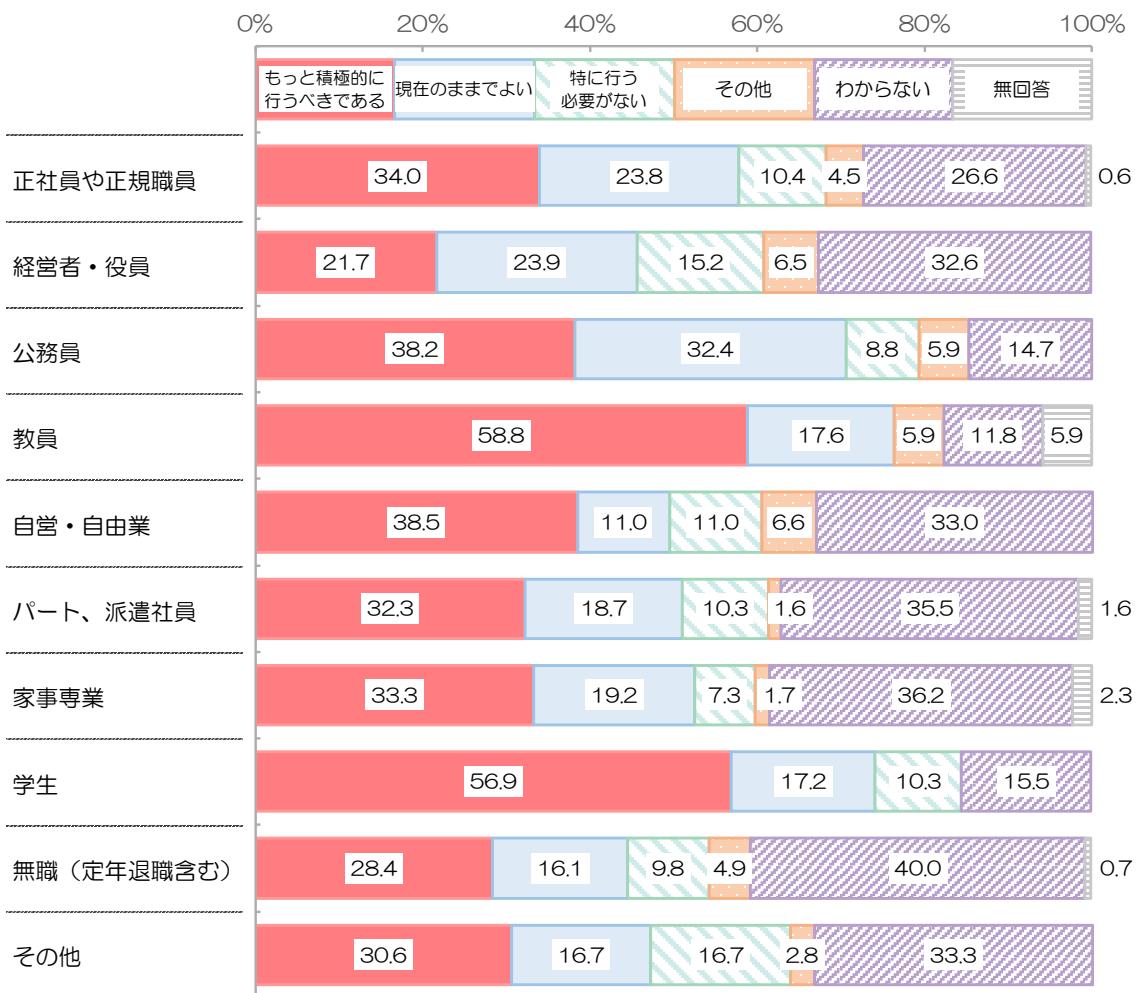
【属性別集計】

●年代別比較



 18～29歳は、「もっと積極的に行うべきである」と答えた人の割合が、他の年代に比べて最も高い

●職業別比較



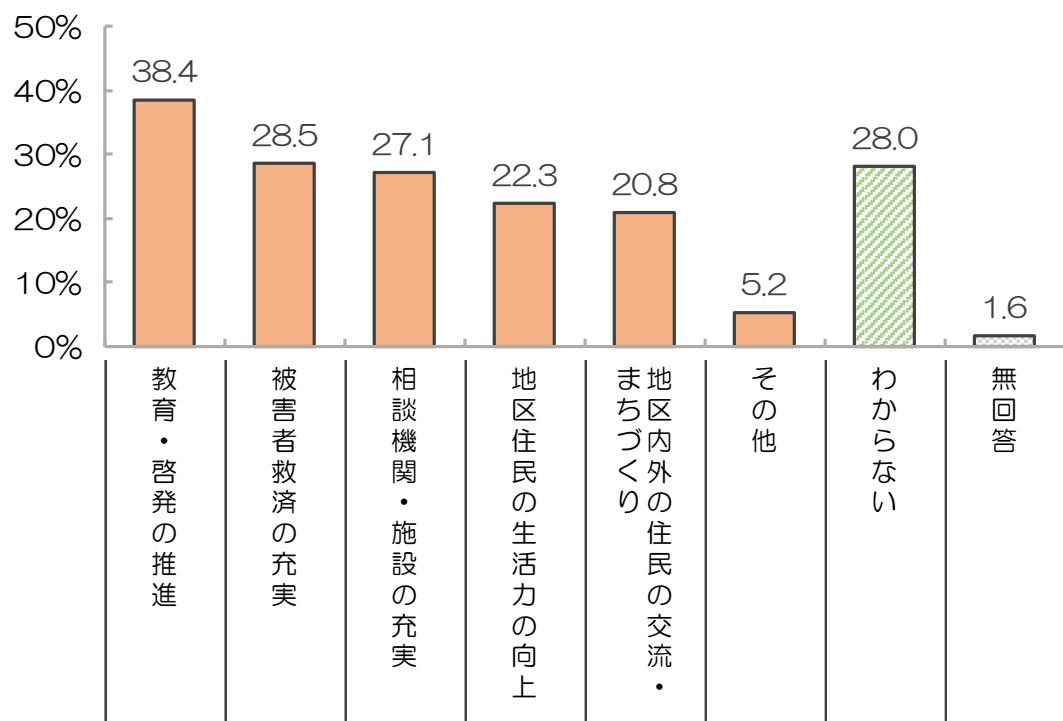
19 部落差別（同和問題）の解決策

【質問19】

あなたは、部落差別（同和問題）の解決のためどのようなことを行ったらよいと思いますか。（MA）
(あてはまるものすべてに○)

- 1 部落差別（同和問題）に関する教育や啓発活動を推進する
- 2 部落差別（同和問題）に関する相談のための機関・施設を充実する
- 3 部落差別（同和問題）に関して人権が侵害された被害者の救済を充実する
- 4 被差別部落・同和地区の人の収入の安定・向上をはかり生活力を高める
- 5 被差別部落・同和地区内外の人たちが交流を活発にし、まちづくりをすすめる
- 6 その他
- 7 わからない

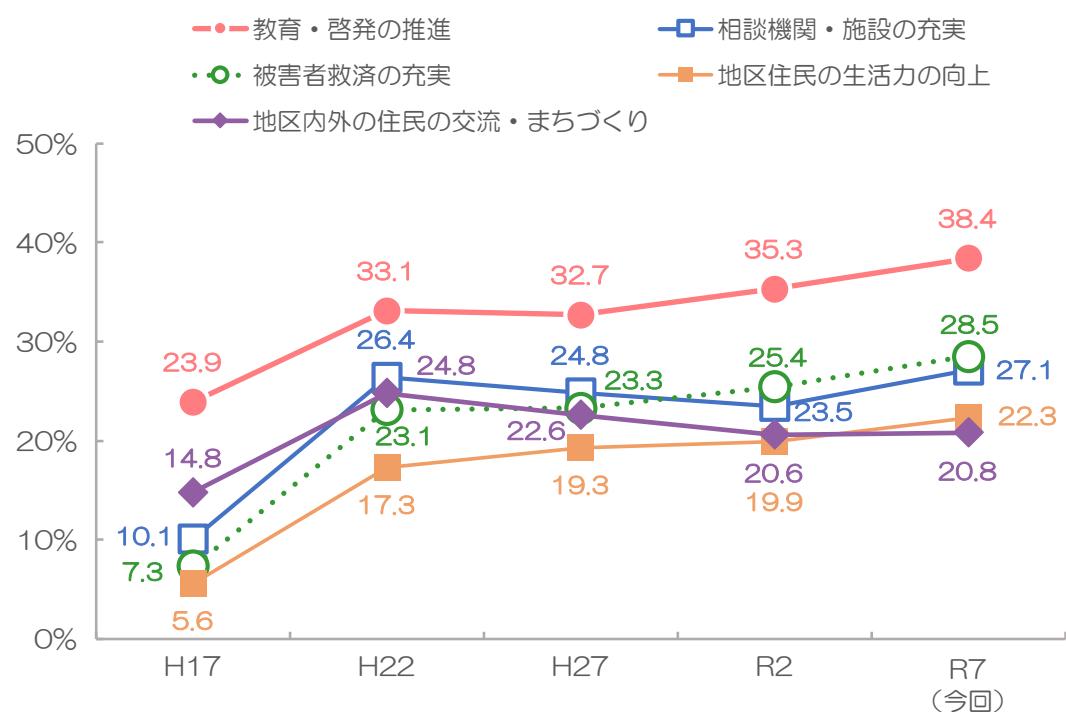
【単純集計】



「教育・啓発の推進」と答えた人の割合は、38.4%と最も高く、「被害者救済の充実」は28.5%、「相談機関・施設の充実」は27.1%となっている。

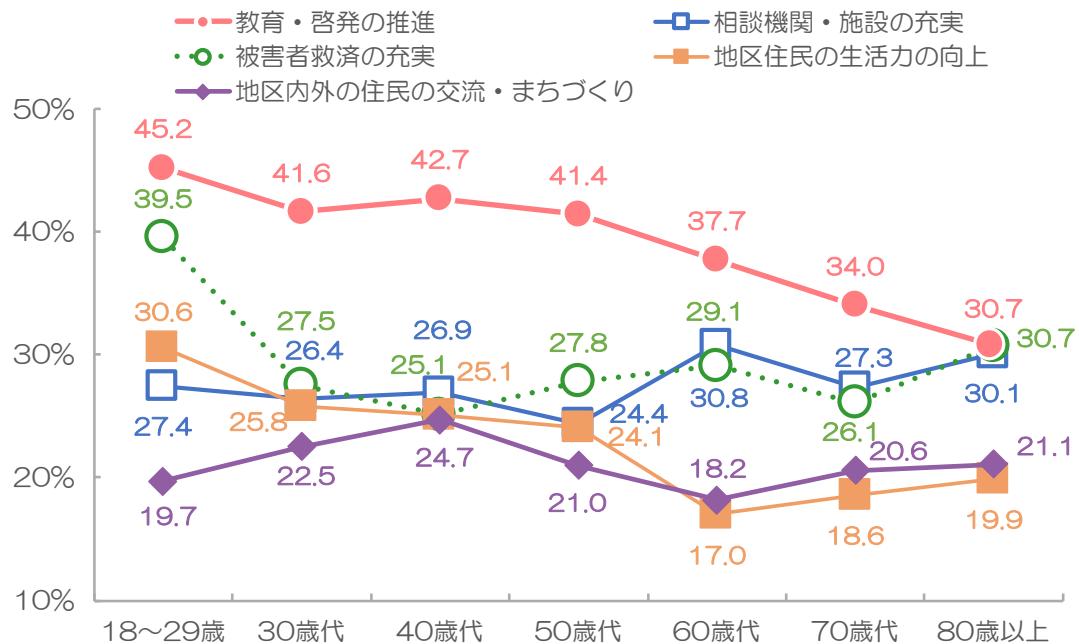
 部落差別（同和問題）の解決策として、「教育・啓発の推進」と答えた人の割合が最も高い

【時系列比較】



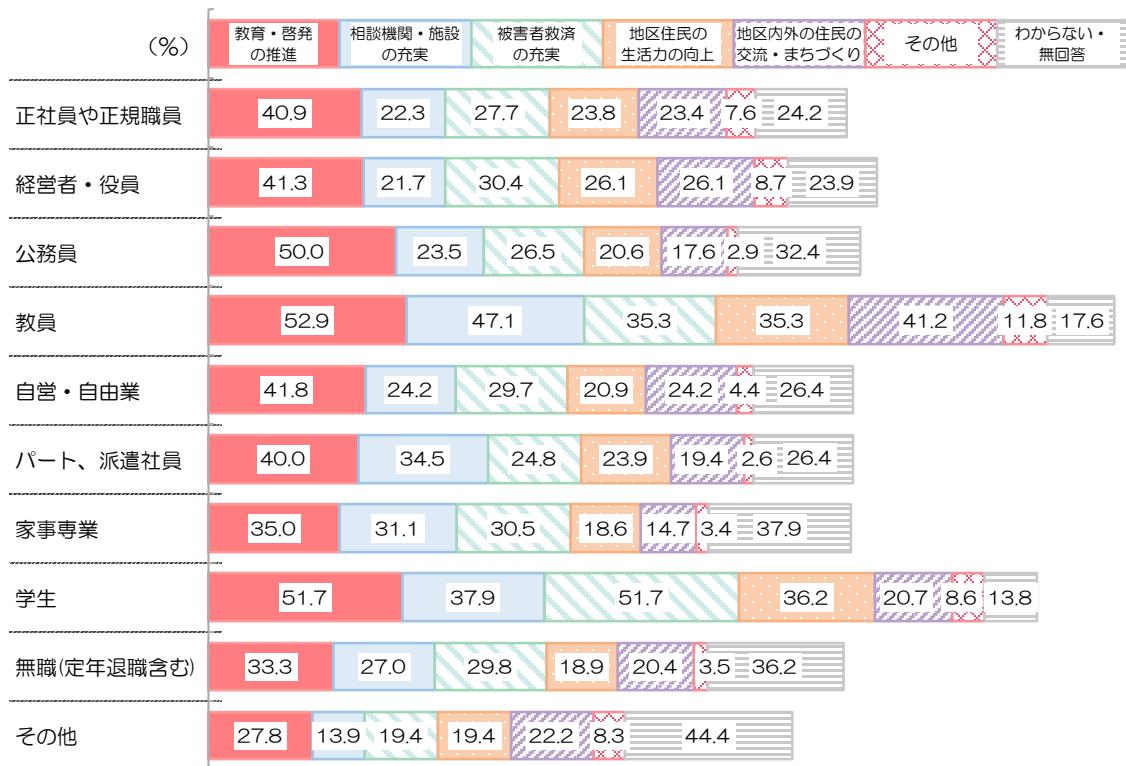
【属性別集計】

●年代別比較



☀ いずれの年代も、「教育・啓発の推進」と答えた人の割合が最も高い

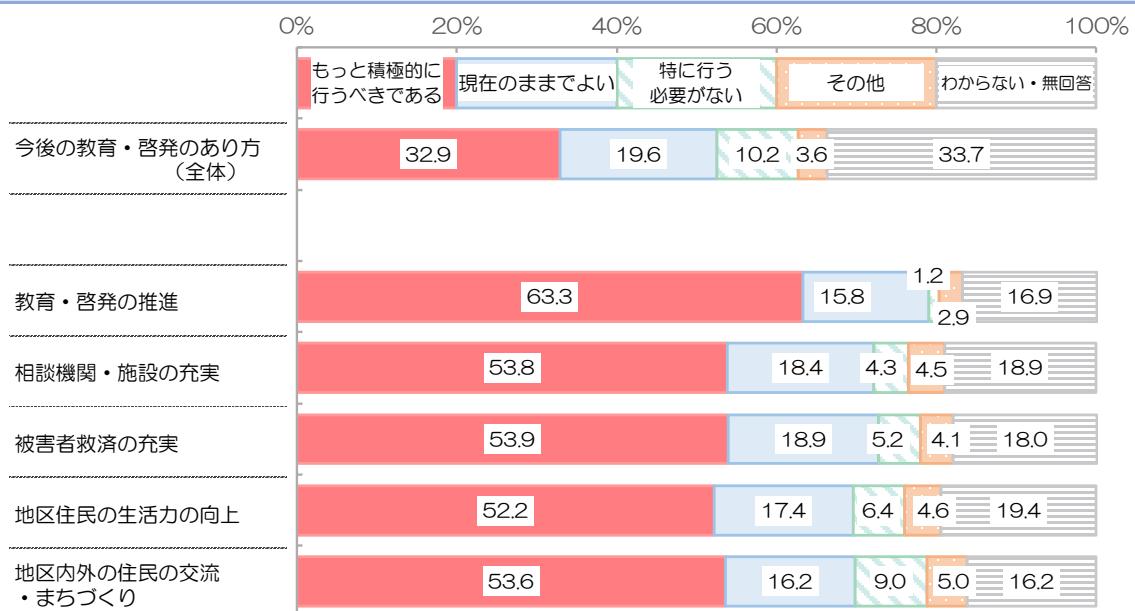
●職業別比較



※注：問19はマルチ（複数回答）のため、職業別ごとの回答の合計は100%を超える。

【設問間クロス集計】

質問19「部落差別（同和問題）の解決策」と質問18「今後の教育・啓発のあり方」との関連分析



 部落差別（同和問題）の解決策として、「教育・啓発の推進」と答えた人は、他の解決策を答えた人より「もっと積極的に行うべきである」と答えた割合が高い

III 単純集計表/性別クロス集計表

(上段：件数／下段：構成比)

問1 今の日本が基本的人権が尊重されている社会だと思いますか

全 体	そ う 思 う	そ ち ら 思 う か と い え ば	そ ち ら 思 わ か な と い え ば	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答
1,545	267	851	185	113	94	35
100.0%	17.3%	55.1%	12.0%	7.3%	6.1%	2.3%
男性	678	156	362	67	52	29
	100.0%	23.0%	53.4%	9.9%	7.7%	4.3%
女性	812	108	459	113	56	61
	100.0%	13.3%	56.5%	13.9%	6.9%	7.5%
その他・答えたく ない・無回答	55	3	30	5	5	8
100.0%	5.5%	54.5%	9.1%	9.1%	7.3%	14.5%

問2-Ⅰ 同じように仕事ができるのに、性別だけで昇進に差をつけること

全 体	差 別 だ と 思 う	差 別 で な い と 思 う	い ち が い に い え な い	わ か ら な い	無 回 答
1,545	1,088	49	360	27	21
100.0%	70.4%	3.2%	23.3%	1.7%	1.4%
男性	678	452	36	174	10
	100.0%	66.7%	5.3%	25.7%	1.5%
女性	812	601	13	174	17
	100.0%	74.0%	1.6%	21.4%	2.1%
その他・答えたく ない・無回答	55	35	-	12	-
100.0%	63.6%	-	21.8%	-	14.5%

問2-Ⅱ 家柄が違うということで、結婚に反対すること

全 体	差 別 だ と 思 う	差 別 で な い と 思 う	い ち が い に い え な い	わ か ら な い	無 回 答
1,545	828	116	531	49	21
100.0%	53.6%	7.5%	34.4%	3.2%	1.4%
男性	678	375	63	209	24
	100.0%	55.3%	9.3%	30.8%	3.5%
女性	812	434	51	297	24
	100.0%	53.4%	6.3%	36.6%	3.0%
その他・答えたく ない・無回答	55	19	2	25	1
100.0%	34.5%	3.6%	45.5%	1.8%	14.5%

問2-Ⅲ 人を雇うときに身元調査（聞き合わせ）をすること

全 体	差 別 だ と 思 う	差 別 で な い と 思 う	い ち が い に い え な い	わ か ら な い	無 回 答
1,545	335	460	686	42	22
100.0%	21.7%	29.8%	44.4%	2.7%	1.4%
男性	678	147	231	280	13
	100.0%	21.7%	34.1%	41.3%	1.9%
女性	812	178	213	386	28
	100.0%	21.9%	26.2%	47.5%	3.4%
その他・答えたく ない・無回答	55	10	16	20	1
100.0%	18.2%	29.1%	36.4%	1.8%	14.5%

問2-IV 結婚のときに相手の身元調査（聞き合わせ）をすること

		差別だと 思う	差別で ないと思 う	い ち が い に い え な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体						
1,545	288	483	706	49	19	
100.0%	18.6%	31.3%	45.7%	3.2%	1.2%	
男性	678	131	241	280	20	6
	100.0%	19.3%	35.5%	41.3%	2.9%	0.9%
女性	812	148	229	403	27	5
	100.0%	18.2%	28.2%	49.6%	3.3%	0.6%
その他・答えたく ない・無回答	55	9	13	23	2	8
100.0%	16.4%	23.6%	41.8%	3.6%	14.5%	

問3 「部落差別の解消の推進に関する法律」を知っていますか

		知 つ て い る	ま ご と 律 は が の 知 あ 名 ら る 前 な が は い 、 聞 内 い 容 た	知 ら な い	無 回 答
全 体					
1,545	178	459	884	24	
100.0%	11.5%	29.7%	57.2%	1.6%	
男性	678	93	218	359	8
	100.0%	13.7%	32.2%	52.9%	1.2%
女性	812	77	231	496	8
	100.0%	9.5%	28.4%	61.1%	1.0%
その他・答えたく ない・無回答	55	8	10	29	8
100.0%	14.5%	18.2%	52.7%	14.5%	

問4 部落差別（同和問題）を知っていますか

		よ く 知 つ て い る	少 し は 知 つ て い る	聞 い た こ と が あ る	ま つ た く 知 ら な い	無 回 答
全 体						
1,545	141	614	512	258	20	
100.0%	9.1%	39.7%	33.1%	16.7%	1.3%	
男性	678	88	276	209	99	6
	100.0%	13.0%	40.7%	30.8%	14.6%	0.9%
女性	812	48	321	288	149	6
	100.0%	5.9%	39.5%	35.5%	18.3%	0.7%
その他・答えたく ない・無回答	55	5	17	15	10	8
100.0%	9.1%	30.9%	27.3%	18.2%	14.5%	

問5 部落差別（同和問題）を初めて知ったり、聞いたりしたきっかけは、誰からまたは何からですか

		母 親 兄 弟 姉 妹 父 母 な ど 父 母	親 戚 の 人	近 所 の 人	友 人	職 場 の 人	学 校 の 授 業	聞 テ ・ レ ビ ・ ラ ジ オ ・ 新	イ ン タ ー ネ ット	講 演 会 や 研 修 会	や 市 ・ 启 発 冊 子 な ど	そ の 他	覚 え て い な い	こ の ア ン ケ ー ト 調 査	無 回 答
全 体															
1,545	291	8	26	81	68	314	240	57	28	17	35	129	219	32	
100.0%	18.8%	0.5%	1.7%	5.2%	4.4%	20.3%	15.5%	3.7%	1.8%	1.1%	2.3%	8.3%	14.2%	2.1%	
男性	678	109	4	9	36	45	145	107	31	13	5	20	62	82	10
	100.0%	16.1%	0.6%	1.3%	5.3%	6.6%	21.4%	15.8%	4.6%	1.9%	0.7%	2.9%	9.1%	12.1%	1.5%
女性	812	175	4	17	42	19	158	124	25	15	12	14	63	128	16
	100.0%	21.6%	0.5%	2.1%	5.2%	2.3%	19.5%	15.3%	3.1%	1.8%	1.5%	1.7%	7.8%	15.8%	2.0%
その他・答えたく ない・無回答	55	7	-	-	3	4	11	9	1	-	-	1	4	9	6
100.0%	12.7%	-	-	-	5.5%	7.3%	20.0%	16.4%	1.8%	-	-	1.8%	7.3%	16.4%	10.9%

問6 部落差別（同和問題）について初めて知ったり、聞いたりしたのは、いつ頃のことですか

問7 部落差別（同和問題）を初めて知ったり、聞いたりしたとき、どう思いましたか

問8 部落差別（同和問題）について、現在あなたはどうお考えですか

問9 親しくつきあっている職場の人や近所の人が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか

全 体		に こ 親 し ま く つ と き 同 あ じ よ う	あ が 表 い 面 的 は で き 避 け き る に は た つ い き く つ あ き う	ま つ き あ い は や め て し	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
1,545	1,253	88	6	23	160	15	
100.0%	81.1%	5.7%	0.4%	1.5%	10.4%	1.0%	
男性	678	561	36	5	10	61	5
	100.0%	82.7%	5.3%	0.7%	1.5%	9.0%	0.7%
女性	812	655	52	1	12	88	4
	100.0%	80.7%	6.4%	0.1%	1.5%	10.8%	0.5%
その他・答えたく ない・無回答	55 100.0%	37 67.3%	- -	- -	1 1.8%	11 20.0%	6 10.9%

問10 親類や親しい人の結婚しようとしている相手が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか

全 体		る本 人 の 意 思 を 尊 重 す	婚の世 界で は の しで くき ま なれ え いば が 結 あ	婚の世 界で は の しで くき ま なれ え いば が 結 あ	対結 婚の しで くき ま なれ え いば が 結 あ	結婚 する こと に は 反	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
1,545	1,174	82	43	27	211	8			
100.0%	76.0%	5.3%	2.8%	1.7%	13.7%	0.5%			
男性	678	556	31	11	13	67	-		
	100.0%	82.0%	4.6%	1.6%	1.9%	9.9%	-		
女性	812	582	51	32	12	133	2		
	100.0%	71.7%	6.3%	3.9%	1.5%	16.4%	0.2%		
その他・答えたく ない・無回答	55	36	-	-	2	11	6		
100.0%	65.5%	-	-	3.6%	20.0%	10.9%			

問11 あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか

全 体		す子 ど も の 意 思 を 尊 重 す	強が親 け、と れ子し ばど反 かの対 た意す な思る いが	なあ家 いれ族 ば、親 類結婚 のを反 認めが	い絶 対に結 婚を認 めな	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
1,545	939	248	28	32	49	235	14	
100.0%	60.8%	16.1%	1.8%	2.1%	3.2%	15.2%	0.9%	
男性	678	463	91	8	16	23	74	3
	100.0%	68.3%	13.4%	1.2%	2.4%	3.4%	10.9%	0.4%
女性	812	444	151	20	16	22	154	5
	100.0%	54.7%	18.6%	2.5%	2.0%	2.7%	19.0%	0.6%
その他・答えたく ない・無回答	55	32	6	-	-	4	7	6
100.0%	58.2%	10.9%	-	-	7.3%	12.7%	10.9%	

問12 被差別部落・同和地区出身の人と恋愛をし結婚しようとしたとき、家族や親類の人から強い反対を受けたら、あなたはどうされますか

全 体		結自 婚分 する 意 思 を 貫 い て	思け親 をたの 實後説 いて、に 結自全 婚分力 するの をる意 傾	ばや説 結親得 しのた な反結 しのた な反結 い対果、 が あ家 れ族	絶 対に結 婚し ない	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
1,545	414	580	158	33	35	311	14	
100.0%	26.8%	37.5%	10.2%	2.1%	2.3%	20.1%	0.9%	
男性	678	245	259	42	11	15	101	5
	100.0%	36.1%	38.2%	6.2%	1.6%	2.2%	14.9%	0.7%
女性	812	158	306	114	20	16	195	3
	100.0%	19.5%	37.7%	14.0%	2.5%	2.0%	24.0%	0.4%
その他・答えたく ない・無回答	55	11	15	2	2	4	15	6
100.0%	20.0%	27.3%	3.6%	3.6%	7.3%	27.3%	10.9%	

問13 部落差別（同和問題）に関して、インターネット上で次のような人権侵害事例を見たことがありますか

全 体		傷区被 出差 る身 部 現 を落 誹 謗 ・和 中 地	誹区被 ・に差 別者部 現を落 る々 表を同 現誹和 地	別区被 な出差 ど身別 傷む部 人落 お對・ るす同 表る和 現差地	布区被 に差 関別 する部 落情 ・報同 の和 流地	そ の 他	見 た こ と が な い	用 イン ・シ た こ と が な い を 利	わ か ら な い	無 回 答
1,545	150	132	126	164	30	946	162	118	9	
100.0%	9.7%	8.5%	8.2%	10.6%	1.9%	61.2%	10.5%	7.6%	0.6%	
男性	678	84	74	67	87	12	414	54	43	2
	100.0%	12.4%	10.9%	9.9%	12.8%	1.8%	61.1%	8.0%	6.3%	0.3%
女性	812	62	55	58	72	15	504	103	69	1
	100.0%	7.6%	6.8%	7.1%	8.9%	1.8%	62.1%	12.7%	8.5%	0.1%
その他・答えたく ない・無回答	55	4	3	1	5	3	28	5	6	6
100.0%	7.3%	5.5%	1.8%	9.1%	5.5%	50.9%	9.1%	10.9%	10.9%	

問14 部落差別（同和問題）に関して、現在どのような人権問題が起きていると思いますか

全 体		対結婚する問題で周囲が反対されると不利益な発言を受け	扱い職を・受け場で不利益な発言を受ける	差別的な落書きがあ	差別的な落書きがあ	査結が婚行に際して身と元調	査結が婚行に際して身と元調	被けの差別的住民部落との交同和を地	の差別部を落・ぶけ同和に地と区被	が掲載される際の情報利	インター・ネットを情報利	その他の	特にない	わからぬ	無回答
1,545	594	460	523	206	361	266	374	469	286	25	118	484	11		
100.0%	38.4%	29.8%	33.9%	13.3%	23.4%	17.2%	24.2%	30.4%	18.5%	1.6%	7.6%	31.3%	0.7%		
男性	678	269	222	246	108	167	135	184	211	9	55	184	2		
	100.0%	39.7%	32.7%	36.3%	15.9%	24.6%	19.9%	27.1%	31.1%	19.6%	1.3%	8.1%	27.1%	0.3%	
女性	812	309	222	259	93	182	122	177	243	141	14	60	282	3	
	100.0%	38.1%	27.3%	31.9%	11.5%	22.4%	15.0%	21.8%	29.9%	17.4%	1.7%	7.4%	34.7%	0.4%	
その他・答えたくない・無回答	55	16	16	18	5	12	9	13	15	12	2	3	18	6	
	100.0%	29.1%	29.1%	32.7%	9.1%	21.8%	16.4%	23.6%	27.3%	21.8%	3.6%	5.5%	32.7%	10.9%	

問15-1 講演会・講座・研修会への参加

全 体		3回以上	1・2回	ない	無回答
1,545	38	77	1,378	52	
100.0%	2.5%	5.0%	89.2%	3.4%	
男性	678	26	39	592	21
	100.0%	3.8%	5.8%	87.3%	3.1%
女性	812	11	36	740	25
	100.0%	1.4%	4.4%	91.1%	3.1%
その他・答えたくない・無回答	55	1	2	46	6
	100.0%	1.8%	3.6%	83.6%	10.9%

問15-2 なごや人権啓発センターの展示

全 体		3回以上	1・2回	ない	無回答
1,545	7	34	1,435	69	
100.0%	0.5%	2.2%	92.9%	4.5%	
男性	678	4	12	631	31
	100.0%	0.6%	1.8%	93.1%	4.6%
女性	812	2	21	757	32
	100.0%	0.2%	2.6%	93.2%	3.9%
その他・答えたくない・無回答	55	1	1	47	6
	100.0%	1.8%	1.8%	85.5%	10.9%

問15-3 広報なごや

全 体		3回以上	1・2回	ない	無回答
1,545	45	228	1,207	65	
100.0%	2.9%	14.8%	78.1%	4.2%	
男性	678	13	105	530	30
	100.0%	1.9%	15.5%	78.2%	4.4%
女性	812	29	118	636	29
	100.0%	3.6%	14.5%	78.3%	3.6%
その他・答えたくない・無回答	55	3	5	41	6
	100.0%	5.5%	9.1%	74.5%	10.9%

問15-4 テレビ・ラジオ

全 体		3 回 以 上	1 か 2 回	な い	無 回 答
1,545	100.0%	120	337	1,032	56
		7.8%	21.8%	66.8%	3.6%
男性	100.0%	678	59	153	26
		8.7%	22.6%	64.9%	3.8%
女性	100.0%	812	57	175	24
		7.0%	21.6%	68.5%	3.0%
その他・答えたく ない・無回答	100.0%	55	4	9	6
		7.3%	16.4%	65.5%	10.9%

問15-8 新聞

全 体		3 回 以 上	1 か 2 回	な い	無 回 答
1,545	100.0%	110	325	1,051	59
		7.1%	21.0%	68.0%	3.8%
男性	100.0%	678	56	168	430
		8.3%	24.8%	63.4%	3.5%
女性	100.0%	812	49	149	585
		6.0%	18.3%	72.0%	3.6%
その他・答えたく ない・無回答	100.0%	55	5	8	6
		9.1%	14.5%	65.5%	10.9%

問15-5 映画・DVD・ビデオ

全 体		3 回 以 上	1 か 2 回	な い	無 回 答
1,545	100.0%	50	192	1,233	70
		3.2%	12.4%	79.8%	4.5%
男性	100.0%	678	29	79	536
		4.3%	11.7%	79.1%	5.0%
女性	100.0%	812	18	108	656
		2.2%	13.3%	80.8%	3.7%
その他・答えたく ない・無回答	100.0%	55	3	5	41
		5.5%	9.1%	74.5%	10.9%

問15-9 雑誌

全 体		3 回 以 上	1 か 2 回	な い	無 回 答
1,545	100.0%	55	141	1,280	69
		3.6%	9.1%	82.8%	4.5%
男性	100.0%	678	30	75	541
		4.4%	11.1%	79.8%	4.7%
女性	100.0%	812	22	62	697
		2.7%	7.6%	85.8%	3.8%
その他・答えたく ない・無回答	100.0%	55	3	4	42
		5.5%	7.3%	76.4%	10.9%

問15-6 インターネット

全 体		3 回 以 上	1 か 2 回	な い	無 回 答
1,545	100.0%	115	189	1,173	68
		7.4%	12.2%	75.9%	4.4%
男性	100.0%	678	65	93	488
		9.6%	13.7%	72.0%	4.7%
女性	100.0%	812	46	89	647
		5.7%	11.0%	79.7%	3.7%
その他・答えたく ない・無回答	100.0%	55	4	7	38
		7.3%	12.7%	69.1%	10.9%

問15-10 ポスター

全 体		3 回 以 上	1 か 2 回	な い	無 回 答
1,545	100.0%	63	174	1,239	69
		4.1%	11.3%	80.2%	4.5%
男性	100.0%	678	39	82	527
		5.8%	12.1%	77.7%	4.4%
女性	100.0%	812	20	88	671
		2.5%	10.8%	82.6%	4.1%
その他・答えたく ない・無回答	100.0%	55	4	4	41
		7.3%	7.3%	74.5%	10.9%

問15-7 冊子・パンフレット

全 体		3 回 以 上	1 か 2 回	な い	無 回 答
1,545	100.0%	47	182	1,248	68
		3.0%	11.8%	80.8%	4.4%
男性	100.0%	678	25	86	537
		3.7%	12.7%	79.2%	4.4%
女性	100.0%	812	19	89	672
		2.3%	11.0%	82.8%	3.9%
その他・答えたく ない・無回答	100.0%	55	3	7	39
		5.5%	12.7%	70.9%	10.9%

問15-11 たれ幕・立看板

全 体		3 回 以 上	1 か 2 回	な い	無 回 答
1,545	100.0%	46	134	1,294	71
		3.0%	8.7%	83.8%	4.6%
男性	100.0%	678	30	70	549
		4.4%	10.3%	81.0%	4.3%
女性	100.0%	812	15	60	701
		1.8%	7.4%	86.3%	4.4%
その他・答えたく ない・無回答	100.0%	55	1	4	44
		1.8%	7.3%	80.0%	10.9%

問16 学校で部落差別（同和問題）についての授業を受けたことがありますか

		小学校	中学校	校なども含む	校学短院専門等校等	が学校ではない	覚えていない	無回答
全体				(旧制中学)	(大学・高等・専門等・大学・専門学・大)			
1,545	231	245	128	37	584	565	17	
100.0%	15.0%	15.9%	8.3%	2.4%	37.8%	36.6%	1.1%	
男性	678	115	125	65	19	261	224	6
	100.0%	17.0%	18.4%	9.6%	2.8%	38.5%	33.0%	0.9%
女性	812	108	116	60	15	309	318	4
	100.0%	13.3%	14.3%	7.4%	1.8%	38.1%	39.2%	0.5%
その他：答えたくない・無回答	55	8	4	3	3	14	23	7
	100.0%	14.5%	7.3%	5.5%	5.5%	25.5%	41.8%	12.7%

問17 部落差別（同和問題）などの人権課題について、学校や社会で行っている人権教育や人権啓発に何を期待しますか

問18 部落差別（同和問題）についての教育・啓発を今後どうすべきだと思いますか

全 体		べもつと積極的に行う	現 在のままでよい	特 行う必要がな い	そ の 他	わ か ら な い	無回答
1,545	509	303	157	56	488	32	
100.0%	32.9%	19.6%	10.2%	3.6%	31.6%	2.1%	
男性	678	227	143	90	31	185	2
	100.0%	33.5%	21.1%	13.3%	4.6%	27.3%	0.3%
女性	812	273	152	62	25	287	13
	100.0%	33.6%	18.7%	7.6%	3.1%	35.3%	1.6%
その他：答えたくない・無回答	55	9	8	5	-	16	17
	100.0%	16.4%	14.5%	9.1%	-	29.1%	30.9%

問19 部落差別（同和問題）の解決のためどのようなことを行ったらよいと思いますか

Q1 あなたの性別をご記入ください

全 体	男 性	女 性	そ の 他	答 え た く な い	無 回 答
1,545 100.0%	678 43.9%	812 52.6%	5 0.3%	32 2.1%	18 1.2%
男性 100.0%	678 100.0%	- -	- -	- -	- -
女性 100.0%	- -	812 100.0%	- -	- -	- -
その他・答えたく ない・無回答 100.0%	- -	- -	5 9.1%	32 58.2%	18 32.7%

Q2 あなたの年齢(令和7年7月1日現在)についてお聞かせください

全 体	1 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳 以上	無 回 答
1,545 100.0%	157 10.2%	178 11.5%	227 14.7%	295 19.1%	247 16.0%	253 16.4%	166 10.7%	22 1.4%
男性 100.0%	678 9.6%	87 12.8%	104 15.3%	134 19.8%	115 17.0%	109 16.1%	63 9.3%	1 0.1%
女性 100.0%	812 11.0%	89 10.8%	112 13.8%	154 19.0%	128 15.8%	140 17.2%	100 12.3%	1 0.1%
その他・答えたく ない・無回答 100.0%	55 5.5%	3 5.5%	3 20.0%	11 12.7%	7 7.3%	4 7.3%	3 5.5%	20 36.4%

Q3 あなたの職業についてお聞かせください

全 体	や企 業規 ・職 員 団 體の 正 社 員	者企 業役 ・員 團 體の 經 營	公 務 員	教 員	リ 自 ラ ン 自 由 業 、 フ	社 員 、 アル 派 遣 社 員 、 バ 契 約	家 事 專 業	學 生	方 無 職 （ 定 年 退 職 し た ）	そ の 他	無 回 答
1,545 100.0%	462 29.9%	46 3.0%	34 2.2%	17 1.1%	91 5.9%	310 20.1%	177 11.5%	58 3.8%	285 18.4%	36 2.3%	29 1.9%
男性 100.0%	678 41.3%	280 5.2%	35 3.1%	21 0.9%	6 7.8%	53 11.7%	79 -	32 4.7%	155 22.9%	12 1.8%	5 0.7%
女性 100.0%	812 21.4%	174 1.2%	10 1.4%	11 1.4%	11 4.4%	36 26.7%	217 21.7%	176 3.1%	25 15.3%	22 2.7%	6 0.7%
その他・答えたく ない・無回答 100.0%	55 14.5%	8 1.8%	1 3.6%	2 -	- 3.6%	2 25.5%	14 1.8%	1 1.8%	6 10.9%	2 3.6%	18 32.7%

部落差別(同和問題)についての市民意識調査票

名古屋市

お答えいただくにあたってのお願い

- お答えいただくのは、この調査票をお送りしたあて名の方ご本人にお願いします。
- お答えの中で「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが()内に具体的な内容をご記入ください。
- お答えいただいた内容は、統計を作るためだけに使います。また、調査票は無記名で、個人が特定されることは一切ありませんので、ご安心ください。

回答方法について

本アンケートは、①郵送回答、②インターネット回答のどちらかでご回答ください。

① 郵送回答

- ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、具体的な内容をご記入ください。
- ご記入には、鉛筆・ボールペンなど何をお使いいただいても構いません。
- 記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和7年7月28日(月曜日)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要)。

② インターネット回答

- インターネット回答は、パソコン、スマートフォン、タブレット端末のいずれかを用いて、次のURLまたは二次元コードからアクセスしてください。

(URL)<https://cs.39ans.com/>

二次元コード



- 画面の案内に従って、下記のID、パスワードを入力し、令和7年7月28日(月曜日)までにご回答ください。

ID: パスワード:

- インターネットで回答いただいた場合、この調査票の返送は必要ありません。

【質問1】 あなたは、今の日本が基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 そう思う	17.3%
2 どちらかといえばそう思う	55.1%
3 どちらかといえばそう思わない	12.0%
4 そう思わない	7.3%
5 わからない	6.1%
無回答	2.3%

【質問2】 日本国憲法の第 14 条には、「すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と定められています。あなたは「差別」ということについてどうお考えですか。(I ~IVのそれぞれについてあてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

I 同じように仕事ができるのに、性別だけで昇進に差をつけることは

1 差別だと思う	70.4%
2 差別でないと思う	3.2%
3 いちがいにいえない	23.3%
4 わからない	1.7%
無回答	1.4%

II 家柄が違うということで、結婚に反対することは

1 差別だと思う	53.6%
2 差別でないと思う	7.5%
3 いちがいにいえない	34.4%
4 わからない	3.2%
無回答	1.4%

III 人を雇うときに身元調査(聞き合わせ)をすることは

1 差別だと思う	21.7%
2 差別でないと思う	29.8%
3 いちがいにいえない	44.4%
4 わからない	2.7%
無回答	1.4%

IV 結婚のときに相手の身元調査(聞き合わせ)をすることは

1 差別だと思う	18.6%
2 差別でないと思う	31.3%
3 いちがいにいえない	45.7%
4 わからない	3.2%
無回答	1.2%

【質問3】 あなたは「部落差別の解消の推進に関する法律(※)」を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1 知っている | 11.5% |
| 2 法律の名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない | 29.7% |
| 3 知らない | 57.2% |
| 無回答 | 1.6% |

(※)「部落差別の解消の推進に関する法律」

現在も部落差別は存在し、部落差別が許されないものであるとの認識のもとに、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的として、平成28年12月16日に施行されました。

【質問4】 あなたは部落差別(同和問題)(※)を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

- | | |
|------------|-------|
| 1 よく知っている | 9.1% |
| 2 少しは知っている | 39.7% |
| 3 聞いたことがある | 33.1% |
| 4 まったく知らない | 16.7% |
| 無回答 | 1.3% |

(※)部落差別(同和問題)

被差別部落や同和地区などとよばれる地域の出身であることや、そこに住んでいるというだけの理由でいわれなき差別や不利益を受け、基本的人権や人間としての尊厳がおびやかされ、侵されているという日本固有の人権問題です。

【質問5】あなたが部落差別(同和問題)を初めて知ったり、聞いたりしたきっかけは、誰か
らまたは何からですか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 家族(祖父母、父母、兄弟姉妹など)	18.8%
2 親戚の人	0.5%
3 近所の人	1.7%
4 友人	5.2%
5 職場の人	4.4%
6 学校の授業	20.3%
7 テレビ・ラジオ・新聞・映画・本など	15.5%
8 インターネット	3.7%
9 講演会や研修会	1.8%
10 市の広報(広報なごや・啓発冊子「部落差別(同和問題)と人権」など)	1.1%
11 その他()	2.3%
12 覚えていない	8.3%
13 このアンケート調査で初めて知った	14.2%
無回答	2.1%

【質問6】あなたが部落差別(同和問題)について初めて知ったり、聞いたりしたのは、いつ
頃のことですか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 6歳未満(小学校に入学する前)	1.8%
2 6歳～12歳未満(小学生の頃)	22.5%
3 12歳～15歳未満(中学生の頃)	16.9%
4 15歳～19歳未満	10.2%
5 19歳以降	19.9%
6 覚えていない	13.0%
7 このアンケート調査で初めて知った	14.6%
無回答	1.0%

【質問7】 あなたが部落差別(同和問題)を初めて知ったり、聞いたりしたとき、どう思いましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 差別があることを許せないと思った	6.9%
2 なぜ差別が存在するのか不思議に思った	38.8%
3 どういうことなのかよくわからなかった	18.0%
4 被差別部落・同和地区の人をかわいそうに思った	8.3%
5 自分は被差別部落・同和地区に生まれなくてよかったですと思った	4.9%
6 何となく自分たちと違うと思った	5.7%
7 自分には関係ないことと思った	4.8%
8 その他()	2.8%
9 覚えていない	3.7%
10 わからない	4.5%
無回答	1.6%

【質問8】 部落差別(同和問題)について、現在あなたはどうお考えですか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 人間の自由や平等にかかわる問題なので、自分も市民の一人としてこの問題の解決に努力すべきだと思う	40.2%
2 被差別部落・同和地区の人々の問題であるから、自分には関係ないと思う	3.0%
3 あまり騒がずにそっとしておくのがよいと思う	18.8%
4 特に関心がない	14.3%
5 その他()	4.4%
6 わからない	18.1%
無回答	1.3%

【質問9】 かりに、日ごろ親しく述べている職場の人や近所の人が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 これまでと同じように親しく述べあう	81.1%
2 表面的には描述あうが、できるだけ描述あいは避けていく	5.7%
3 描述あいはやめてしまう	0.4%
4 その他()	1.5%
5 わからない	10.4%
無回答	1.0%

【質問10】 かりに、あなたの親類や親しい人の結婚しようとしている相手が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 本人の意思を尊重する	76.0%
2 自分はかまわないと、世間へのてまえがあるから、できれば結婚してほしくない	5.3%
3 結婚することには反対する	2.8%
4 その他()	1.7%
5 わからない	13.7%
無回答	0.5%

【質問11】 かりに、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、被差別部落・同和地区出身の人であることがわかったとき、あなたはどうされますか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 子どもの意思を尊重する	60.8%
2 親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない	16.1%
3 家族や親類の反対があれば、結婚を認めない	1.8%
4 絶対に結婚を認めない	2.1%
5 その他()	3.2%
6 わからない	15.2%
無回答	0.9%

【質問12】 かりに、あなたが被差別部落・同和地区出身の人と恋愛をし、結婚しようとしたとき、家族や親類の人から強い反対を受けたら、あなたはどうされますか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 自分の意思を貫いて結婚する	26.8%
2 親の説得に全力を傾けた後に、自分の意思を貫いて結婚する	37.5%
3 説得した結果、家族や親類の反対があれば結婚しない	10.2%
4 絶対に結婚しない	2.1%
5 その他()	2.3%
6 わからない	20.1%
無回答	0.9%

【質問13】 あなたは、部落差別(同和問題)に関して、インターネット上で次のような人権侵害事例を見たことがありますか。(あてはまる番号すべてに○印をつけてください。)

1 被差別部落・同和地区出身者を ^{ひぼう} 誹謗・中傷する表現	9.7%
2 被差別部落・同和地区を特定し、そこに住む人々を ^{ひぼう} 誹謗・中傷する表現	8.5%
3 被差別部落・同和地区出身者に対する差別などをあおる表現	8.2%
4 被差別部落・同和地区に関する情報の流布	10.6%
5 その他()	1.9%
6 見たことがない	61.2%
7 インターネットを利用したことがない	10.5%
8 わからない	7.6%
無回答	0.6%

【質問14】 あなたは、部落差別(同和問題)に関して、現在どのような人権問題が起きていると思いますか。(あてはまる番号すべてに○印をつけてください。)

1 結婚問題で周囲が反対すること	38.4%
2 就職・職場で不利な扱いを受けること	29.8%
3 差別的な発言を受けること	33.9%
4 差別的な落書きがあること	13.3%
5 結婚に際して身元調査(聞き合わせ)が行われること	23.4%
6 就職に際して身元調査(聞き合わせ)が行われること	17.2%
7 被差別部落・同和地区やそこで生活する住民との交流や交際を避けたりすること	24.2%
8 住宅を選ぶ際に、被差別部落・同和地区にある物件やその地区を含む学区にある物件を避けすること	30.4%
9 インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること	18.5%
10 その他()	1.6%
11 特にない	7.6%
12 わからない	31.3%
無回答	0.7%

【質問15】 あなたは、部落差別(同和問題)に関する講演会や研修会に参加したり、新聞やテレビ・ラジオなどで部落差別(同和問題)に関することを見たり、聞いたり、読んだりしたことが何回ありますか。(1~11 のそれぞれについてA、B、Cのいずれかに○印をつけてください。)

事 項	3回以上	1~2回	ない	無回答
1 講演会・講座・研修会への参加	2.5%	5.0%	89.2%	3.4%
2 なごや人権啓発センター(※)の展示	0.5%	2.2%	92.9%	4.5%
3 広報なごや	2.9%	14.8%	78.1%	4.2%
4 テレビ・ラジオ	7.8%	21.8%	66.8%	3.6%
5 映画・DVD・ビデオ	3.2%	12.4%	79.8%	4.5%
6 インターネット	7.4%	12.2%	75.9%	4.4%
7 冊子・パンフレット	3.0%	11.8%	80.8%	4.4%
8 新聞	7.1%	21.0%	68.0%	3.8%
9 雑誌	3.6%	9.1%	82.8%	4.5%
10 ポスター	4.1%	11.3%	80.2%	4.5%
11 たれ幕・立看板	3.0%	8.7%	83.8%	4.6%

(※)なごや人権啓発センター(ソレイユプラザなごや)

市民のみなさん一人ひとりが様々な人権問題について、気づき・学び・行動するための機会を提供するとともに、学校・地域・企業をはじめとする様々な団体・グループが人権研修や人権学習の際に利用できる施設です。

公式ウェブサイトはこちら



【質問16】 あなたは、学校で部落差別(同和問題)についての授業を受けたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○印をつけてください。)

1 小学校	15.0%
2 中学校	15.9%
3 高等学校(旧制中学校なども含む)	8.3%
4 短期大学・大学・大学院(高等専門学校、専門学校なども含む)	2.4%
5 学校では受けたことがない	37.8%
6 覚えていない	36.6%
無回答	1.1%

【質問17】 あなたは、部落差別(同和問題)などの人権課題について、学校や社会で行っている人権教育や人権啓発に何を期待しますか。(あてはまる番号すべてに○印をつけてください。)

1 あらゆる偏見や差別をなくすため、部落差別(同和問題)などの人権課題についての理解を深めるようとする	42.8%
2 部落差別(同和問題)などの人権課題解決への市民の意欲と実践力を高めるようとする	18.0%
3 相手の立場に立って考える力を育成する	57.5%
4 自分の大切さに気づくことができるとともに、他の人の大切さも認めることができるようにする	43.1%
5 地域の実情に応じた様々な学習機会を提供し、地域交流の促進をはかる	13.9%
6 部落差別(同和問題)などの人権課題をなごや人権啓発センターなどの公的施設で学んだり調べたりするための資料や講座を充実させる	10.6%
7 その他()	3.4%
8 わからない	17.9%
無回答	1.4%

【質問18】 あなたは、部落差別(同和問題)についての教育・啓発を今後どうすべきだと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。)

1 もっと積極的に行うべきである	32.9%
2 現在のままでよい	19.6%
3 特に行う必要がない	10.2%
4 その他()	3.6%
5 わからない	31.6%
無回答	2.1%

【質問19】 あなたは、部落差別(同和問題)の解決のためどのようなことを行ったらよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○印をつけてください。)

1 部落差別(同和問題)に関する教育や啓発活動を推進する	38.4%
2 部落差別(同和問題)に関する相談のための機関・施設を充実する	27.1%
3 部落差別(同和問題)に関して人権が侵害された被害者の救済を充実する	28.5%
4 被差別部落・同和地区の人の収入の安定・向上をはかり生活力を高める	22.3%
5 被差別部落・同和地区内外の人たちが交流を活発にし、まちづくりをすすめる	20.8%
6 その他()	5.2%
7 わからない	28.0%
無回答	1.6%

次のページへお進みください

最後に、あなた自身のことについてお伺いします。

あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

【Q1】 あなたの性別をご記入ください。

1 男性	43.9%
2 女性	52.6%
3 その他	0.3%
4 答えたくない	2.1%
無回答	1.2%

【Q2】 あなたの年齢(令和7年7月1日現在)についてお聞かせください。

1 18~29歳	10.2%
2 30~39歳	11.5%
3 40~49歳	14.7%
4 50~59歳	19.1%
5 60~69歳	16.0%
6 70~79歳	16.4%
7 80歳以上	10.7%
無回答	1.4%

【Q3】 あなたの職業についてお聞かせください。

1 企業・団体の正社員や正規職員	29.9%
2 企業・団体の経営者・役員	3.0%
3 公務員	2.2%
4 教員	1.1%
5 自営・自由業、フリーランス	5.9%
6 アルバイト、パート、派遣社員、契約社員	20.1%
7 家事専業	11.5%
8 学生	3.8%
9 無職(定年退職した方を含む)	18.4%
10 その他	2.3%
無回答	1.9%

ご協力ありがとうございました。

お尋ねしたこと以外で、部落差別(同和問題)についてお考えのこと、お気づきのことがありましたら、お聞かせください。

質問は以上です。お手数ですが、回答もれや○印のつけ忘れ・つけすぎがないよう、もう一度お確かめください。

この調査票は、同封の封筒に入れて 7月28日(月)までにご返送ください。
(切手は不要です。)

【お問い合わせ先】

名古屋市役所 スポーツ市民局人権施策推進課
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話 (052) 972-2582 FAX (052) 972-6453

令和7年度
部落差別（同和問題）についての市民意識調査報告書

発 行：名古屋市スポーツ市民局人権施策推進課
発行年月：令和7年12月
発行部数：450部・特定
編 集：しゃちほこ合同会社

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。